

事務局

- 一 患者ノ入院、患者名簿及附添人、面會人ニ關スル事項
 - 二 入院料及患者並附添人所持金品ノ保管ニ關スル事項
 - 三 患者ノ在院證明ニ關スル事項
 - 四 賄監督ニ關スル事項
 - 五 文書ノ收受、發送並編纂、保存ニ關スル事項
 - 六 公印ノ保管ニ關スル事項
 - 七 試験室以外ノ建物其他構内ノ取締ニ關スル事項
 - 八 清潔及消毒其他衛生方法ノ實施ニ關スル事項
 - 九 進退身分ニ關スル事項
 - 十 雇傭員ノ勤惰監督ニ關スル事項
 - 十一 出張及給與ニ關スル事項
 - 十二 豫算、決算ニ關スル事項
 - 十三 經費ノ支出ニ關スル事項
 - 十四 物品ノ購買及不用品拂下ニ關スル事項
 - 十五 物品ノ受拂及保管ニ關スル事項
 - 十六 營繕(電燈、瓦斯、水道等ヲ含ム)ニ關スル事項
 - 十七 職工、人夫及舟車馬ニ關スル事項
 - 十八 非常練習ニ關スル事項
 - 十九 院務ノ統計及報告ニ關スル事項
 - 二十 他局ノ主管ニ屬セサル事項
- 第三條 各局ニ關聯スル事項ハ其關係最も多キ局ニ於テ之ヲ主管

シ他ノ關係局ニ合議スヘシ

- 第四條 處分案ノ起草ハ文字端正事理簡明ナルヲ要ス若シ字句ノ訂正、加除等ヲ要シタルモノハ欄外ニ其字數ヲ書シ捺印スヘシ
- 第五條 事ノ輕易ナル文書ニシテ餘白ヲ存スルモノハ其餘白ニ於テ直ニ處分案ヲ起草スルコトヲ得
- 第六條 各局ニ日誌ヲ備ヘ置キ日日緊要事項ヲ記載スヘシ
- 第七條 故意、怠慢ニ因リ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ之カ賠償ヲ爲スヘシ
- 前項ノ賠償ハ現品ヲ以テス其修補ヲ加ヘテ支障ナキ程度ノ毀損ト認メタルトキハ之カ修補ヲ爲サシム
- 第八條 各局ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ各局内ニ係ヲ設ケ各係ニ主任及副員ヲ置ケ
- 第九條 各係ノ事務ハ主任其責ニ任ス
- 第十條 副員ハ主任ノ商議ニ應ジ又其事務ヲ補助シ主任事故アルトキハ之ヲ代辨ス
- 第十一條 各局ノ物品出納ヲ明ニスル爲メ各局ニ物品取扱主任ヲ置ケ
- 第十二條 物品取扱主任物品ヲ請求セントスルトキハ事務局備付ノ物品請求簿ニ記載シ物品出納吏ニ提出シ之カ交付ヲ受ケタルトキハ其品質、數量、瑕疵等ヲ調査シ交付簿ニ捺印スヘシ
- 第十三條 物品取扱主任ハ物品受取捺印後ニ其品質ノ相違、數量ノ不足、瑕疵ノ有無等ヲ申出ツルコトヲ得ス但瑕疵其他ノ不表

現ニシテ通常ノ注意ヲ以テスルモ發見シ得ヘカラサリシ場合ニ於テハ此限ハアラス

- 第十四條 物品取扱主任ハ自己ノ保管ニ係ル物品ヲ毎月一回點檢シ常ニ使用上支障ヲ來サランコトニ注意シ其破損又ハ變敗セルモノアルトキハ之カ交換方ヲ物品出納吏ニ請求スヘシ但其醫療上看護上ニ係ル物品ニ對シテハ醫員ヲ經テ此手續ヲ爲スヘシ
 - 第十五條 物品取扱主任ハ其保管ニ係ル物品ヲ破損、紛失シタルトキハ直ニ其理由ヲ詳記シ物品出納吏ニ届出ツヘシ
 - 第十六條 物品取扱主任物品ヲ返納セントスルトキハ物品返納簿ニ依リ物品出納吏ニ差出シ捺印ヲ受ケヘシ
 - 第十七條 物品取扱主任物品ヲ需用者ニ交付セントスルトキハ受拂簿ニ其品目、數量ヲ記入シ捺印セシムヘシ
 - 第十八條 物品取扱主任需用者ヨリ物品ノ不用、破損其他ノ理由ニ依リ返納ヲ受ケタルトキハ補助簿ニ其品目、數量及理由ヲ記入セシメ差引ヲ改算シテ之ニ捺印スヘシ
 - 第十九條 各局員ハ毎日宿直スヘシ
 - 第二十條 各局員退職又ハ更迭シタルトキハ速ニ其擔任事務ニ關スル目録書ヲ作り後任者ニ引繼クヘシ後任者未定ノ場合ハ便宜他ノ擔任者ニ引繼クコトヲ得但事項ノ輕易ナルモノ又ハ上司ノ許可ヲ得タルモノハ目録書ヲ省略スルコトヲ得
- 第二章 醫局
- 第二十一條 醫局ニ醫長ヲ置キ副院長ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條 醫長ハ醫務ヲ處理監督ス

- 第二十三條 醫長故障アルトキハ上席醫員之ヲ代理ス
- 第二十四條 醫員ハ毎日午前十時及午後四時ノ二回各自擔任ノ患者ヲ回診シ其都度患者ノ症狀其他診療上必要ノ事項ヲ病床日誌ニ記入スヘシ臨時回診シタルトキ又同シ
- 第二十五條 醫員ハ其職務上ニ關シ看護婦、雜使婦及動物飼養人ヲ指揮ス
- 第二十六條 醫員ハ入院患者ヲ豫診シ入院原紙及病床日誌ノ各相當欄ニ其必要事項ヲ詳記シテ入院ノ手續ヲ了シ速ニ之カ診療ニ從事スヘシ但豫診上注意ヲ要スヘキ患者アリタルトキハ一時之ヲ注意室ニ收容スヘシ
- 第二十七條 患者ノ病狀經過等ニ關シ不詳ノ際アルトキハ可成其調査ニ努メ轉歸前ニ之ヲ明瞭ナラシメ病床日誌ヲ整理スルコトニ注意スヘシ
- 第二十八條 受持醫員交代スルトキハ患者ノ症狀、病歴其他病室ノ醫務ニ關シ詳細之カ引繼ヲ爲シ且ツ新受持醫員ハ病床日誌ニ交代ノ日時及姓名ヲ記入スヘシ
- 第二十九條 醫員其受持患者ヲ退院セシメントスルトキハ其要旨ヲ通知簿ニ明記シ事務局ニ通知スヘシ
- 第三十條 醫員ハ患者ノ重症、危篤、死亡ノ場合ニ於テハ直ニ通知簿ニ依リ事務局ニ通知スヘシ
- 第三十一條 醫員ハ其受持患者ノ内死亡シタル者ニ對シ遺言又ハ

附傳染病院消毒所

其他ノ希望ニ依リ之カ患部剖檢ノ必要ヲ認メタルトキハ醫長
經テ事務局ニ申出ツヘシ

第三十二條 前條ニ據リ剖檢シタルトキハ本院解剖記録簿ニ其詳
細ヲ記入スヘシ

第三十三條 醫員ハ在院患者ニ對シ院長ノ承認ヲ得スシテ漫リニ
自己ノ名義ヲ以テ診斷書及證明書等ヲ作成スルコトヲ得ス

第三十四條 醫員ハ患者飲食物ノ指示並其檢査ヲ爲スヘシ

第三十五條 醫員ハ豫メ練習シタル處ニ基キ病舎内ノ非常準備ヲ
計畫シ置クヘシ

第三十六條 醫局事務ノ一部ヲ分チテ病室、衛生、統計ノ三係ト
ス

病室係ハ病室及看護婦並雜使婦ノ配置其他病舎整理上ノ指揮ヲ
爲スヘシ

衛生係ハ清潔及消毒其他ノ衛生方法ヲ指示シ時時之カ檢査ヲ行
ヒ且ツ試驗室ノ整理取締ヲ爲スヘシ

統計係ハ病床日誌ヲ整理、保管シ醫務統計ヲ編纂シ之ヲ月表及
年表ニ作成シ院長ニ差出スヘシ

第三章 藥局

第三十七條 藥局ニ藥劑長ヲ置キ上席調藥員ヲ以テ之ニ充ツ

第三十八條 藥劑長ハ局務ヲ處理監督ス

第三十九條 藥劑長故障アルトキハ次席調藥員之ヲ代理ス

第四十條 調藥員ハ醫員ノ處方ニ依ル藥劑及消毒藥ヲ調製スヘ

シ

第四十一條 藥局事務ノ一部ヲ分チテ試驗、準備、整理、統計ノ
四係トス

試驗係ハ藥品、滋養品、飲食物等ノ試驗及消毒ニ從事シ試驗終
了シタルモノハ其成績表ヲ作成スヘシ

準備係ハ製藥、製煉等調劑ノ準備ヲ爲シ且ツ消毒藥ノ缺乏セザ
ル様注意スヘシ

整理係ハ調劑用機械器具ノ完否ヲ調査シ且ツ處方録及帳簿類ヲ
整理保管スヘシ但特ニ規定ナキモノハ其保管方ヲ事務局ニ引繼
クコトヲ得

統計係ハ藥物統計ヲ編纂シ之ヲ月表及年表ニ作成シ院長ニ差出
スヘシ但價格ノ記入ヲ要ス

第四章 事務局

第四十二條 事務局ニ事務長ヲ置キ處務規程第二條ノ事務長ヲ以
テ之ニ充ツ

第四十三條 事務長ハ局務ヲ處理監督ス

第四十四條 事務長故障アルトキハ上席事務員之ヲ代理ス

第四十五條 事務長ハ時時院内ヲ巡視シ不取締ノ箇所アルトキハ
各其擔當者ニ通告シ之ヲ處理セシムヘシ

第四十六條 事務長ハ病院ニ關スル細大ノ事項ニ注意シ之カ記録
ヲ作成シ病院ノ沿革ヲ明ラカニスル方法ヲ講スヘシ

第四十七條 事務長ハ職印及現金ヲ管守スヘシ

第四十八條 事務局ノ事務ヲ分チテ人事、庶務、會計、調度、消
毒、營繕ノ六係トス

人事係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ

一 進退及身分ニ關スル事項ヲ處理スルコト

二 勤怠簿ヲ整理シ雇傭員ノ監督ヲ爲スコト

三 雇傭員ノ採用及試験ニ關スル事務ヲ處理スル場合ニ於テ志
願者ノ身元及素行ハ勿論履歷ヲモ調査スルコト

庶務係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ

一 文書及其他ノ託送物ヲ收受シ之ヲ簿冊ニ記入ス配付スルコ
ト但私信ハ勿論親展書ハ總テ封緘ノ儘配付スルヲ要ス

二 病院宛及前項但書ニ該當セサル院長宛ノ文書ハ之ヲ開封シ
文書收受簿ニ其要旨ヲ記入シタル後之ニ其收受番號及年月
日ヲ記入シ尙金錢物品等ヲ添付シアルモノハ其金額品目數
量等ヲモ收受簿ニ併記シ關係主任者ニ交付スルコト

三 職員量受領セル文書ニシテ院務ニ關スルモノアルトキハ直
ニ之ヲ提出セシメ前號ノ手續ヲ爲スコト

四 發送文書ハ文案ト校合ノ上文書發送簿ニ其發送ノ番等年月
日及要旨ヲ記入シ文書ニハ番號ヲ附シ文案ト割印ノ上發送
スルコト

五 公印ヲ保管シ且ツ既決文書ノ整理、編纂、保存ヲ爲スコト

六 入院患者ノ住所、氏名、年齢、入院日時、送院區、携帶
品、番號等ヲ病種ニ依リ區別シアル患者名簿ニ記載シ其必

要事項ヲ轉歸報告紙及處方録ニ轉記シ尙携帶品ニ附著スヘ
キ木札其他病室、醫局、事務局等ニ掲クヘキ塗札ニ其要點
ヲ記入スルコト

七 自費患者入院ノ際ハ自費患者入院手續第三條ニ據リ保證人
連署ノ入院證ヲ徴スルコト但保證人ハ當該區長ニ於テ其資
格ヲ證明セル者タルヘシ

八 醫局ヨリ患者退院ノ通知ニ接シタルトキハ患者退院簿ニ登
記シ之ヲ引取人ニ通報スルコト若シ引取人ナキトキハ隨意
退院セシメ其歩行困難ナルカ又ハ他ニ救護ヲ要スル場合ハ
區長ニ引渡スコト

九 醫局ヨリ患者ノ異變通知ニ接シタルトキハ危篤ノ場合ハ即
時電信、電話、重症ノ場合ハ電話又ハ端書ヲ以テ之ヲ患家
若クハ相當義務者ニ通報スルコト

十 醫局ヨリ死體解剖ノ申出ニ接シタルトキハ會計係ヘ合議ノ
上遲滞ナク遺言書又ハ遺族ノ承認書ヲ添ヘ當該區長ノ認可
ヲ受クヘキコト但認可ヲ受ケタルモノハ直ニ醫局ヘ通知シ
剖檢後市役所ヘ報告スルコト

十一 死亡診斷書及遺骨揚證ヲ其遺族又ハ届出義務者ニ交付シ
死體ハ火葬場ニ送致シ火葬ニ附スヘシ死亡者カ委託患者
若クハ自費患者ナルトキハ引取人ヘ死亡診斷書ヲ交付シ

死體送致ノ手續ヲ爲サシムルコト

十二 前號ノ死亡診斷書及遺骨揚證並其携帶品ヲ交付スヘキ遺

- 族ナキトキ又ハ不明ナルトキハ人相書ヲ添附シ之ヲ送院區役所ニ送付スルコト
- 十三 院內ニ於テ出生又ハ死亡シタル者ニ對シ届出義務者ナキトキ又ハ不明ナルトキハ戶簿法ニ依ル届出ノ手續ヲ爲スコト
- 十四 患者及看護婦ノ員數ヲ日表ニ調製シ毎日市役所ヘ報告スルコト
- 十五 入院料ノ納否ニ注意シ未納者又ハ滯納者アルトキハ直ニ其督促ヲ爲シ尙納入セサルトキハ遲滯ナク當該區長ニ通知シ相當ノ措置ヲ爲スコト
- 十六 附添人ノ許否ヲ爲スコト但許可シタルトキハ附添人名簿ニ登錄スルヲ要ス
- 十七 賄方ヲ指揮監督シ且豫メ毎日獻立表ヲ調製セシメ之ヲ差出サシムルコト
- 十八 炊事場及配膳場ノ清潔並整頓ニ注意シ之ヲ實行セシムルコト
- 十九 其他係ニ屬セサル事項ヲ處理スルコト
- 會計係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ
 - 一 豫算及決算書ヲ調製スルコト
 - 二 豫算中目、節ノ金額ヲ流用セントスルトキハ其金額事由ヲ詳記シタル計算書ヲ調製シ認可申請ヲ爲スコト増額ノ必要アルトキ亦同シ

- 三 俸給並雇傭員ノ日給及報酬等ヲ測定シ毎月俸給受領ノ期日ニ支給スヘキ手續ヲ爲スコト
- 四 購入品ノ代金ヲ仕拂ハントスルトキハ債主ヨリ請求書ヲ提出セシメ現品納付書ニ依リ調査シ之カ支出ノ手續ヲ爲スコト
- 五 工事費、旅費、舟車馬賃、職工人夫賃等ヲ仕拂ハントスルトキハ債主ヨリ請求書ヲ提出セシメ工事落成届書、出張命令簿、職工人夫其他ノ檢印簿等ニ依リ監査シ之カ支出ノ手續ヲ爲スコト
- 六 不用品等ノ拂下ニ關スル金員ヲ領收シタルトキハ直ニ納人姓名、金額、年月日等ヲ記入セル納付書ト共ニ市役所ニ回送シ納入手續ヲ爲スコト
- 七 經費ノ支出ヲ要スル事件ノ合議ヲ受ケタルトキハ豫算殘額及豫算編成材料ヲ參照シ努メテ支出ノ均衡ヲ圖リ遺憾ナキヲ確認シタ上之ルニ應スヘキコト
- 八 物品ノ購買、修繕、賣却及營繕工事等ニ關シ違約賠償ノ制裁ヲ要スルモノハ當該係ヨリ其契約事項ヲ提出セシメ豫メ認可ヲ受クヘキコト
- 關度係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ
 - 一 物品ノ購入及修繕ヲ爲スコト
 - 二 物品ヲ購入セントスルトキハ二、三ノ商人ヨリ見積書ヲ徴シ必要ニ依リテハ見本ヲ示シ又ハ南人ニ見本ヲ提出セシメ

- 其品質ノ良否價格ノ當否等ヲ監査シ其品目、數量、價格等ヲ各科目ニ區別シ物品購買決議用紙ニ記入シ決裁ヲ受クヘキコト但至急ヲ要スルトキ又ハ輕微ナル物品ニ對シテハ特別ノ取扱ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ事後直ニ如上ノ手續ヲ爲スヘシ
- 三 前號ノ規定ニ依ラスシテ特ニ指定ノ物品ヲ購入セントスルトキハ請求者ニ其理由ヲ明記セシメ決裁ヲ受クヘキコト
- 四 購入物品受領ノ際ハ見本ト對照シ其品質、數量ヲ點檢シテ之ヲ受取リ所定ノ帳簿ニ登記シ直ニ交付ヲ要セサルモノハ倉庫ニ貯藏保管スルコト但醫療器械及藥品等ノ專門ニ屬スル物品ハ當該主任ノ檢査ヲ受クルヲ要ス
- 五 購入物品收納ノ際ハ必ス納付書ヲ檢印ノ上之ヲ會計係ニ回付スルコト
- 六 毀損物品ニシテ修繕後使用ニ堪ヘ得ヘキモノト認メタルトキハ物品購入手續ニ準シ修繕方取計フヘシ其修補ヲ加ヘタル物品ハ必要ニ應シテ當該使用者ニ交付シ直ニ必要ナキモノハ倉庫ニ貯藏シ之ヲ保管スルコト
- 七 購入及修繕ノ價格制限ヲ超ユルトキハ認可申請ノ手續ヲ爲スコト
- 八 廢棄物品等ヲ賣却セントスルトキハ二、三ノ商人ヲシテ其價格ヲ見積ラシメ其品目、數量、價格及事由ヲ詳記シ決裁ヲ得テ其認可申請ヲ爲スコト

- 九 枯損木及糞尿青草等委任權限ニ屬スルモノハ二、三ノ當業者ヲシテ其價格ヲ見積ラシメ決裁ヲ經テ最高見積者ニ賣拂フコト
- 十 洗濯人ヲ指揮シ且ツ職工、人夫、舟車馬等ノ傭入ヲ爲スコト
- 十一 破服其他給與ニ關スル事務ノ取扱ヲ爲スコト
- 十二 經費ノ支出ヲ要スル事項ハ總テ會計係ヘ合議ノ上執行スルコト
- 消毒係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ
 - 一 消毒夫ヲ指揮シ消毒ノ完全ヲ期スヘキコト
 - 二 患者及附添人ノ携帶品並病院用寢具、被服等ノ消毒ニ付スヘキ物品ヲ調査シ之ヲ消毒所ニ送附シ消毒済ノ上ハ各主任者ニ交付スルコト
 - 三 食器ノ消毒ヲ監視スルコト
- 營繕係ハ左ノ事項ヲ管掌スヘシ
 - 一 建物及工作物並水道、電燈、瓦斯、下水等ノ完備整頓ヲ企圖實行スルコト
 - 二 建築又ハ修繕ヲ要スル個所ニ對シ之カ設計豫算書ヲ調製スルコト
 - 三 工事ノ請負入札ヲ行ハントスルトキハ其工事設計豫算書及仕様書ヲ調製シ會計係ヘ合議ノ上競争入札ノ手續ヲ爲スコト其工事費權限ヲ超過スルトキハ認可申請ノ手續ヲ爲ス

市立駒込病院非常心得

明治三十四年二月二十二日
市訓令 甲 第二十號 (駒込病院)

- 第一條 駒込病院ニ於テ火災震災等非常ノ災害ヲ生シ若クハ生セントスルトキハ左ノ各條ヲ遵守シ其他臨機ノ處置ヲナスヘシ
- 第二條 非常警報用トシテ院内數箇所ニ半鐘ヲ備付置豫テ之ヲ熟知セシムヘシ (大正二年四月二十三日市訓令 甲 第二十八號ヲ以テ本條中改正)
- 第三條 非常アリト認ムルコトアルトキハ之ヲ發見シタル者何人ヲ問ハス院内警報器ヲ使用スヘシ
- 第四條 院内警報ヲ聞クトキハ職員ハ勿論其他ノ者ト雖モ直ニ現場ニ駆付向ホ洽ク院内ハ警戒ヲ與フヘシ
- 第五條 非常ノ際ハ職員以下事ニ當テ不都合ナカラシメン爲メ職員調藥員看護婦汚物取扱人等ハ患者ノ救護ニ事務員(門番)小使賄方人夫駈付人夫等ハ防火其他ノ防禦警戒ニ從事セシムル等豫メ其擔任ヲ定置クヘシ (明治三十八年四月七日(市參事會議決) 番一トアルハ之ヲ廢止シテアリ) (第二千四百六十一號ニ依リ本條中(門番)トテスルコトナレリ)
- 第六條 非常ノ際ハ職員以下ノ分擔ヲ定置ト雖モ第一次ニ患者ノ救護ヲナシ第二次ニ緊要書類及印章ヲ持退其他必要ノ物件ニ從事スヘシ但患者立退ノ場合ニ於テ擔任者ノミニテ手廻リ兼ルトキハ自己擔任ノ何タルヲ問ハス共ニ之ニ從事幫助スヘシ

市立駒込病院會計取扱手續

明治三十四年四月四日
市訓令 甲 第二十一號 (駒込病院)

- 第一條 病院ノ經費ハ毎年度定ムル所ノ豫算ニ依リ收支ヲナスヘシ
- 第二條 左ノ條件ハ施行前當廳ノ認可ヲ受クヘシ
 - 一 豫算内科目ノ流用
 - 二 (明治四十年五月二十五日市訓令 甲 第十五號ヲ以テ削除) (同上)
 - 三 不用物品ヲ賣却スルコト

第三條 見積價格五拾圓以上ノ工事執行並物件ノ買入及修繕ハ當廳ノ指揮ヲ請クヘシ (明治四十年五月二十五日市訓令 甲 第十五號ヲ以テ本條改正)

第四條 物品ノ購入ハ豫メ見積書ヲ徴シ現品納入ノトキハ納付書ヲ徴スヘシ

第五條 經費金ノ支拂ハ正當本人ヨリ請求書ヲ徴シ調査ノ上主任者之ニ檢印ヲ捺シ其都度當廳ヘ進達支拂ヲ申請スヘシ

第六條 經費收入金ハ正當本人ヨリ納付書ヲ徴シ主任者之ニ檢印ヲ捺シ其都度當廳ヘ納付スヘシ但入院料收入ニ關シテハ別ニ定ムル所ノ規定ニ據ルモノトス

第七條 經費支拂金ニシテ整理上其他請取人ノ都合ニ依リテハ每十五日若クハ每一箇月分ヲ取纏請求セシムルコトヲ得

第八條 經費ノ收支精算ハ第一號書式ニ依リ調製シ毎年五月三十一日限リ當廳ヘ進達スヘシ

第九條 毎年度豫算材料トシテ前前年度ノ實費及前年度ノ豫算ト當該年度ノ實況ヲ參酌シ第二號書式ニ依リ調製シ毎年八月三十一日限リ當廳ヘ進達スヘシ

第十條 左ノ帳簿ヲ設ケ置計算整理スルモノトス但整理上ノ都合ニ依リ便宜補助簿ヲ設ケルコトヲ得

- 一 歳出豫算内譯簿
 - 本簿ハ第三號書式ニ依リ調製シ各種目毎ニ口取ヲ設ケ豫算欄ニ市役所令達ノ豫算金ヲ支出欄ニハ市役所ヘ進達ニ係ル正當取扱人各請求書ノ金額ヲ記入シ摘要欄ニハ其事由ヲ簡明ニ記

シ面シテ日日ノ現殘額ヲ其欄内ニ記入スヘシ
他科目流用ヲ爲シタルトキハ其金額ヲ支出欄内ニ朱記シ殘額ヨリ控除スヘシ他科目ヨリ流用ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ豫算欄内ニ墨記シ殘額ニ加算スヘシ

帳簿ニ誤記ヲ爲シ其際直チニ之ヲ發見シタルトキハ其誤記セル事項又ハ金額ノ正中ニ朱線ニ條ヲ直畫シ其傍ニ正確ナルモノヲ墨記シ主任者之ニ捺印スヘシ決シテ貼紙又ハ改描スルヲ得ス

帳簿ニ誤記ヲ爲シ他日之ヲ發見シタルトキハ其正誤ノ方法ハ彙ニ記入シタルモノノ誤記ノ事由及其金額ヲ朱記シ更ニ正確ナル事由及其金額ヲ墨記スヘシ

一 歳入豫算内譯簿
本簿ハ第四號書式ニ依リ調製シ各種目毎ニ口取ヲ設ケ豫算欄ニハ市役所令達ノ豫算金額ヲ記入シ收入欄ニハ納人ヨリ收入シタル金額ヲ納付欄ニハ市役所ヘ納付ノ金額又ハ納人ヘ下戻ニ係ル過納金額ヲ記入シ摘要欄ニハ其事由ヲ簡明ニ記シ差引殘ノ欄ニハ豫算及納付金ノ日日ノ計算殘額ヲ記入スヘシ但下戻欄ノ事項ハ朱記スヘシ

豫算殘ハ豫算額ニ對スル實收入金ノ差引ヲ明瞭ナラシムルモノニシテ一旦收入ヲナシ控除シタルモノト雖モ他日過納金トナリテ納人ヘ返付シタルトキハ更ニ殘額ニ加算スヘシ
諸收入金ハ其都度速ニ市役所ヘ納付ノ手續ヲ了スヘキモノナ

科	目	臨時費		前年度精算額	前年度豫算額	本年管年度	前年度精算額ニ對スル増減	前年度豫算額ニ對スル増減
		何	同 [△] 上 [△]					
何	病院費	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△
何	何	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△
何	何	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△
何	何	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△
何	何	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△
何	何	何	同 [△] 上 [△]	△	△	△	△	△

備考 給料及備品消耗品其他ノ費目共起算ノ細目理由物品並仕様ノ大要等ヲ欄内ニ列記スヘシ但備品消耗品等ノ品目ノ如キハ別ニ細目表ヲ添付スルモ妨ナシ

(第三號書式)
明治何年度
歳出豫算内譯簿

年月日	番號	摘要	豫算	支	出	殘
何年何月何日	市訓令第何號	豫算令達	六六〇〇〇	△	五五〇〇	六一五〇〇
何年何月何日	請求書	何年何月分俸給	△		五五〇〇	六一五〇〇
何年何月何日	同第何號	同何月分			五五〇〇	六一五〇〇
何年何月何日	市廳通達第何號	何費ヨリ流用	五〇〇〇			六一〇〇〇

注意 △印アル横線ハ朱線

(費品消耗品備)

年月日	番號	摘要	豫算	支	出	殘
何年何月何日	市訓令第何號	豫算令達	二五〇〇〇〇	△	一〇〇〇〇	二四〇〇〇〇
何年何月何日	請求書	何年何月分經費ノ内	△		一〇〇〇〇	二四〇〇〇〇
何年何月何日	同第何號	何何品代			一〇〇〇〇	二四〇〇〇〇
何年何月何日	何何號	何何品代			五〇〇〇	二三五〇〇〇

第二篇 類規 第二類 衛生 第二節 豫防消毒 附傳染病院消毒所

(第五號書式)

患者委託金簿

年月日	摘要	受	拂	殘
明治 何月何日	何患者何某委託金	五〇〇〇	△	五〇〇〇
何月何日	何	七〇〇〇		一二〇〇〇
何月何日	何患者何某委託金返戻	△	七〇〇〇	五〇〇〇

注意 △印アル横線ハ朱線

●傳染病患者送院狀雛形

明治三十六年九月二十二日 (各區長宛)
助役通牒衛乙第三百二十四號ノ二

本市立駒込病院へ收容スル傳染病患者送院狀ハ取扱上必要有之候
ニ付自今左記雛形ニヨリ御回送可相成申進候也
(雛形)

主治醫氏名	附添看病人氏名
病名	年月日生
職業	區町丁目番地
戸主何之誰家族(留方寄)	
患者氏名	

發病日時	明治 年 月 日 午前 時	入院資格
届出日時	明治 年 月 日 午前 時	
右及送院候也	明治 年 月 日	
東京市駒込病院御中	東京市(何)區役所	

●傳染病院患者施療自費區別
及自費等級送院書ニ記入方

明治三十二年九月十九日 (各區長宛)
助役通達總發第千五百十二號

本市立傳染病院收容患者ノ儀ハ貧困ニシテ入院料ヲ自辨シ能ハサル者ヲ施療トシ其他ハ自費患者トシテ入院料徴收ノ儀ハ曾テ及御協議置候處自費患者中更ニ左ノ區別ニ依リ收容可致候條今後入院者ハ送院ノ際本人若クハ其家族等ニ就キ取調自費等級若クハ施療ノ區別ヲ送院書ニ記入シ回付相成度此段及通達候也(本文中左ノハ明治三十二年九月二十六日市訓令甲第三十五號傳染病院自費患者入院手續第四條自費患者入院料區別ト同様ニ付略ス但特別患者ハ駒込病院ニ限ル又患者入院ノ際特別室滿員ノトキハ一等自費患者室ヲ代用スルコトアルヘシ)

●傳染病院使用料條例

大正二年七月十一日
市條例第八號

第一條 本市傳染病院特別病室ヲ使用セントスル者ハ左ノ使用料ヲ納付スヘシ

一等 一日 金三圓

二等 一日 金二圓

三等 一日 金一圓

第二條 使用料ハ前納セシム但前納セシメ難キ者ニ對シテハ情狀ニ依リ之ヲ猶豫スルコトヲ得

— 110 —

●傳染病院自費患者入院手續

明治三十二年九月二十六日
市訓令甲第三十五號 (駒込、本所、病院)

自費患者入院手續左之通定ム

但明治三十年八月四發第一四一四號自費患者入院料徴收規定ハ廢止ス

自費患者入院手續 (本手續中特別、一等、二等ノ等一日市條例第八號ニ依リ) 自然變更ノ儀ト知ルヘシ

第一條 本市立傳染病院自費患者ヲ別チテ特別並一等二等ノ三種

トシ之レカ取扱ハ概ネ左ノ方法ニ據ルヘシ但特別患者ハ駒込病院ノ外收容セス
特別

本患者ハ病室ハ特別患者室ニ室ヲ供給シ看病婦ハ一患者ニ一人ヲ附添ハシメ食料、被服、寢具ハ特等品ヲ給ス

一 等
本患者ハ病室ハ自費患者室ニ室ヲ供給シ看病婦ハ患者二人ニ一人ノ割ヲ以テ附添ハシメ食料、被服、寢具ハ一等品ヲ給ス

二 等
本患者ハ病室ハ自費患者一室ニ二人ノ割ニテ供給シ看病婦ハ患者三人ニ一人ノ割ヲ以テ附添ハシメ食料、被服、寢具ハ二等品ヲ給ス

第二條 自費患者ハ市内發生ノモノニシテ區役所ヨリ送院書ニ證明アルモノ又ハ患者若クハ其親族故舊ノ願ニ依リ病室ノ都合ヲ計リ收容スヘシ

第三條 自費患者入院ノ際ハ左ノ書式ニ依リ證書ヲ徵スヘシ但保證人ハ市内居住者ニシテ相當ノ資力アリト認ムル者ニ限ル

印紙

住所(寄留ナレハ本籍) 某
 〔併記スヘシ〕
 族籍職業 主何某ノ〔父母〕
 〔妻子〕〔兄弟〕〔姉妹〕
 病名 何
 何年何月生

二等患者 一日金八拾錢 (明治四十一年四月二日市訓令甲第十九號ヲ以テ「五拾錢」ヲ「七拾錢」ニ改正二年三月二十四日市訓令甲第十七號ヲ以テ「七拾錢」ヲ「八拾錢」ニ改メ四月一日ヨリ實施ス)

第五條 自費患者ノ入院料ハ事務長(事務長ナキトキハ事)ニ於テ徵收シ十日分取纏メ當廳ヘ納付スヘシ

第六條 既納入院料ノ過納トナリ還付ヲ要スルトキハ納人ヨリ金額事由ヲ記シタル請求書ヲ差出サシメ事務長證明シテ當廳ヘ進達スヘシ

第七條 入院及退院患者ノ住所氏名並自費ノ等級ハ其都度當廳ヘ申報スヘシ

第八條 入院料收納ニ要スル帳簿納付書及領收證書ハ第一號乃至第四號様式ニ據ルヘシ

(別紙)
第一號

自費何等患者入院料徵收簿			
納	患	區	住
人	者	分	所
			氏名

右ノ者自費何何(特別又ハ一)等(別)患者トシテ入院候ニ付テハ貴院規則相守候ハ勿論本人身上ノ儀ハ一切引受入院料ハ規定ニ從ヒ納付可致候萬一不納延滞等ノ節ハ保證人引受無相違辨納可致候也

年 月 日

住所(寄留ナレハ本籍) 何
 〔併記スヘシ〕
 住所(同 上) 何
 保證人 何 某

第四條 自費患者ノ入院料ハ左ノ區別ニ依リ十日分ツツ前納セシムヘシ

特別患者 一日金參圓 (明治三十五年六月二十一日市訓令甲第二十八號ヲ以テ「壹圓五拾錢」ヲ「貳圓」ニ同三十八年五月十八日市訓令甲第十九號ヲ以テ「貳圓」ヲ「貳圓五拾錢」ニ同四十一年四月二日市訓令甲第十九號ヲ以テ「貳圓五拾錢」ヲ「參圓」ニ改メ同月十日ヨリ實施ス)

一等患者 一日金貳圓 (明治三十六年五月十八日市訓令甲第十九號ヲ以テ「壹圓」ヲ「壹圓五拾錢」ニ同四十二年四月二日市訓令甲第十九號ヲ以テ「壹圓五拾錢」ヲ「貳圓」ニ改メ同月十日ヨリ實施ス)

證人	入院	退院
明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日
金 額	摘 要	累 計
一金	明治年月日ヨリ 明治年月日マテ 何月分 過納金何程還付 請求書明治年月 日證明進達	
明治 年 月 日領收		

第二號

自費何等患者入院料集計簿

年月日	徵收金額	納付金額	差引殘額
年月日	一〇〇〇〇		一〇〇〇
年月日	一〇〇〇〇		二〇〇〇
年月日	一〇〇〇〇		三〇〇〇
年月日		三〇〇〇〇	
小計	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	
合計	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	

備考

一箇月毎ニ小計ヲ付シ年度ノ終リニ合計ヲ付スヘシ

第三號

證

一金

内譯

自費患者入院料

特別又患者入院料
ハ一等患者入院料

金

内

金

類

事

由

納

人

金

類

事

由

納

人

金

内

二等患者入院料

金	類	事	由	納	人
△	△	△	△	△	△

右納付候也
年月日

何病院事務長 何 某

(市參事會)

市長 宛

第四號

第

號

何 某

事務長又ハ事務員首席印

自費患者何某

年月日ヨリ 年月日マテ

何日分入院料

明治年月日

事務員
主席印

第	號	證
一金何程	事務長又ハ事務員首席印	
自費何等患者何某	年月日ヨリ	年月日マテ
何日分入院料		

右領收候也

明治年月日

何病院事務員印

何 某 殿

市立駒込病院入院料等級換 願處理方

明治三十六年十二月七日(各區區長宛)
助役通達衛發第三百五十九號(駒込病院長宛)

市駒込病院へ收容シタル傳染病者ニシテ別ニ定メラレタル入院料ニ準シ爾後其等級換チナサントスル者アリタルトキ區長ハ本人ノ資産若クハ家政ノ程度ニ應シ願出タル日ノ翌日ヨリ之ヲ許可スルモノトシ前日口頭ヲ以テ病院へ其旨ヲ通知シ直チニ本人へ許可書ヲ下附スルト同時ニ當廳並ニ病院へ更ニ通知書ヲ發セラルヘク又此通知ヲ受ケタル院長ハ其旨ヲ報告シ便宜本件ヲ處理スル事ニ致度依命及通達候也

自費患者入院證ニ保證人資格證明書添付方

明治三十九年二月三日(各區區長宛)
助役通達衛發第五十八號

第二篇 類規

第二類 衛生

第二節 豫防消毒

附傳染病院消毒所

市養育院保育兒傳染病ニ罹 リタル場合駒込病院ニ於テ 施療取計方

明治三十二年九月二十六日市訓令甲第三十五號自費患者入院手續第三條ニ據ル入院證ハ自今保證人ニ係ル資格證明書ヲ要スル旨願人へ諭示相成度此段及通達候也
明治三十二年九月二十六日市訓令甲第三十五號自費患者入院手續第三條ニ據ル入院證ハ自今區長ニ於テ證明ヲ與ヘタルモノヲ添付スルコトニ相成候條此段及通達候也(明治三十九年二月三日衛生課長通達衛發第五十八號駒込病院長宛)

自費患者入院料徴收上注意

明治三十九年二月五日(駒込病院長宛)
助役通知衛發第五十七號

自費患者入院料ハ總テ前納ノコトニ相成居候ニ付引續キ徴收ノ必要アルトキハ納金ノ未タ盡キサル以前速ニ納入スヘキ筈ナルニ從來往往其手續ヲ懈ルカ爲メ收納上困難ヲ來シ差支候條自今右様ノ儀無之コトニ一層注意セラレ度此段及通知候也

明治四十三年五月七日(養育院長宛)
助役通牒二乙第千六百六十五號

四月二十七日付庶第一四七號上申ニ係ル其院保育兒保育先ニ於テ傳染病ニ罹リ駒込病院へ收容ノ場合施療取扱ノ義承認相成候條此段及通知候也

追テ右様ノ場合ハ送院ノ際豫メ貴院ノ保育兒ナル旨駒込病院へ通知方御取計相成度候(同年同月同日同號ノ二ヲ以テ)
(上申書略ス)

市養育院巢鴨分院内傳染病者發生シタル場合取扱方

明治四十二年五月十五日(小石川區長宛)
助役通牒庶乙第千三百一十一號

府下巢鴨村ニ在ル本市養育院分院内ニ傳染病者ノ發生シタル場合ハ所在管轄官公署ノ指揮ニ基キ本院同様責職ニ於テ御取扱相成度此段及通牒候也

(同年同月同號ヲ以テ同伴ニ關シ)
(助役ヨリ養育院長宛通牒ノ分)

本年二月二十七日監發第一五八號ヲ以テ上申相成候其院巢鴨分院内ニ發シタル傳染病ニ關シテハ本院同様小石川區長ニ於テ豫防上諸般ノ事務ヲ可取扱ニ付患者發生シタル場合ハ貴職ニ於テ傳染病豫防法ニ依リ當該官公署ニ届出又ハ認可ヲ經ルト同時ニ小石川區

長ニ其旨通知相成度此段及通牒候也

警察官署依託傳染病患者ヲ收容スル場合處理方

明治四十二年三月九日(各區區長宛)
助役通牒衛發第千五百五十一號(駒込病院長宛)

警察官署ニ留置中ノ刑事被告人、換刑囚、拘留囚又ハ押送途中ノ刑事被告人囚人ニシテ傳染病ニ罹リ若クハ病毒感染ノ疑アル者ヲ委託ニ依リ市設病院又ハ隔離所ニ收容スル場合ニ於ケル手續及費用ニ關シ今般別紙ノ通警視廳ト協議ヲ途ケ候間自今右ニ依リ處理相成度之レニ要セシ費用ハ當廳ヨリ直接警視廳へ請求可致候ニ付其都度必要事項詳細報告相成度此段及通牒候也

(追書略ス)
(別紙)

- 一 入院料ノ一日金壹圓ノ割合トス但患者「バスト」ナルトキ及隔離者ニ關スル費用ハ其都度額ヲ定ム
- 二 治療中釋放セララルル場合ハ傳染病豫防法第十八條第四項ノ在監人出獄ノ際ニ準シ當該官署所在地ノ區長へ引渡ノ手續ヲ爲サルルコト
- 三 釋放前死亡シタル患者ノ葬具料運搬料火葬料ハ實費ヲ負

擔セラルルコト

四 釋放前死亡シタル患者ノ遺骨ハ火葬場ニ於テ患者送致官署ニ引渡ヲ爲スモノトス

許可ヲ得テ死體ヲ埋葬スルモノハ當該官署ノ通知ニ依リ院長ニ於テ死體ノ引渡ヲ爲スモノトス

五 官署内ノ消毒及患者隔離者送致ハ可成直接施行セラレタキコト但人夫傭入其他ノ必要事項アルトキハ區役所ヲシテ便宜ノ取計ヲ爲サシム可シ

受託傳染病患者取扱方

明治四十五年五月十日(駒込病院長宛)
助役通達二乙第千二百二十七號

本年四月二十六日付甲第八七號申請受託患者ノ待遇等級ニ關スル件左記各號ニ依リ取扱相成度依命此段及通牒候也
追テ申請追書ノ義モ本文ニ依リ取扱可相成候

左記

- 一 受託患者ニシテ自費一等又ハ特等ニ相當スル待遇希望ノ者ハ其委託官公衙ヨリ申込アル場合ニ限り之ニ應スルコトヲ得
- 二 入院料ハ自費ノ等級ニ相當スル額ヲ徴收シ受託ノ部ニ收入スルコト
- 三 患者賄費ハ受託ノ部ヨリ自費ノ等級ニ相當スル額ヲ支出ス

第二篇 類規

第二類 衛生

第二節 豫防消毒

附傳染病院消毒所

ルコト

四 第一號ニ依リ收容シタル場合ハ其都度詳細報告スルコト

五 患者日報ハ受託欄ニ掲ケ其等級、患者數、患者延數ヲ適宜表示スルコト

町村依託傳染病患者市立傳染病院へ收容方

明治三十年六月四日
市會議決第三十七號

本市ニ近接スル町村ニ於テ發生シタル傳染病患者ヲ市立病院へ收容方該町村ヨリ依頼アリタルトキハ當分ノ内相當ノ入院料ヲ徴シ之ニ應スルモノトス

外國人傳染病患者市立傳染病院へ收容取扱方

明治三十二年十月十日(市參事會議決)
第一萬四千八百八十八號同年同月十四日
助役通達總發第千(各區區長宛)
百六十一號ノ二(駒込病院)

外國人ニシテ傳染病ニ罹リ自宅治療爲シ能ハサル者又ハ本人ノ希望ニ依ル等本市立傳染病院へ收容ヲ必要トスル場合ニ於テハ當分

左項ニ依リ取扱ヘキコトニ被定候條此段及通達候也

- 一 外國人ノ傳染病患者ハ當分常設駒込病院ヘ收容スルコト但施療患者ニ限リ事宜ニ依リ臨時病院ニ收容スルコトアルヘシ
- 一 外國人ノ傳染病院收容患者ハ内國人同様自費ト施療ニ區別シ取扱ヒ自費患者ハ從來ノ特別患者入院料ヲ徴收スルコト
- 一 外國人自費患者ノ食料ハ從來ノ特別患者同様豫算金一日參拾錢ニテ外國人適合ノ食品ヲ便宜院費ヨリ處辨シ其他ニ食品ノ請求アルトキハ之ヲ自辨セシムルコト
- 一 外國人施療患者ノ食料ハ從來ノ施療患者賄費豫算金一日拾貳錢ニテ院費ヨリ處辨スルコトニ定置若シ實際ニ於テ差支ヲ生スルトキハ一日金參拾錢迄ノ範圍内ニテ便宜處辨シ其費用ハ施療患者賄費ノ豫算内ヨリ支出スルコト(前二項ニ通達セス)

●傳染病患者送院途中死亡シタル場合取扱方

明治四十四年二月九日 助役通達二發第九百一十一號(各區長宛)

傳染病患者送院途中死亡シタル者ノ取扱ニ關シ別紙ノ通り駒込病院長ヘ通達候條該趣旨ニ依リ御取計相成度此段及通達候也

(別紙)
傳染病患者送院途中死亡シタル者ニ對シテハ自今著院死亡セル者ト同様其院ニ於テ處置相成度依命此段及通達候也(臨時病院本趣旨ト同様ノ取扱ヲ爲サシムルコトニ同日決定)

●傳染病患者送院取扱方

明治四十四年四月十四日(各區長宛) 助役通達二發第九百號(消毒所長)

- 一 傳染病患者ノ送院ニ關シテハ其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條自今左記ノ通り取扱相成度依命此段及通達候也
 - 一 患者送院費用ハ其送致病院ノ公私立ニ關セス總テ市費支辨ノコト
 - 二 明治三十年六月東京府訓令第十六號郡市町村傳染病豫防手續第七條ノ場合ト雖モ市内ニ住居及縁者ナク且無資力ニシテ全ク療養ノ途ヲ有セサル者ハ直ニ市立病院ニ送院スルコト
- 追テ市外所在ノ病院ヘ送致ヲ請フ向有之トモ本市立ノ外ハ患者ノ希望ニ應スヘキ限リニ無之候條爲念申添候

●市立駒込病院收容患者死亡屍體剖檢ノ場合弔祭料支給方

明治四十一年十一月十八日 市長認可衛乙第二千四百六十五號

十月二十八日付甲第一六一號申請屍體剖檢ノ場合弔祭料支給ノ件認可ス

- 甲第一六一號 (駒込病院長申請書)
- 本院收容患者ニシテ死亡スルモノアルニ際シ防疫上且ツ醫療上ノ必要ニ據リ其屍體剖檢ノ場合ニ於テハ該遺族又ハ親族ニ對シ弔祭料支給致度候條左ノ標準ニ據リ支出ノ儀御認可相成度此段及申請候也
- 一 自費入院患者タリシ者ニ就テハ 金 七 圓
 - 一 公費入院患者タリシ者ニ就テハ 金 五 圓

●虎列拉病關係隔離者駒込病院ノ一部ニ收容方

大正二年一月二十九日(各區長宛) 助役通達二發第五百十九號(消毒所)

- 自今間歇的ニ發生スル虎列拉病關係者ハ當分ノ内駒込病院ノ一部ヲ隔離所ニ充テ之ニ收容スルコトニ相成候條御了知相成度此段通達候也
- ### ●傳染病院番衛服務心得
- 明治三十四年二月二十二日(本所、廣尾、市訓令甲 第九號 (大久保病院))
- 第一項 番衛ハ東京市役所衛生課ノ指揮監督ヲ受ケ院内番衛所ニ居住シ建造物並附屬器具樹木等ヲ監守スヘシ
 - 第二項 常ニ病院内外ノ清潔法ニ注意シ時々洒掃スヘシ
 - 第三項 要用アル者ノ外ハ妄リニ院内ニ入ラシム可ラス
 - 第四項 晝夜院内ヲ巡視シ火災盜難ヲ警戒スヘシ
 - 第五項 建造物溝渠等破損ヲ生シ捨置キ難キモノアルトキハ直ニ當廳衛生課ヘ申出ヘシ
 - 第六項 天災其他非常ノ異變アリテ主務課ノ指揮ヲ受ケル違ナキトキハ應變ノ處置ヲナシ其旨當廳衛生課ヘ申報スヘシ
 - 第七項 本規定ハ病院閉院中ノ番衛ニ適用ス開院中ハ總テ事務員ノ指揮監督ヲ受クヘシ

●傳染病患者治愈者引取並 救護方

明治三十六年九月十八日 (各區長宛)
 助役通牒衛乙第二百八十號ノ二

傳染病豫防法ノ規定ニ基キ本市立病院へ收容シタル患者ノ内治愈スルモ特別ノ事情ニヨリ歩行ニ堪ヘサリシモノアリタルトキ其引取者ナク又ハ住所所分明ナラサル者等ニシテ行旅病人行旅死亡人取扱ニ關スル規定ニ依リ救護ノ必要アリト認ムル者ハ自今病院ノ所在地區長ニ於テ引取並ニ救護ニ關スル手續ヲ了セラレ度依命及通牒候也

●消毒品取扱手續

明治三十二年四月二十一日 (各區役所)
 市訓令 第五號 (消毒所)

傳染病消毒品取扱手續左ノ通相定メ本年五月一日ヨリ施行ス
 但明治三十年六月本市訓令甲第十二號ハ廢止ス

傳染病消毒品取扱手續

第一條 區役所ハ區内ニ於テ傳染病毒ニ汚染シ又ハ其疑アル物品ニシテ患者ニ直チニ消毒方法ヲ施行セシメ難キモノハ患者ノ住所氏名物品ノ品目員數ヲ記シタル送狀ヲ添ヘ本市消毒所へ送附スヘシ

- 第二條 消毒所ハ各區役所ヨリ前條物品ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ消毒方法ヲ行ヒ之ヲ返送スヘシ
- 第三條 區役所ニ於テ消毒所ヨリ消毒方法ヲ行ヒタル物品ノ返送ヲ受ケタルトキハ所持人ニ交付スヘシ (明治四十二年六月三十日市訓令甲第二十三號ヲ以テ本條改正)
- 第四條 消毒料ハ別紙料金表ニ依リ徵收スヘシ貧困ニシテ消毒料ヲ支辨シ能ハサルモノハ之ヲ免除ス
- 第五條 消毒物品受授ノ際ハ便宜ノ書冊ニ品目員數ヲ記入捺印チナシ其證據ヲ明瞭ニナスヘシ
- 第六條 區役所ニ於テ取扱タル消毒品並其消毒料金ハ每一箇月分取纏メ別紙書式ニ據リ翌月市役所へ報告スヘシ (明治四十四年訓令甲第十九號ヲ以テ本條改正)
- 第七條 消毒料徵收ニ關スル手續ハ本市會計規程及同施行細則ニ據ルヘシ (明治三十八年六月四日市告示第四十一號並同年八月「歳入歳出納規則及同取扱細則」トアリシヲ會計規程及同施行細則ニ訂正シ會計規程及同施行細則ハ大正二年三月市告示第二十二號及同第二十三號ヲ以テ更ニ改正)

(別紙)
 消毒料金表 (明治四十一年五月二十一日市訓令第五號ヲ以テ本表ヲ改正シ同年六月一日ヨリ施行ス同四十二年十二月三日市訓令第四號ヲ以テ本表並附記第四中改正)

品名種類	消毒料	消毒並洗濯料	摘要
夜具	四〇	一四〇	
同 綿	四〇	一四〇	
同 側	三〇	九〇	
同 卷	六〇	一二〇	
同 襪	三〇	一〇〇	
同 襪	三〇	一〇〇	
同 襪	四〇	一〇〇	
同 襪	二〇	一〇〇	
同 襪	二五	七〇	
同 襪	七〇	一二〇	
同 襪	四〇	一〇〇	
同 襪	三〇	八〇	
同 襪	五〇	一〇〇	
同 襪	三〇	八〇	
同 襪	三〇	八〇	
同 襪	三〇	八〇	
同 襪	二五	六〇	
同 襪	四〇	七〇	
小形掛、敷蒲團	四〇	七〇	

前	腹	腹	細	兵	女	男	ズ	長	襪	綿	襦	袴	單	單	袴	袴
掛	卷	掛	帶	帶	帶	帶	下	襪 (ヤメ スリ)	袴	キ	袴	織	織	織	織	織
				白綿 及染地			白綿 及染地	白綿 及染地	白綿 及染地		白綿 及染地	白綿 及染地	白綿 及染地			
五	一〇	一〇	五	一〇	二〇	一五	一五	二五	一五	一五	一五	二〇	一五	二〇	二五	二五
二〇	二〇	三〇	二〇	四〇	八〇	四〇	四〇	六五	四〇	三〇	四〇	一〇	五〇	五〇	六〇	七〇
							股引、半股引ノ類ヲ含ム						單法被、同半纏ノ類ヲ含ム	帷子、長襦袴、女兩覆ノ類ヲ含ム	袴半纏、同法被其他之ニ類スルモノヲ含ム	袴長襦袴、同長胴著ノ類ヲ含ム

綿	綿	蚊	枕	座	敷	藁蒲團	同	同
入	入	張		蒲	布、掛	同小同大	側	側
同	同	小中大		團	布	側側	側	綿
側	側			側				
二五	一〇	二〇	五	一〇	一五	四〇	二〇	二〇
八〇	七〇	一五〇	二〇	三〇	四〇	一〇〇	五〇	一〇
綿入胴著、同半纏、ネンネコ半纏、袖ナシ其他之ニ類スルモノヲ含ム	綿入長胴著ノ類ヲ含ム	八疊間釣以上 六疊間釣以下 小兒用幌蚊張トス		肩當蒲團、膝當蒲團其他之ニ類スルモノヲ含ム				

風呂敷 二布大以下 三布四布大 五布以上	反物類 絹及綿織物 毛織物	毛布		小切及小紐類	襟卷	ネツクタイ(襟飾)	ダブルカラー	カラ	カラ	カラ	カラ	胸當 (スルメ、 トモ云フ)	ホワイト 覗衣	看護婦衣	消毒衣
		全部	半部												
五 一〇 二〇	三〇 二〇	六〇	三〇	五	一〇	五	五	五	五	五	五	五	一五	二〇	二〇
一五 三〇 五〇	一 一	二〇〇	一〇〇	一〇	四〇	二〇	三〇	二〇	四〇	五〇	四〇	九〇	六〇	五〇	
			ニョール、膝掛毛布ノ類ヲ含ム	手拭、枕覆、小風呂敷、ハンカチーフ等亦之ニ依ル										手術衣、回診衣、理髮衣、其他之ニ類スルモノヲ含ム	

東 コ ト	外 套	ト ン ビ (二重廻シ トモ云フ)	半 ズ ホ ン	夏 洋 服		冬 洋 服		タ ガ ル	帽 子	手 袋	足 袋	褌	腰 卷	油 屋 前 掛
				ズ ボ ン	上 キ 衣	ズ ボ ン	上 キ 衣							
四〇	四〇	五〇	一五	一五	一〇	二〇	二〇	五	一〇	五	五	一〇	一〇	一〇
絹織 共	毛織 製	毛織 製			毛織 製	毛織 製	毛織 製			白染 地	白染 地			白綿 及 染 地
一八〇	一五〇 〇〇	一八二 〇〇	五〇	五〇	四〇	六〇	七〇 五〇 五〇 四〇 八〇 六〇	一五	二〇	三〇 二〇	三〇 二〇	二〇	三〇	四〇 三〇
	インパネス亦之ニ依ル						間著洋服亦之ニ依ル		頭巾、烏打帽子ノ類ヲ含ム、但山高帽子、大黒帽子夏帽子ノ類ハ洗濯セス		靴下ヲ含ム			

袋	小 中 大			卓子掛 (一疊大) (迄每二)	敷物 (迄每二) (迄每大)	産及花莖類 (迄每二) (迄每大)	疊	穀物袋及叭類	梱貨物 (一貫匁) (ニ貫匁付)	書籍
	二〇	一〇	五							
信支袋、巾著、財布等ノ類	六〇	四〇	二〇	一五	二五	一五	八〇	二〇	三〇	五
窓掛、日覆布、暖簾、幕、椅子掛等ノ類ヲ含ム	三〇	四〇	四〇	白染						
絨氈、緞通、由多加織、ズック製等ノ類但座蒲團大ノモノハ座蒲團ノ例ニ依ル	八〇									
綿花、古綿、襪襪、古著、紙屑、古敷物、古麻袋等ノ類										

- 一 以上各品中(襟卷、毛布、敷物、其他特ニ製) 絹布、毛織物、毛メリヤス製ノモノノ消毒並洗濯料ハ倍額トス
- 二 被服及身ノ廻リ品ニシテ小兒用(衣服ハ四ノ身以下)ノモノハ各料金ノ半額トス
- 三 寢具衣類等綿入レモノハ解キ側ノ洗濯チ行フモ仕立直シハ爲ササルモノトス

(別紙書式) 明治四十四年四月十八日市訓
令甲第十九號ヲ以テ書式改正

消毒料 報告

何年 何月 分 區 役 所 印

- 四 梱貨物毎回ノ數量百貫匁以上ニシテ其月一箇月ヲ通シ五百貫匁以上ノ場合ハ一貫匁ニ付貳錢同千貫匁以上一貫匁ニ付壹錢五厘同五千貫匁以上一貫匁ニ付壹錢同壹萬貫匁 上一貫匁ニ付七厘トス
- 五 表記以外ノ物品消毒洗濯ノ料金ハ表中類似品ノ率ニ依ル但之ニ依リ難キ物品ニ關シテハ更ニ其料金ヲ定ム

免 徴	除 收	消 毒			消 毒 並 洗 濯			計		
		金 額	點 數	人 員	金 額	點 數	人 員	金 額	點 數	人 員

備考 (參考トナルヘキ事項アルトキハ附記スルコト)

● 小學校ニ於ケル傳染病消毒

標準 明治四十三年五月三十日
助役通牒三發第七百五號

(各特殊區 區長宛)

小學校ニ於ケル傳染病消毒方法區區ニ差レル様聞及候ニ付テハ爾今別紙標準ニ基キ輕重緩急ノ情況ヲ斟酌シテ遺憾ナキナ期セラレ度此段及通牒候也

追テ腸胃扶斯、猩紅熱、赤痢、虎列刺等ノ場合ハ殊ニ兩便ノ汲取ヲ勵行セシメラレ度請負人等ニアリテハ消毒シタル兩便ノ汲取ヲ欲セサル傾キ有之モ肥料トシテノ關係ハ毫モ其効力ヲ減殺セサル趣ニ付可然御取計相成度特ニ申添候也

學校傳染病消毒標準

甲 猩紅熱、實布埤利亞、麻疹、痘瘡及假痘發疹
窓扶斯等ノ消毒方法

一 學校ニテ發病シタル場合

第二篇 類規 第二類 衛生 第二節 豫防消毒 附傳染病院消毒所

- 發病者カ教員ナルトキ教員室、受持教室ノ腰羽目板以下ヲ石炭酸水(二十倍乃至三十倍)又ハリゾールヲ以テ拭淨スルコト
- 使用シタル器具類亦同シ但拭淨ニ適セサルモノハ刷掃シテ日光ニ曝スコト
- 兩便所チ石灰乳ヲ以テ消毒シタル上汲取ラシムルコト
- 發病者カ教員以外ノ職員又ハ使丁ナルトキ其座席ノ存スル室、執務シタル室チ教員ノ場合ニ準シテ消毒スルコト
- 使用シタル器具類及兩便所ノ消毒方法ハ教員ノ場合ニ同シ
- 發病者カ兒童ナルトキ其教室ノ腰羽目板以下チ教員ノ場合ニ準シテ拭淨スルコト
- 使用シタル器具類兩便所ノ消毒方法ハ教員ノ場合ニ同シ
- 家庭ニテ發病シタル申出テアリタルトキ
- 發病後ノ缺席カ二日未滿ナルトキハ學校ニ於テ發病シタ

- ル場合ト同様ノ消毒方法ヲ行フコト
- 口 發病後ノ缺席カ一週間以内ナルトキハ其座席及其附近ノ消毒ヲ行フコト
- ハ 發病後ノ缺席カ一週間以上ナルトキハ其情況ニ因リテ適當ノ消毒ヲ行フコト
- 三 同居者(家庭)ニ發病者アリタルトキ
座席及其ノ附近ノ消毒ヲ行フコト
- 乙 腸胃扶斯、赤痢、虎列刺等ノ消毒方法
- 一 學校ニテ發病シタル場合
凡テ甲ノ場合ニ準ス但兩便所ハ石灰乳ヲ以テ消毒シタル上二十四時間ヲ經過シタル後汲取ラシムルコト
- 二 其他ハ甲ノ場合ニ同シ
- 丙 水痘、風疹ノ消毒方法
座席ノ消毒ヲ行ヒ(石炭酸水又ハリゾールヲ以テ拭淨)情況ニヨリ教室ノ消毒ヲ行フ

● 公私立學校及私立病院ニ於テ傳染病豫防消毒施行ノ場合衛生掛員處置方

明治四十三年六月十五日(各區長宛)
助役通牒二發第千四百九十二號

傳染病豫防ノ爲メ施行スヘキ消毒方法ニ關シテハ法令ノ所定ニ據ルヘキハ勿論ノ儀ニ候ヘ共公私立學校又ハ私立病院ニ對シテハ施行方法往住區區ニ涉リ居候哉ノ聞モ有之候ニ付左記事項ノ通施行方特ニ注意相成度此段及通達候也

左記

- 一 公私立學校又ハ私立病院消毒ノ必要アルトキハ衛生掛員必ス其施行ニ立會フヘシ
- 二 前項ノ消毒ニ關シテハ其施行スヘキ場所ノ範圍、程度方法等ハ法令ノ命スルトコロニ遵ヒ衛生掛員ハ警察官吏ト協議ノ上之ヲ定ムヘシ

● 船舶汽車内又ハ官衙學校等ニ於テ傳染病患死者又ハ疑似患者發生ノ場合取扱並豫防消毒方法施行方

明治四十四年十月二十六日(各區長宛)
助役通達二發第千六百二十八號

傳染病豫防法第十八條及第二十條ノ船舶或ハ汽車中又ハ諸官廳集治監及官立ノ學校病院製造所等ニ於テ傳染病患者死者又ハ其疑アル患者發生ノ場合ニ於ケル患者若クハ死體ノ處置並豫防消毒方法

定ノ消毒料ヲ納付スヘシ

● 市消毒所處務規程

明治四十四年二月十三日(東京市)
市訓令 甲 第四號(消毒所)

第一條 消毒所ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 傳染病豫防法ニ據ル消毒方法ノ施行
- 二 傳染病患者並其死體及消毒物品ノ輸送
- 三 受託物品ノ消毒並洗濯

第二條 消毒所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	一名
醫員(兼任)	一名
事務員	若干名
技手	若干名
機關手	一名
雇員	若干名

第三條 所長ハ主事又ハ主事補ヲ以テ之ニ充テ市長ノ命ヲ受ケ所務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス

醫員ハ消毒並患者取扱ニ關スル技術上ノ事項ヲ擔任ス(明治四十四年一月市訓令甲第十)三號ヲ以テ本條中改正)事務員、雇員ハ庶務會計ニ從事ス技手ハ第一條第一號及第二號ノ實施ニ從事ス機關手ハ蒸汽罐ノ運用並機關ニ關スル技術ニ從事ス

ハ當該官廳首長ニ於テ施行スヘキ義ニ有之隨テ其費用ハ總テ當該官廳首長ヨリ直接債主ヘ支給スヘキモノニシテ市費ヲ以テ繰替支辨スヘキ限ニ無之候條御了知相成度爲念此段及通達候也
追テ人夫ノ備上及使役並物品供給上ノ斡旋等其依託ニ係ルモノアルトキハ可成便宜ヲ與ヘラルル様致度此段申添候

● 船舶内發生ノ傳染病者取扱及死體送致方

大正二年二月十八日(各區長宛)
助役通達二發第千九百二十六號(消毒所長宛)

明治四十四年十月二發第千六百二十八號通達中檢疫ヲ施行セサル場合ニ於ケル船舶ノ消毒ハ市内ノ河川及海岸ニ繫留セルモノニ對シテハ一般民家ト同様處置スルコトニ決定相成候條依命此段通達候也
追テ右船舶内ノ傳染病患者及隔離者ニ就テノ取扱ハ前通達ノ通りニ候條爲念此段申添候

● 市消毒所設置

明治三十年五月一日
市告示第二十號

深川區東大工町ニ市立消毒所ヲ設置シ傳染病毒ニ汚染シタル物件ノ消毒ヲ施行ス但特ニ消毒施行ヲ望ム者ハ物品携帶同所ヘ申出既

第四條 所長事故アルトキハ首席事務員其職務ヲ代理ス

第五條 所長ハ第一條第一號及第二號ノ事項ヲ執行スル爲メ消毒班ヲ組織シ其服務規程ヲ設ケ市長ニ報告スヘシ

第六條 所長ハ市長ノ認可ヲ受ケ所務ニ必要ナル細則ヲ設ケルコトヲ得

第七條 所長ハ別ニ定ムルモノノ外左ノ事項ヲ專行ス

- 一 所務ニ關シ職名又ハ所名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコト
- 二 所員ニ除服出任ヲ命ジ及請假ヲ許スルコト
- 三 消毒手、火夫、小使、洗濯人等ヲ僱罷スルコト但給料月額貳拾圓以上ノモノハ豫メ市長ノ認可ヲ受ケヘシ
- 四 職工、入夫、舟車馬等ヲ雇上ケルコト
- 五 所務ニ關シ所員ニ市内出張ヲ命スルコト
- 六 不用樹木ノ伐採處分ヲ爲スコト
- 七 糞尿ノ拂下ヲ爲スコト

前項第二號、第三號、第六號、第七號ノ事項ハ施行ノ都度市長ニ報告スヘシ

第八條 所長ハ毎年一月十五日限リ前年中ノ事務成績ヲ市長ニ報告スヘシ

附 則

本規程ハ發令ノ日ヨリ之ヲ施行ス但第一條第一號及第二號ハ別ニ實施區域ヲ定ムル迄ハ從前ノ方法ニ依ル

●市消毒所處務細則

明治四十四年三月二十一日 市長判決二乙第四百二十號ノ二

第一條 消毒所事務ノ分掌左ノ如シ

庶務

會計

物品出納

物品消毒

消毒班

前項ノ事務ハ便宜擔任ヲ定メ處理スルコトヲ得但事務ノ都合ニ依リテハ各員互ニ臨機補助スヘキモノトス

第二條 委任及別ニ定ムルモノノ外豫メ決裁ヲ經ヘシ但輕易ノ事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ主任限リ便宜處理スルコトヲ得此場合ニ於テハ事後必ス所長ニ報告シ承認ヲ經ヘキモノトス

第三條 各務ニ關係アル事項ハ合議ノ上決裁ヲ經ヘシ前條但書及第七條ノ場合又之ニ準スルモノトス

第四條 發受文書ハ總テ件名簿ニ登載シ其處理ヲ明カニスヘシ

第五條 料金ヲ徵收シタルトキハ原簿ノ外日計簿ヲ作り整理スヘシ

第六條 收支ノ計算ハ常ニ明瞭ナラシムヘシ

第七條 不用品其他ノ賣却ハ見積書ヲ徵シ精査ヲ遂ケ相當價格ト認メタル上制規ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 物品ノ購買、賣却、營繕工事等ニ關シ違約賠償ノ制裁ヲ要スルモノハ其契約事項ニ就キ豫メ認可ヲ受ヘシ

第九條 故意、過失ニ依リ物品ヲ亡失又ハ毀損シタル者ハ之カ辨償ノ責ヲ負フヘシ

前項ノ辨償ハ現品ヲ以テス但修理ヲ加ヘ支障ナキ程度ノ毀損ト認ムルトキハ之カ修理ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十條 所員出勤シタルトキハ出勤簿ニ捺印スヘシ

疾病其ノ他私事ノ故障ニ依リ出勤スルトキハ其旨届出ヘシ但病氣缺勤十五日以上ニ涉ルトキハ十五日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ヘシ

遲參又ハ早退ノ場合ハ其事由ヲ具シ所長ノ承認ヲ受ヘシ

第十一條 所員忌服ヲ受ケタルトキハ定限ノ日數及續柄ヲ記シ届出ヘシ

父母ノ祭日ニ當リ賜假ヲ請フ者ハ豫メ届出ヘシ但事務ノ都合ニ依リテハ請假ヲ許ササルコトアルヘシ

第十二條 事務ノ都合ニ依リテハ勤務時間外又ハ休暇日ト雖モ執務スヘシ

第十三條 明治三十六年七月市訓令甲第二十六號ニ該當シ休暇ヲ請ハントスル者ハ豫メ許可ヲ受ヘシ

傭人ニシテ前項ニ該當スル者ニハ一箇年間七日以内ノ休暇ヲ與フルコトアルヘシ但別ニ休暇日ヲ定ムルモノハ此限ニアラス

第十四條 洗濯人ノ休暇ハ左ノ定日ニ據ルモノトス但事務ノ都合ニ依リ出勤ヲ命セラレタルトキハ此限ニアラス

毎月第二日曜日 一日一日

一月二日 一月十六日

七月十六日 十月一日

十二月三十一日 元始祭

新年宴會 孝明天皇祭

紀元節 春季皇靈祭

神武天皇祭 秋季皇靈祭

神嘗祭 天長節

新嘗祭

第十五條 退職又ハ更迭シタルトキハ擔任事務ニ關スル目録書ヲ作り後任者ニ引繼クヘシ但後任者未定ノ場合ハ便宜他ノ擔任者ニ引繼クコトヲ得

事項ノ輕易ナルモノ又ハ許可ヲ得タルトキハ目録書ヲ省略スルコトヲ得

第十六條 所員中左ニ掲ケル者ハ常時下記定數宛宿直スヘシ但事務ノ都合ニ依リ隨時増減スルコトヲ得

- 事務員、雇員ノ内 一名
- 技手 三名
- 消毒手 十名
- 消毒品取扱人 一名
- 小使 一名

第十七條 宿直時間ハ退廳時限ヨリ翌日出勤時限迄トス但公休日

ニ當ルトキハ出勤時限ヨリ翌日出勤時限迄トス
 宿直シタル者ハ事務支障ナキ限り許可ヲ受ケ早退スルコトヲ得
第十八條 非常若クハ急施ヲ要スル場合ハ各宿直擔當外ノ事務ト雖モ申合セノ上便宜處理スヘシ
第十九條 宿直中取扱タル事務ハ翌日之ヲ當該擔任者ニ引繼ギ宿直中ノ必要事項ハ各擔當ノ宿直日誌ニ記載シ翌日所長ニ報告スヘシ

附 則

本則施行ニ關シ必要ナル事項ハ所長之ヲ定ム

市消毒所會計取扱手續

明治四十三年十一月十九日(東京市) 市訓令甲第四十四號(消毒所)

第一條 消毒所ハ(市參事會)ヨリ令達シタル豫算ニ依リ毎年度ノ收支取扱ヲ爲スヘシ
第二條 左ノ事項ニ關シテハ認可ヲ經テ施行スヘシ
 一 豫算金額ノ流用
 二 見積價額五拾圓以上ノ需用品ノ購入、修繕
 三 一箇所五拾圓以上ノ修繕工事
 四 不用品ノ賣却
第三條 物品ノ購入、修繕工事ハ見積書ヲ徵シ調査ノ上契約ヲ爲スヘシ
第四條 現金ノ支拂ハ債主ヨリ請求書ヲ徵シ調査ノ上所長檢印シ支拂方申請スヘシ過納金拂戻ニ關シテモ亦同シ

第七號樣式 收支精算書

第八號樣式 豫算調書

第十二條 前各條ノ外本市會計規程並施行細則ニ依リ取扱フヘシ

第十三條 本規程ハ明治四十三年十一月二十日ヨリ施行ス

第五條 受託品消毒料、洗濯料ハ明治三十二年四月本市訓令第五號規定ノ料金ニ依リ徵收シ十日目毎ニ取纏メ五日以内ニ納付スヘシ
第六條 前條以外ノ收入金ハ納人ヨリ納付書ヲ徵シ其都度送付スヘシ
第七條 受託消毒品ノ受授並料金收入ノ濟否ヲ明ニスル爲メ受託消毒品原簿ヲ備フヘシ
第八條 收支ハ歲入出豫算内譯簿ヲ設ケ整理スヘシ
第九條 收支精算書及翌年度豫算調書ハ左ノ期限内ニ之ヲ提出スヘシ
 一 收支精算書 毎年五月三十一日限
 一 豫算調書 毎年八月三十一日限

附 則

第十條 傳染病豫防法ニ依リ施行シタル清潔方法、消毒方法ノ費用徵收並之レカ取扱ニ關シテハ別ニ定ムル處ニ依ル
第十一條 本規程ニ依ル調書及帳簿ハ左ノ樣式ニ從ヒ調製スヘシ
 第一號樣式 受託消毒料領收書及原符
 第二號樣式 受託消毒料納付書
 第三號樣式 遞減消毒料精算書
 第四號樣式 受託消毒品原簿
 第五號樣式 歲入豫算内譯簿
 第六號樣式 歲出豫算内譯簿

第十四條 本規程ニ抵觸スル從前ノ例規ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但樣式ニ關シテハ明治四十三年度分ニ限り從前ノ樣式ヲ用ユルコトヲ得

(樣式中△印ヲ附シタル文字及橫線ハ朱書)

原 第 號	符	第 號	領 收 證	住 所	住 所	納 人	納 人	原 簿 第 號
一金	但何何洗濯料	右明治 年 月 日領收						
一金	但何何消毒料							
右領收候也								
明治 年 月 日				東京市消毒所	東京市消毒所	所長氏名印		

(第二號樣式ノ一)

第二篇 類規 第二類 衛生 第二節 豫防消毒 附傳染病院消毒所

科目	歳入		歳出		附記
	豫算額	収入額	經常費	増減	
歳入					
歳出					
増減					
附記					
増減ノ理由					

(第八號樣式)
明治 年度消毒所歳入出豫算調書

科目	年度		同上年平均額	前年度豫算額	本年度豫算額	同上前年度ニ比
	年度	決算額				
増						
減						
附記						
増減ノ理由						

●市消毒所消毒手採用規程 明治四
十三年

十月十四日助役通牒二
發第二千五百六十三號(消毒所長宛)

其所消毒手採用規程別紙ノ通相定候條此段及通達候也

市消毒所消毒手採用規程

- 第一條 消毒手ハ左ノ各號ニ該當スル者ヲ採用ス
- 一 年齡滿十八歳以上五十歳未滿ニシテ身體強壯ナル者
 - 二 精神ニ異常ナキ者
 - 三 品行方正ニシテ酒癖ナキ者
 - 四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレシコトナキ者
 - 五 楷書又ハ行書ヲ書キ得ル者
 - 六 簡單ナル往復文ヲ作り得ル者
- 特殊ノ經驗技能ヲ有スル者ハ第五號及第六號ノ制限ニ據ラサルコトヲ得
- 第二條 消毒手ニ採用スルトキハ別紙書式ニ依リ保證人連署ノ誓文ヲ徴スヘシ
- 第三條 保證人ハ東京市内ニ現住スル成年ノ男子ニシテ一家計ヲ

立ツルモノトス

第四條 保證人東京市外ニ轉住シ又ハ死亡シタルトキハ更ニ相當保證人ヲ立テシムヘシ

誓文(參錢收入印紙)

自分儀令般貴所消毒手ニ採用セラレ候ニ付テハ服務上諸規則其他指揮命令ヲ遵守可致ハ勿論市民ニ對シテハ丁寧親切ヲ旨トシ職務上總テノ責務ハ嚴正忠實ニ踐行可仕又在職一年未滿ニシテ自己ノ便宜ヲ以テ退職候様ノ儀有之間數候仍テ誓文如此候也

本籍 現住所
族稱 戶主(戶主ニアラサルト) 何 某
年月日 年月日

右何某ニ於テ萬一誓文ニ違背シ不都合ノ行爲有之候場合ハ拙者之ヲ引受ケ聊モ貴所ノ御迷惑トナラサル様速ニ處辨可仕此段保證候也

本籍

現住所
 族稱 戶主
 保證人 何
 年月日 某
 年月日

●市消毒所員服制

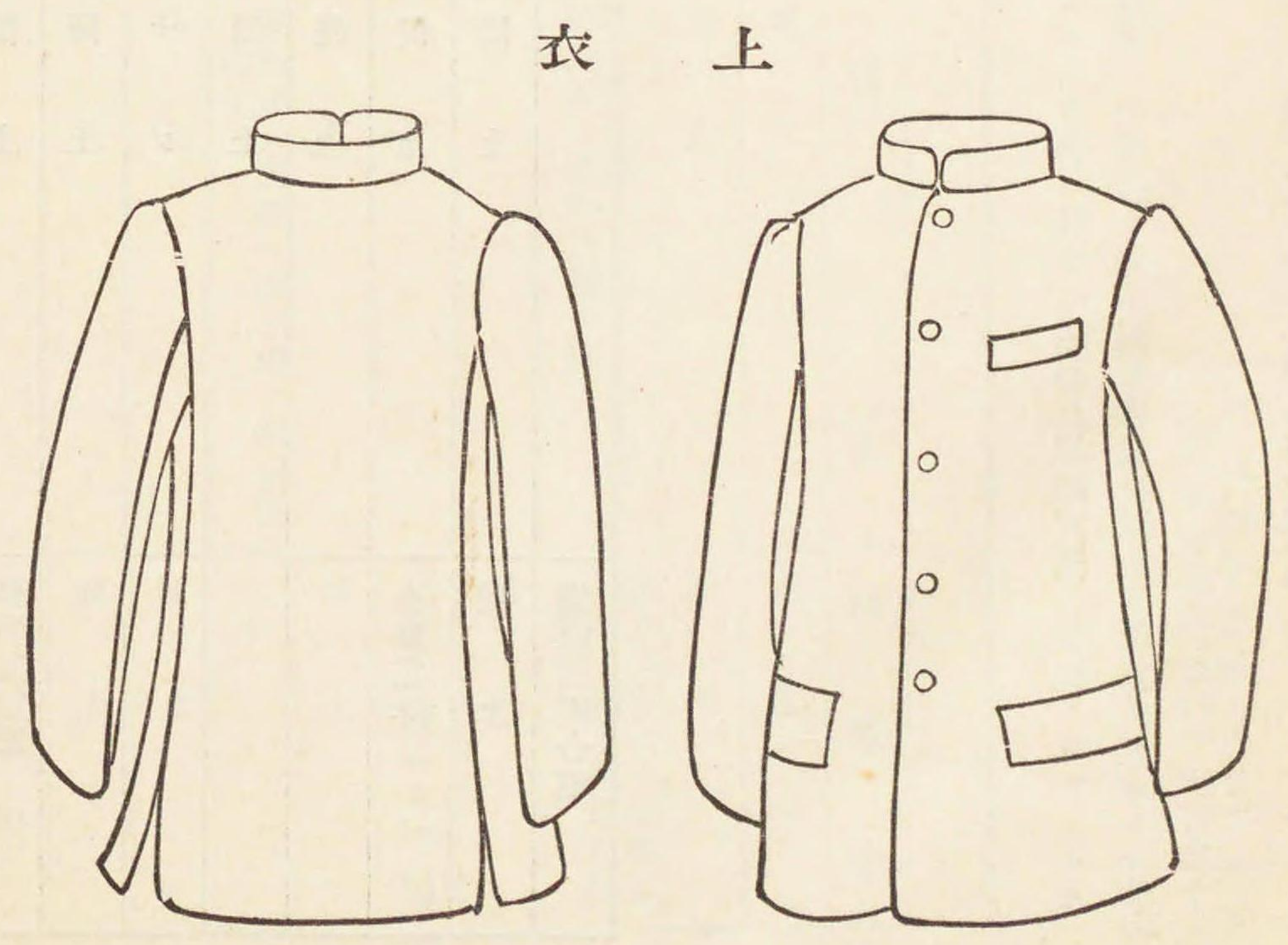
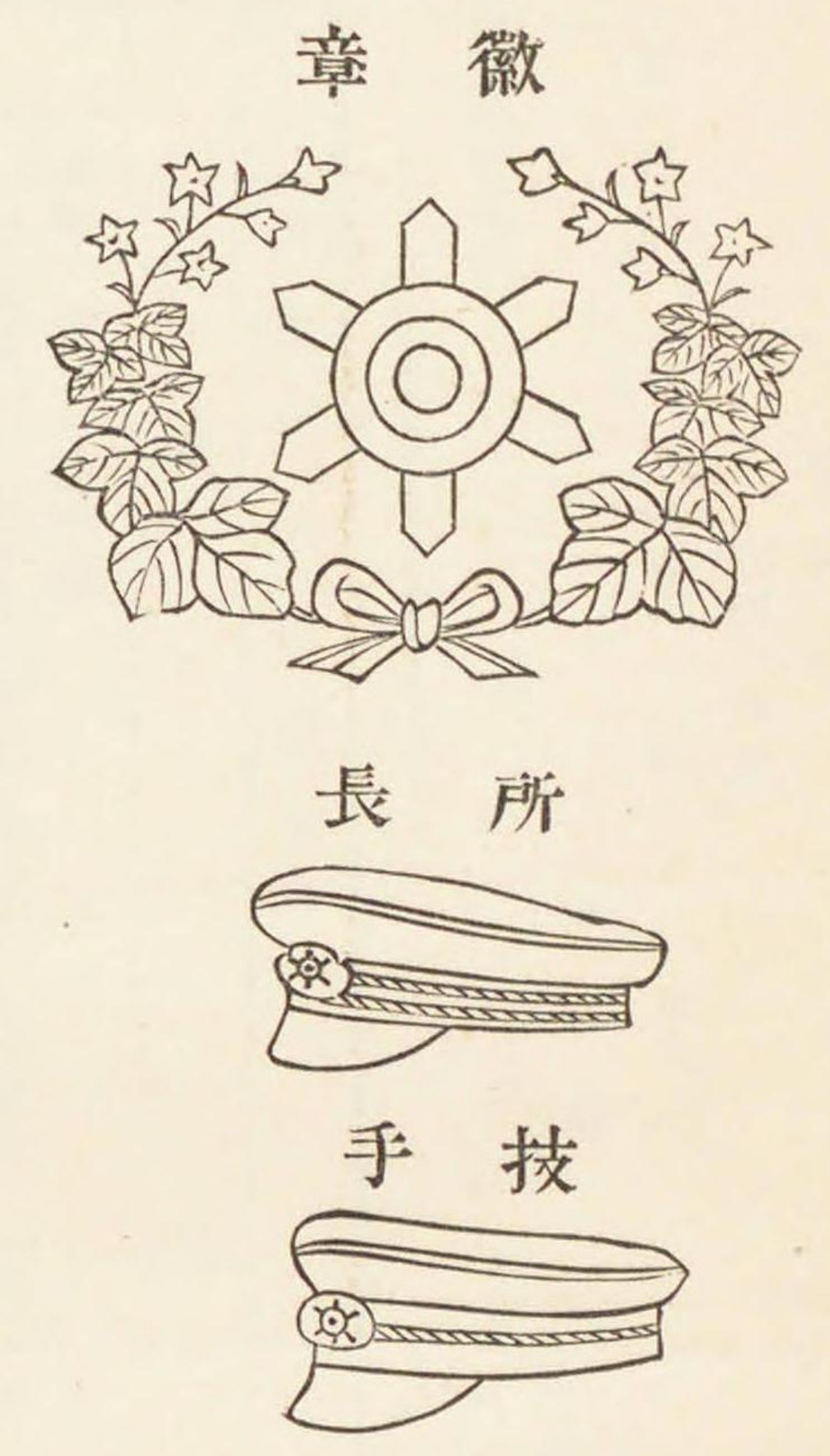
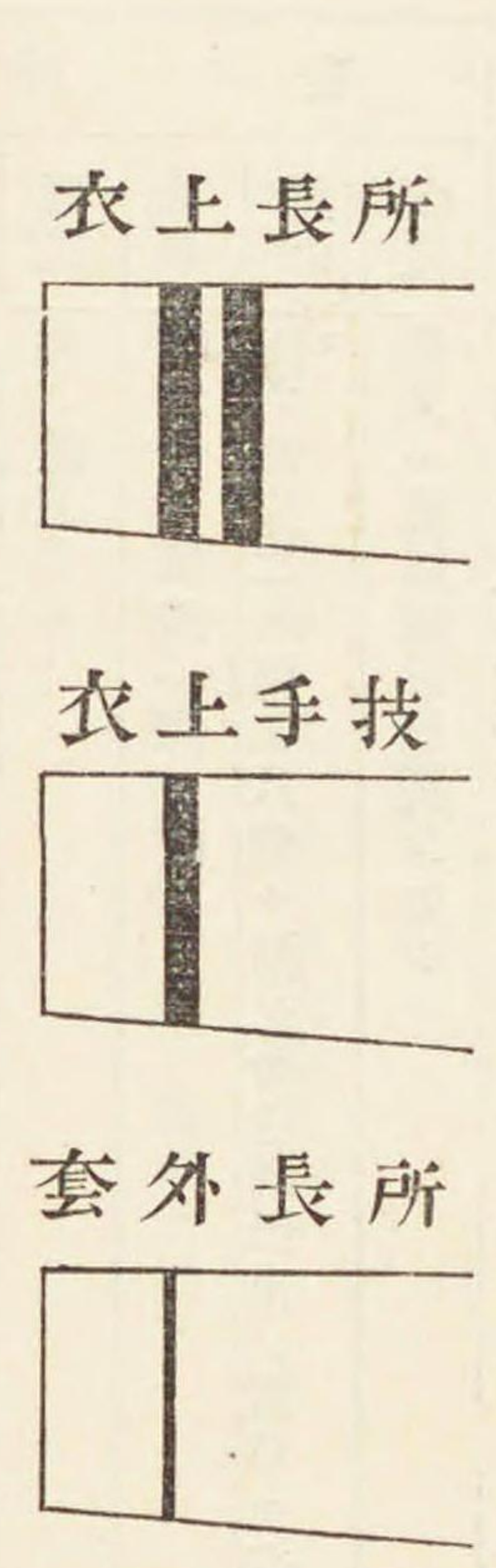
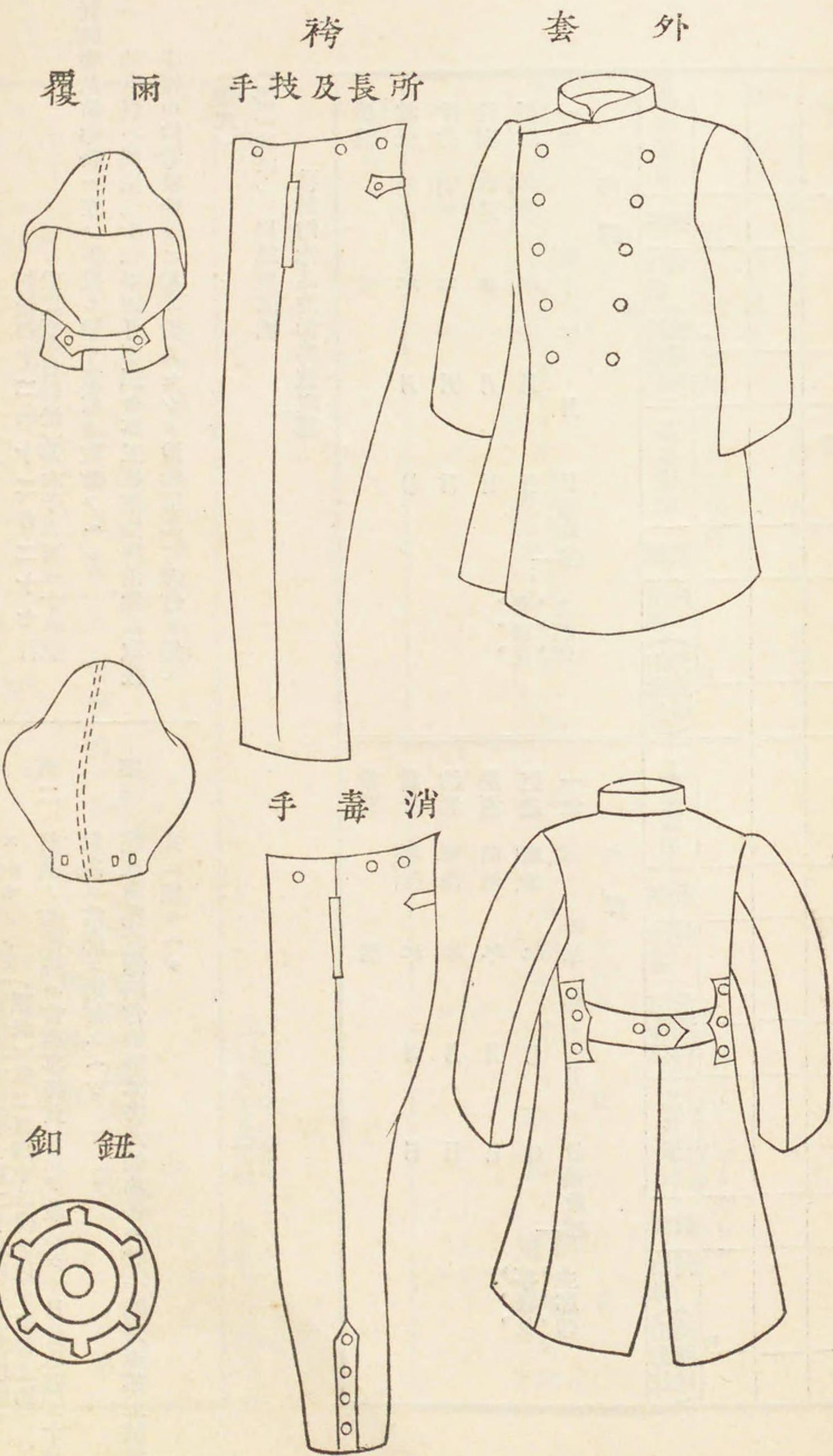
明治四十三年十月二十五日
 〔市參事會議決〕第四百七十五十一號
 消毒所ニ消毒班ヲ置キ傳染病患者死者ノ輸送及患者ノ消毒等ニ當
 ラシムヘク答ニ付テハ該職員服制ヲ左ノ通定ムルモノトス

東京市消毒所長宛

消毒所職員服制		長		技		手		消毒手	
地質	黒又ハ濃紺絨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
制式	圓形ニシテ黒色ノ眼底及頤鈕ヲ附シ頤鈕ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ鈕ヲ以テ留ム形狀ノ如シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
徽章	前章ハ金色モール製桐葉ヲ以テ市徽章ヲ挾ム其徑ニ八分横一寸三分トシ帽ノ周圍ニ幅五分ノ毛線二線ヲ纏ヒ中ニ幅五厘ノ深綠色ノ線ヲ加フ形狀ノ如シ	同上但毛線ハ一線トシ其上部ニ幅五厘ノ深綠色線ヲ加フ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
日覆	白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
地質	黒又ハ濃紺絨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
制式	長「ツヤケット」形狀ノ如シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
袖章	幅五分ノ黒線二條ヲ纏フ形狀ノ如シ	幅五分ノ黒線一條ヲ纏フ形狀ノ如シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
鈕釦	胸五個一行金色圓形模樣ハ市ノ徽章ヲ表ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
地質	黒又ハ濃紺絨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
制式	普通	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
袴	普通	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

外		套		夏		服		雨具	
地質	黒又ハ濃紺絨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
制式	普通	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
袖章	幅二分ノ黒線一條ヲ附ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
鈕釦	胸六個宛二行腰部八個ヲ附シ金色圓形市ノ徽章ヲ表ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
雨覆	黒又ハ濃紺絨形狀ノ如シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
地質	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
制式	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
夏	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
服	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
雨具	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上





●被託消毒品消毒料徴收手續

明治四十二年十二月二十七日
〔市參事會議決〕第六千九百三十八號

被託消毒品消毒料ハ左ノ手續ニ據リ徴收方取計フヘシ
第一 消毒料ハ明治三十二年四月市訓令第五號傳染病消毒品取扱
手續中消毒料金表ニ據リ納入セシメ消毒濟品ノ還付ヲ爲ス

第二 前項ノ消毒料ハ首席事務員ニ於テ收入シ十日分取纏メ十日
以內ニ當廳ニ納付スヘシ
第三 整理簿集計簿納付書精算書及領收書ハ第一號乃至第五號様
式ニ據ルヘシ

(第一號甲) 用紙美濃紙

被託消毒品消毒料整理簿

番號	被託	消毒	料	品名	種別	數	個	品名	種別	數	個	品名	種別	數	個
一金	返送	洗濯	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒	消毒
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員	事務員
主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印	主席印
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

備考

梱貨物毎回百貫以上ノ分ヲ除キタル消毒料ヲ整理スルモノトス

(第一號乙) 用紙美濃紙

被託消毒品遞減消毒料整理簿

(様式中△印ヲ附シタ
ル文字及横線ハ朱書)

番號	第	號	被託者	住所	氏名
被託年月日	消毒年月日	返送年月日	料金收入年月日	品名	數量
			日及領收者印	每回累計	當個
				消毒料	每收入
				回数	累計
				過剩額	過剩額

備考

一 梱貨物毎回百貫以上ノ消毒料ヲ整理スルモノトス

二 一箇月一人分チ一用紙トス

(第二號)

(様式中△印ヲ附シタ
ル文字及横線ハ朱書)

被託消毒品消毒料集計簿				
年月日	收入金額	納付金額	差引殘額	過剩額
一四七〇〇	一四七〇〇		一四七〇〇	
一〇〇〇〇			一〇〇〇〇	二九〇〇〇
				過剩額ハ整理簿

第二篇 類規

第二類 衛生

第二節

豫防消毒

附傳染病院消毒所

各區衛生掛員及汚物掃除吏員其他汚物掃除ニ從事スル人夫等ノ使用ニ係ル被服ハ傳染病豫防及公衆衛生上最モ清潔ヲ保タシムルノ必要アルニ依リ當該吏員人夫ノ使用セル本市制定ノ被服ニシテ市消毒所ニ於テ消毒並洗濯ヲ爲ス場合ノ料金ハ何レモ規定ノ半額ヲ以テ施行スルモノトス

●傳染病豫防ノ爲メ開キタル

幻燈會等狀況報告方

明治三十三年十月二十五日(各區役所) 市訓令甲第五十八號
傳染病豫防ノ爲メ其區内ニ於テ幻燈會又ハ講話會ヲ開キタルトキハ開會後五日以内ニ其狀況ヲ報告スヘシ

●醫科大學附屬醫院入院ノ傳染病患者取調上注意方

明治三十二年十二月二十三日(各區長宛) 助役通達總甲第九十三號
從來醫科大學附屬醫院ニ於テ傳染病患者ヲ入院セシムルトキハ所轄區役所ヨリ衛生掛員出張シ患者ニ關スル事項等取調ヲ爲シ來候向モ有之候處患者ニ就キ直接取調ヲ爲スハ病勢進重ノ媒因トナリ治

●實布埜里亞病血清治療手續

明治四十四年一月二十三日(各區長宛) 助役通達二發第百二十一號
明治三十五年二月總發第二百七十九號通達實布埜里亞病血清治療手續左記ノ通り改正相成候條依命此段及通達候也

(左記)

血清治療手續

- 第一條 實布埜里亞及同病疑アル患者應急治療ノ爲豫メ適當數ノ血清及注射器ヲ區役所内ニ貯藏スヘシ
- 第二條 貧困患者ニ對シテハ本市醫員ヲシテ治療セシメ血清ハ之ヲ施與スルモノトス
- 市醫員事故ニ依リ出張治療ヲ施ス能ハサル場合ニ於テ便宜他ノ醫師ノ治療ヲ受クルトキト雖血清ノ施與ハ前項ニ同シ
- 第三條 貧困患者ニアラサル者ノ治療ニ際シ醫師ヨリ血清又ハ注射器ノ供給ヲ請フトキハ之ヲ貸與スルコトヲ得但シ現品ヲ以テ返納セシムヘシ

●鼠買上手續

明治四十三年五月十五日 市告示第三十八號
明治三十五年 本市告示第八十五號鼠買上手續左ノ通改正シ本年五月十五日ヨリ施行ス

鼠買上手續

第二篇 類規 第二類 衛生 第二節 豫防消毒 附傳染病院消毒所

療上妨害少カラサルノミナラス尙ホ他ニ不都合ヲ生スルコトモ有之ニ付一切謝絶致度旨帝國大學總長ヨリ東京府知事ヘ照會ノ趣モ有之候得共右ニテハ實際差支候場合モアルヲ慮リ相當回答相成候由ニ有之候條自今直接患者ニ就キ取調ヲナスニアラサレハ豫防上處要ノ事項ヲ知ルニ由ナキ場合ノ外可成他ノ方法ニ依リ調査シ若シ止ヲ得ス直接患者ニ就ク場合ニ於テハ主治醫員ノ立會ヲ求メ治療上妨害トナラサル様深ク注意有之度此段及通達候也

●市費支辨ニ屬スル傳染病死

亡者火葬料額

明治三十二年四月五日 助役通達總發第三百九十七號

市費支辨ニ屬スル傳染病死者ノ火葬料ハ今般各火葬場ト協議ノ末三十二年度ヨリ左ノ金額ヲ以テ支拂フコトニ決定致候條右ニ依リ取扱有之度此段及通達候也

- 一 大人 金壹圓八拾錢
- 一 小兒 未滿六歲 金壹圓

第一條 鼠ハ家鼠(シブ鼠及二十日鼠ヲ含ム)ニシテ本市内ニ於ケル捕鼠斃鼠ニ限ル

第二條 捕獲又ハ發見ノ場所明瞭ナラサルモノハ買上手續ニ依リ

第三條 鼠買上代ハ一頭金貳錢トス(明治四十四年一月二十八日市告示第六號ヲ以テ本條中「五錢」ヲ「貳錢」ニ改正、同年五月二十九日市告示四十二號ヲ以テ「參錢」ヲ「貳錢」ト改メ)

第四條 鼠ヲ捕獲シ又ハ斃鼠ヲ發見シタルトキハ捕鼠ト斃鼠ヲ區別シ區役所、警察署、分署、支署又ハ買鼠ノ取扱ヲ爲ス巡查交番所ニ差出シ買鼠券ノ交付ヲ受クヘシ

第五條 買鼠券ノ交付ヲ受ケタルトキハ其日ヨリ起算シ三十日以内(最終日公休日ニ當リ)ニ本市公金取扱所ニ就キ現金ト引換フヘシ此ノ期間ヲ經過スルトキハ引換ノ效力ヲ失フモノトス

鼠取扱ノ注意

- 一 「バスト」病毒ハ鼠及鼠ノ蚤ヨリ傳染スルヲ以テ鼠ノ取扱ニ就テハ左ノ通り注意スヘシ
- 一 鼠ハ管類ニテ取扱ヒ使用後ハ直チニ消毒スヘシ但シ竹木類ノ管ハ可成焼却スルヲ可トス
- 二 鼠ニ蚤ノ寄生スルトキハ直チニ消毒藥液又ハ水中ニ暫時浸漬スルヲ要ス
- 三 捕鼠ニシテ未タ死セサルモノハ消毒藥液又ハ水中ニ入レ殺スヘシ
- 四 捕鼠器ハ使用セシ都度消毒スヘシ

買鼠報告方

明治四十五年五月二十三日(各區長宛)
助役通達二發第千二百四十號

買鼠報告ハ自今月報トシ左記様式ニ依リ翌月十日限り提出相成度此段及通達候也

(様式)

年月分買鼠報告

〔何〕區 役 所

日	買鼠		計數	棄權數	備考
	斃鼠	捕鼠			
合計					

記載例

- 一 買鼠取扱所數ハ備考欄合計ノ箇所ニ掲載シ増減アリタル場合ハ當日ノ備考欄ニ其要領ヲ掲ケヘシ
- 二 本表ハ用紙ノ都合ニ依リテハ二段ト爲スモ差支トシ

買鼠券消印方注意

明治三十六年十月二十三日(各區長宛)
助役通達第百三十一號

當時市ニ於テ鼠族驅除方法施行ト同時ニ發行シタル買鼠引換券ニ

ト對照ノ上請求書提出可相成答ニ有之候處右ハ買鼠券ト對照調査シタル取扱者ノ證印ナキ向モ往往有之ニ付爾後ハ請求書ノ下ヘ取扱者捺印ノ上請求ノ手續御取計有之度此段及照會候也(明治三十四日市告示第四十一號會計規程ニ基キ本文中鼠買上代金ノ下「市税金取扱所」トアリシヲ「市金庫」ト訂正)

買鼠代金支拂年度區別整理方

明治四十五年四月十一日(各區長宛)
助役通達二發第八百四十號

鼠買上代金支拂ノ年度區別ハ買鼠券ヲ發行シタル日ノ屬スル年度ニ依リ整理相成度爲念此段及通達候也

買鼠取集及運搬人足賃證書 内譯様式

明治三十八年七月二十日(各區長宛)
助役通達衛發第七百三十一號

鼠買上ニ關シテ要セシ人足賃ノ證書區區ニ涉リ調査上差支候條自今證書ノ内譯チ左ノ様式ニ依リ作製セシメラレ度此段及通達候也
追テ毎月二回(一日ヨリ十五日迄)若クハ三回(一日ヨリ十日迄、一日迄、二十一日)ニ分チ一回毎ニ一通ノ證書ニシテ徴セラレ度右ヨリ月末迄申添候也

シテ指定ノ代金ヲ支拂ヒタルトキハ區ニ於テ一消印ヲ押捺致居候儀ト被存候得共尙此手續ヲ了セサルモノ有之候ハ右手續御取計相成度依命及通達候也

買鼠券調查報告方

明治四十五年四月十二日(各區長宛)
助役通達二發第七百八十九號

買鼠券ハ自今各年度毎ニ調査シ左記様式ニ據リ報告相成度依命此段及通達候也

(様式)

明治 年度買鼠券調查報告

受高	發行高	廢棄其 他ノ高	差引殘高	摘 要
(買上總數)			(次年度へ) 繰越數(廢棄其他不足ノ理由詳記ノコト)	

(備考) 略ス

未書

買鼠代金請求書ニ取扱主任 捺印方

明治三十六年七月二十七日(各區長宛)
助役照會總發第千八百九十一號

鼠買上代金市金庫若クハ各支拂銀行ヨリ請求ニ係ルトキハ買鼠券

(様式)

一金「何程」

鼠取集及運搬人足賃(又ハ何何人足賃)何人分

内譯

月 日	員 數	一個當 金 額	事 由

備考

内譯チ別紙ニ認ムル場合ニハ一金額ノ腹書ニ但別紙内譯書ノ通リト追書スヘシ

ペスト病豫防ニ關シ特別

手當支給方

明治三十三年六月八日
市會議決第六十九號

本市吏員及備員ニシテペスト病豫防救治ニ從事シ専ラ該病者又ハ病毒汚染ノ虞アル物品ニ接近スル者ニハ各其俸給又ハ給料月額三分一以内ノ月手當ヲ給スルコトヲ得

區役所吏員職務上傳染病ニ 罹り市立病院ニ收容ノ場合 報告事項

明治四十三年六月十日(各區長宛)
助役通牒一發第千四百九十三號

本市吏員ニシテ職務上傳染病ニ感染シ本市立病院へ收容治療ヲ施
ス場合ハ左記事項通報相成度此段及通達候也

左記

- 一 送院ノ際病院へ通知事項(送院狀ノ外特ニ)
一 感染者職氏名
- 二 感染者俸給額(年俸、月俸、日給ノ區別ヲ明示スルコト)
- 三 職務上感染ノ旨
- 當廳へ報告事項
- 一 病名
- 二 感染者職氏名
- 三 感染者俸給額(年俸、月俸、日給ノ區別ヲ明示スルコト)
- 四 發病月日
- 五 收容場所並送院月日
- 六 職務上感染ノ事由
- 七 轉歸ノ場合ハ轉歸要領及月日並轉歸當時ノ俸給額

市吏員並使丁職工定工夫等 職務上傳染病ニ感染シ入院 シタル場合報告方

明治四十四年
九月三十日
助役通達二發第二
千四百四十四號(駒込病院長宛)

本市吏員並使丁職工定工夫等ニシテ職務上傳染病ニ感染シ入院
セシ患者ニ對シテハ其診斷確定次第左記ノ事項報告相成度此段及
通達候也(大正元年十月七日市長判決二發第千四百七十九號
ヲ以テ病院內勤務者中職務ノ爲傳染病ニ感染シタリ
ト認ムルモノアリタルトキハ左記學術上ノ調査書ヲ
徵セス單ニ院長ノ報告ノミニテ認定スルコトトセリ)

左記

- 一 患者勤務所、職氏名
- 二 病名
- 三 入院月日
- 四 血液、糞便、尿等ノ細菌學の検査及血清反應検査ノ成績
- 五 固有症候及經過ノ概要
- 六 病症ノ輕重
- 七 其他參考トナルヘキ事項

市吏員傳染病感染者治療待 遇標準

明治四十三年六月九日
(市參事會議決)第千二百六十三號

五月十四日付甲第五七號申請傳染病感染者待遇ニ關スル件認可ス
但給料月額參拾圓以上ノ日給者及助手ハ特等ニ準シ取扱フヘシ
(明治四十二年五月十四日
駒込病院長申請書)

本市吏員又ハ之ニ準スヘキ者ニシテ職務上傳染病ニ感染シタルハ
駒込病院職員以下ノ外從來其例ナカリシニ付一般ニ對シ市吏員傷
病死者特別給與規程第三條但書及使丁職工定工夫特別給與規程第
三條第一項但書ニ依リ本市立病院へ收容治療ヲ施ス場合其待遇方
ニ關シテハ未タ何等ノ標準ヲ示セルモノナキモ今回臨時病院看護
婦及區吏員ニ感染者アリタルヲ以テ此際待遇方ヲ一定シ置ク必要
ヲ認メタルニ依リ客年駒込病院長ノ申請ニ依リ認可シタル左記標
準ニ據リ取扱フモノトス

(左記)

- 一 市吏員傷病死者特別給與規程第三條第一號及第二號ニ該當
スル者 特等待遇
- 二 同條第三號ニ該當スル者 一等待遇
但臨時職員及醫員助手ハ日給額ニ關セス前項ニ準スルコ
ト
- 三 患者滿員ノ爲病室差支又ハ臨時病院ニ於テ其事實發生シタ
ル場合ハ臨機適當ノ措置ヲ執ルコト

駒込病院職員以下傳染病ニ 罹リタル場合治療方並待遇 標準

明治四十二年九月二日(駒込病院宛)
市長認可衛乙第七百三十號

市吏員傳染病感染者救助料 支給等差及標準

大正二年 月 日
二發第千九百二十四號

傳染病感染者ニ對スル救助料ハ本年三月十三日市告示第三十五號
ヲ以テ俸給月額三箇月分以下ヲ支給スルコトニ改メラレタルニ付
テハ之カ支給ニ關スル標準ヲ定メ等差ヲ內定シ置ク必要アルニ依
リ左記ノ通規定スルモノトス

左記

市吏員傷病死者特別給與規程第四條ニ據ル傳染病感染者ニ對ス

ル救助料ノ支給ハ左ノ等差及標準ニ據ル

- 一 等差別標準
 - (イ) 感染ノ機會及經路
 - 甲 避クヘカラサル機會ニ遭遇シ的確ニ其感染ヲ現認シ得ヘキモノ
 - 乙 甲ノ如ク的確ニ其感染ノ機會ヲ現認シ得サルモ感染ノ經路明確ナリト認ムルモノ
 - 丙 感染ノ機會及經路不明ナリト雖職務上感染者ト認定ニ得ヘキモノ
 - (ロ)
 - 重症 豫後憂フヘシト認メタルモノ
 - 輕症 短日時ニシテ全治ノ見込アルモノ

二 等差例

- 一 等 感染ノ動機甲ニシテ疾病重症ナルモノ
- 二 等 感染ノ動機甲ニシテ疾病輕症ナルモノ及感染ノ動機乙ニシテ疾病重症ナルモノ
- 三 等 感染ノ動機乙ニシテ疾病輕症ナルモノ及感染ノ動機丙ニシテ疾病重症ナルモノ
- 四 支給額
 - 一 等 俸給月三箇月分
 - 二 等 同 二箇月分
 - 三 等 同 一箇月分

第三節 種痘

●種痘執務心得

明治四十三年三月二日(各區長宛) 助役通牒二發第三百八十八號

種痘執務心得別冊ノ通制定相成候條右ニ據リ整理相成度此段及通達候也

種痘執務心得

- 第一條 區長ハ種痘簿ヲ編製シ公私種痘ノ成績ヲ明ニスヘシ
- 第二條 要種痘者ニシテ市内甲區ヨリ乙區ニ轉居シタルトキハ甲區長ヨリ乙區長ニ通知スヘシ
- 第三條 種痘法施行規則第一條ノ種痘終了後ノ種痘ハ毎月(八月)一回(檢診)一回區役所内ニ於テ施行スルモノトス但施行期日ハ主務課ニ協議ノ上ニ於テ決定ムヘシ種痘場所ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ(明治四十四年一月三十日助役通牒二發第三百五十二號ヲ以テ本條及第四、第六條中改正)
- 第四條 相當ノ事由ニ依リ種痘所ニ出頭スルコト能ハサル者ニ對シ其住所ニ就キ接種若ハ檢診ヲ爲シタルトキハ速ニ當廳ニ報告スヘシ
- 第五條 定期種痘施行ノ指定ヲ爲シタルトキハ速ニ其期日、場所、區域及要種痘豫定人員ヲ當廳ニ報告スヘシ
- 第六條 種痘濟否問合書、種痘期日指定公告、施行日公示、要種痘者告知書、檢診出頭通知書、種痘完了通知書、種痘完了證明書ハ附錄第一號乃至第七號様式ニ據ルヘシ

第二篇 類規 第二類 衛生 第三節 種痘

第一號様式(用紙半紙半截)

種痘濟否問合書	住 所	氏 名	年 月 日 生
		氏 名	年 月 日
		何 區 役 所	
		氏 名 殿	
		氏 名 殿	

右出生以來種痘セシ年月日及善感(顆數)不善感ノ別又ハ痘瘡經過者若クハ未種痘者ナルトキハ其旨ヲ氏名ノ上部ニ記入シ來ル 月 日マテニ當役所ヘ差出サルヘシ
但痘瘡經過者若クハ種痘濟者ナルトキハ其證書ヲ提示セラルヘシ
明治 年 月 日

備考

種痘濟否不明ノ轉入者ニ對スル取調ノ爲メ其保護者又ハ義務者ニ送致スルモノトス

第二號様式(用紙美濃又ハ西ノ内)

何區告示第 號

本區現住人ニシテ左記各號ニ該當スル者ノ種痘期日ヲ 月 日迄トス但シ該期日迄ニ種痘ヲ受ケサルトキハ其保護者又ハ義務者ハ處罰セラルヘシ

明治 年 月 日 區長 氏 名

- 一 前年中出生ノ者
 - (痘瘡ヲ經過シ又ハ既ニ種痘ヲ受ケ善感シタル者ヲ除ク)
 - 二 數ヘ歳十歳ノ者
 - (痘瘡ヲ經過シ又ハ數ヘ歳八歳以後ニ於テ種痘ヲ受ケ善感シタル者ヲ除ク)
 - 三 前年ノ定期種痘不善感ノ爲メ更ニ種痘ヲ要スル者
- 本區役所ニ於テ施行スル種痘ノ場所及日時ハ隨時之ヲ公告ス

第三號様式(用紙美濃又ハ西ノ内) (明治四十四年一月三十二號ヲ以テ本様式以下改正)

公 示

本年種痘定期ニ在ル者ノ種痘期日及場所左ノ如ク定ム

明治 年 月 日	區長 氏 名
種痘期日	種痘場所
月 日	要種痘者區域
月 日	何 何
月 日	何 何
月 日	何 何

- 注意 (要種痘者)
- 一 數ヘ歳二歳ノ者
- 二 數ヘ歳十歳ノ者
- 三 前年ノ定期種痘不善感ノ爲メ更ニ種痘ヲ要スル者

備考 一 區域ハ町名等ニ依ルモノトス 二 四十三三年ニ於テハ注意第三ノ記載ヲ要セサル者トス

第四號様式(用紙稍厚キ西洋紙半紙半裁判)

要種痘者告知書

第()期第()回種痘 住 所 氏 名 明治 年 月生

右種痘ヲ要シ候ニ付來ル何月何日當區開設ノ種痘所ニ出頭シ又ハ同期日迄ニ醫師ニ就キ種痘ヲ受シメラルヘク此段告知候也 但醫師ニ就キ種痘ヲ受ケタルトキハ其種痘證書ヲ提示シ届出ララルヘク又病氣其他ノ事由ニテ指定ノ期日ニ種痘ヲ受ケ難キ場合ハ其事由ヲ具シ猶豫ヲ申請セラルヘク若シ此ノ手續ヲ爲サス又ハ故ナク種痘ヲ怠リタル者(保護者又ハ義務者)ハ科料ニ處セラルヘシ 明治 年 月 日 何 區 役 所 (保護者) 氏 名 殿

區開設種痘(場)日 所 時 (意注) ▲區開設ノ種痘所ニ出頭セラルル者ハ當日本書携帶セラルヘシ ▲裏面ニ種痘前ノ心得アリ必ス閱覽アリタシ

備考

- 一 様式第二號ノ公告ヲ爲シタルトキ及區長ニ於テ種痘ヲ要スルモノト認メタルトキ要種痘者ノ保護者又ハ義務者ニ送致スルモノトス (本文中様式第二號トアルハ明治四十二年一月三十一日(市務會議決)第百九十五號ニ依リ様式改正ノ結果第三號ニ改當スル儀ト知ルヘシ)
- 二 種痘前ノ心得ハ成ルヘク通俗ニ振り假名ヲ附スヘシ

- 三 要種痘者催告ハ本書ニ據リ表面ニ催告ノ印ヲ押捺スヘシ

裏 面

- 種痘の心得
- 一 受痘者は前日なるべく湯にはいり身體を清潔にしてお出でなさい
 - 一 受痘者には清潔なる襦袢を着せ當日はなるべく筒袖又は「シャツ」杯を着せぬようになさい

檢診出頭通知書

住所

右 氏 名
左 氏 名

來ル何月何日檢診ノ上種痘濟證交付スヘク候ニ付
午前何時ヨリ午後何時迄ニ本書携帶必ス出頭セラ
ルヘシ

但檢診ヲ受ケ難キ事由アルトキハ其旨届出ラレ
ヘク若シ故ナク出頭セラレサルトキハ保護者又
ハ義務者ハ科料ニ處セララルヘシ

明治 年 月 日 何 區 役 所

▲檢診場所

(意注)
(裏面ニ種痘後ノ心得アリ必ス閱覽アリタシ)

備考
一 區開設ノ種痘所ニ於テ接種ヲ爲シタルトキ本書ヲ交
付スルモノトス
二 接種後ノ心得ハ成ルヘク通俗ニ振り假名ヲ附スヘシ

種痘後ノ心得

一 接種後數日間ハ成るヘク湯に入らぬ様になさ
い然し顔や手先を洗ふことは勿論腰湯を行ふ
のは差支ありませんがせをひかぬ様に注意
なさい

一 飲食物は常の通りにて差支ありません

一 接種したあさを擦つたり搔きやぶつたり又は
汚したりしてはなりません

一 若しも接種したあさを擦つたり搔きやぶつた
りして潰瘍を生じたるとき其附近に腺腫を生
じたるるとき又は發熱高きときは捨置かず醫師
に診てもらひなさい

一 痘瘡は勿論其外すべて熱病人のある家には決
して立寄てはなりません

第六號樣式甲(用紙美濃野紙)

種痘完了通知書

種 別	本籍(住所)	保護者又ハ 義務者氏名	受種痘者 氏名	痘者 年 齡
	第一期第一回善 感	何町何番地	何 某	何 某 何 歲
第一期第二回不 善感	何町何番地	何 某	何 某	何 某 何 歲
痘瘡經過	何町何番地	何 某	何 某	何 某 何 歲
右通知ス	明治 年 月 日			

備考
本書ハ區内戸籍吏ニ通知スヘキモノトス

第六號樣式乙

種痘完了通知書

本籍地 寄留地東京市………

第一期 善感(第二回不善感) 氏 名
本籍地 明治 年 月生
寄留地東京市 ……

第一期(善感(第二回不善感)) 氏 名
明治 年 月生

右種痘完了ニ付此段及通知候也

明治 年 月 日 何 區 長 氏 名印

備考
一 本書ハ私製葉書ニ印刷シ置クモノトス
二 表面ハ區外戸籍吏宛トス
三 市内ハ使送トシ市外ハ郵送トス

契印	第 號	種痘證明書	住 所
			某 女男
			何 某
			年 月生
明治 年 月 種痘第 期第 回(善感)			
右種痘ヲ完了シタルコトヲ證ス			
年 月 日			
東京市何區長	何		某印

備考
 一 紙質及寸法ハ種痘濟證ト同一トス
 二 本件ノ願出ハ可成口頭ニ依ラシメ本書ハ種痘濟證
 明簿ト契印ノ上交付スルモノトス

●種痘執務用印類竝種痘濟證
 調製標準

明治四十三年三月二日(各區長宛)
 助役通牒二發第四百三十五號

種痘濟證ニ押捺スヘキ善感不善感ノ印類ハ種痘簿用ノ分ト共ニ當
 應ヨリ配付可致候條種痘濟證印刷方ニ關シテハ字大各區區區ニ涉
 ラサル様左記標準ニ據リ調製相成度此段及通知候也

- 一 第一期種痘濟證 右第一期種痘ヲ完了シタルコトヲ證ス、
 區長氏名、注意
 - 右二號活字大
 - 二 年月種痘第 回善感類、不善感
 右三號活字大
 - 三 前記以外ノ文字ハ五號活字大
- 附記 其他ノ種痘濟證及種痘證明ハ前記各項ニ準スルコト

●種痘法施行規則第一條ニ依
 ル規定ノ期間内囑託醫ニ於
 テ種痘施行方

明治四十三年四月六日(各區長宛)
 助役通牒二乙第二百八十七號

- 種痘施行ニ要スル醫師ハ種痘法施行規則第一條ニ規定セル期間ハ
 囑託醫ヲ置キ之ヲ行ハシメ右期間以外ノ種痘ハ本市常置ノ醫員ヲ
 シテ施行セシメ候條左記ノ通取計有之度依命此段及通達候也
- 一 囑託スヘキ醫員ハ醫師中小兒科專門若クハ特ニ種痘術ニ修
 養アルモノヲ選ヒ申出ツルコト
 - 二 囑託醫ニハ種痘(接種)ニ從事シタル日數ニ應シ手當ヲ支給
 ス但手當一日ノ金額ハ每年定ムル所ノ豫算ノ一個當以内ト
 シ區長ニ於テ之ヲ定ム
 - 三 囑託醫ハ種痘兒約二百名ニ付一人ノ豫定ヲ定テ從事セシム
 ルコト
- 以上
 (小石川、下谷兩區長ニ對シテハ宛名ノ次ニ左ノ追書ヲ記入
 スルコト
 追テ貴區ニ在リテハ傳染病研究所ト契約シタル事項以外ノ場
 合本文ニ依リ御取扱相成度此段申添候也

第四節 汚物掃除

●市汚物掃除規則

明治三十三年三月三十日
市告示第二十八號

第一章 掃除方法

第一條 汚物ハ左ノ區別ニ依リ市費ヲ以テ之ヲ掃除ス

一 各戸汚物場

毎六日以内一回

但土地ノ狀況其他ノ原由ニ依リ必要ナル場合ニ於テハ每日若ハ隔日一回

二 廣場、車道、橋梁、共同物場、地先下水等ニ於ケル汚物

毎二日以内一回

三 魚鳥及青物市場

毎 日 一 回

第二條 汚物ハ第二章ノ規定ニ從ヒ請負人ナシテ掃除セシムルモノトス但必要ニ際シ市自ラ經營スルコトアルヘシ

(明治四十年十一月十九日市告示第八十四號ヲ以テ但書追加)

第三條 此規則ニ於テ汚物ト稱スルハ塵芥、塵芥ニ混同スル淤泥魚鳥獸ノ骨腸野菜ノ斷片瓦礫竹木其他一切ノ不潔物ヲ云フ

第四條 汚物掃除ハ主務吏員ヲ派出シ之ヲ監視セシムヘシ

第五條 第一條ノ期日ヲ過ケルモ汚物ヲ掃除セサルトキハ主務吏員又ハ市役所若クハ所轄區役所ヘ申出ヘシ

第二章 掃除請負方法

第二篇 類規

第二類 衛生

第四節 汚物掃除

第六條 汚物掃除請負人ハ第一章ノ規定ニ遵ヒ塵芥其他一切ノ汚物ヲ掃除シ尚汚物場ノ附近ハ清潔ニ掃除スヘシ

第七條 汚物堆積不潔ヲ極メ又ハ掃除不充分ナルトキハ定規ノ外臨時掃除ヲ命スヘシ

請負人ニ於テ前項ノ掃除ヲ怠ルトキハ他人ニ命シ之ヲ掃除セシメ其費用ヲ辨償セシムヘシ

第八條 汚物運搬ニ要スル器具ハ凡テ請負人ノ自辨タルヘシ

第九條 請負人ハ市役所ノ指揮ニ依リ一定ノ服裝ヲ爲シタル掃除人夫ヲ使用スヘシ

第十條 請負人ハ請負ヲ命セラレタル日ヨリ十日以内ニ汚物掃除ニ要スル人夫並船車ノ員數船ノ定繫所等ヲ定メ市役所ノ認可ヲ受クヘシ其變更ヲ要スルトキ亦同シ

第十一條 汚物取扱所ハ煉化又ハ石造若クハ木造トシ汚臭等ノ漏

溢セサル様建築シ市役所ノ検査ヲ受クヘシ

第十二條 汚物取扱場ハ東京市内又ハ接續郡村ニ於テ三十箇所ヲ建設スルモノトス但事情ニ依リ市役所ノ許可ヲ得テ特ニ増設スルコトヲ得ヘシ

第十三條 汚物運搬車ハ臭氣汚汁ノ漏溢セサル爲メ覆蓋アル箱ヲ附著スヘシ

第十四條 汚物ヲ汚物取扱場外ニ於テ攪分シ又ハ河中等ニ投棄スヘカラス

第十五條 汚物取扱場ニ汚物堆積シ公害アリト認ムルトキハ臨時

所置セシムルコトアルヘシ

第十六條 請負人及掃除人夫ハ名義ノ如何ニ係ハラス各戸ノ汚物ヲ掃除スルカ爲メ各戸ヨリ金品ヲ受クヘカラス

第十七條 暴風雨其他天災ノ爲メ規定ノ掃除ヲ爲シ難キトキハ其事由ヲ具シ主務吏員ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタルトキハ其事故ノ止ミタル翌日相當ノ人夫ヲ出シ之レカ掃除ヲ爲スヘシ

第十八條 請負人ハ毎日所轄區役所ヘ出頭シ主務吏員ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條 汚物掃除費ハ一箇年ヲ四期ニ分チ三箇月毎ニ之ヲ下付ス但情狀ニ依リ三箇月以内ト雖モ之ヲ下付スルコトアルヘシ

(明治三十三年五月二十日市告) 示第五十一號ヲ以テ但書追加

第二十條 請負人ハ身元保證金トシテ請負金額ノ十分ノ一ヲ納付スヘシ

第二十一條 請負人此規則ニ違背シタルトキハ期限内ト雖モ其請負ヲ取消シ且ツ身元保證金ノ全部又ハ幾部ヲ沒收スルコトアルヘシ

第二十二條 請負人請負ヲ命セラレタルトキハ直ニ左ノ様式ニ依リ請負證ニ身元保證金ヲ添ヘ差出スヘシ

第二十三條 請負年限ハ會計年度ニ依リ滿一箇年間之ヲ命ス但掃除ノ成績良好ナルトキハ期限滿了後更ニ之ヲ繼續セシムルコトアルヘシ

第二十四條 本則ニ依リ命令スル建築物其他ノ事項ニシテ警察上

ノ取締規定アルモノハ各其所轄警察官署ノ認可ヲ要スルモノトス

第二十五條 本規則ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

相當 印紙

請負證

東京市第

部汚物掃除請負金

一金 此身許保證金

右金高キ以テ請負被命候ニ付テハ身許保證金トシテ前記ノ金額費

廳ヘ差出置キ凡テ汚物掃除規則ニ基キ明治 年 月 日ヨ

リ 年 月 日迄請負可申候萬一右規則ニ違背シタルトキ

ハ違約金トシテ身許保證金ヲ沒收セラレハ勿論貴廳ニ於テ汚物

掃除ヲ完全ニ執行スルコト能ハスト御認定相成爲メニ請負御取消

相成候共異議無之又貴廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人

ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニ於テ引受處置可致候依テ連署

ヲ以テ請負證差出置候也

年 月 日

住 所

請負人 氏 名印

住 所

保證人 氏 名印

保證人ハ市内ニ現住シ直接國稅金貳拾圓以上ヲ納ムル者

(東京市參事會)

東京市長 宛

● 塵芥掃除人夫雇入ニ關スル

注意

明治三十四年九月二十八日(各區長宛) 助役通達總發第千四百二十六號

汚物塵芥掃除人夫中監視吏員ノ指揮ニ違ヒ各戸ノ掃除ヲ怠リ其他不都合ノ所爲有之甲區請負者ヲシテ解雇セシメタル人夫ハ從來ノ實況ニ徴スルニ直チニ乙區丙區等ニ轉雇入チ受ケ再ヒ不都合ノ所爲ヲ行ヒ延テ他ノ善良ナル人夫ヲ惡習ニ染マシムル弊有之ニ付自今該人夫ニ關シ左ノ通り取扱ハレ請負人ニ實行セシメラレ度依命此段及通達候也

- 一 汚物塵芥掃除人夫中不都合アリ解雇セラレタル者ハ他區ニ於テ雇入チナササルコト但本人ニ於テ大ニ悔悟スル所アリ最初解雇チナシタル請負人ノ保證ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス
- 一 前項不都合アルニ依リ解雇シタル人夫ノ氏名ハ其ノ解雇シタル區ノ區役所ヨリ他區ヘ通報シ通知ヲ受ケタル區役所ハ之ヲ其區ノ掃除請負人ニ指示スルコト但區役所ハ便宜ニ依リ汚物掃除監督ニ委囑シ本項ノ手續ヲナサシムルモ妨ナシ

● 汚物掃除請負區域及入札人資格並請負入札心得

明治四十年四月十九日 市訓令甲第七號(各區役所)

明治三十五年五月二十三日東京市訓令甲第二五號汚物掃除ニ關スル請負區域及入札人資格並請負入札心得別紙ノ通り改正ス (別紙)

- 一 請負區域及入札人資格
 - 一 請負人ハ一區一名ト定ム但區ノ狀況ニ依リ區内チ更ニ分割シ之ヲ請負シムルコトヲ得
 - 二 請負人ノ資格ハ市内ニ住居シ一箇年以上引續キ直接國稅五圓以上ヲ納ムルモノトス
 - 三 入札ハ公入札又ハ五名以上ノ指名入札ニ依ルモノトス但從來ノ請負人ニ於テ成績不良ナルモノハ指名入札ニ加フルコトヲ得ス
- 請負入札心得
 - 一 請負人ハ本市汚物掃除規則及請負命令事項並左ノ條件承知ノ上入札スヘシ
 - 一 入札者ハ入札保證金トシテ入札金高十分ノ一以上ヲ納付スルコト但入札保證金ハ入札書ト同時ニ提出スヘシ若シ書留郵便ヲ以テ入札ヲ爲サシメタル場合ハ開札ノ當日入札保證金ヲ提出スルコトヲ得
 - 二 開札ハ入札者ノ面前ニ於テシ豫算標準價格ノ範圍内ニテ金額最モ低キモノヲ以テ落札トナスコト但二名以上入札金高同一ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムルコト
 - 三 開札後落札人未タ請負ヲ命セラレサル以前ニ於テ其入札ノ

- 取消ヲ乞フトキハ入札保證金ノ全部ヲ沒收セラルヘキコト
- 四 開札ノ結果落札人ノ入札保證金ハ請負證ノ提出迄區役所ニ保管シ其他ハ即時還付スルコト
- 五 入札書ニ入札者自ラ記名調印ヲナスコト
- 六 既ニ開札ニ著手シタル以上ハ入札書ノ訂正ヲ許サス
- 七 請負入札書式左ノ如シ

一金 東京市何區汚物掃除請負額

右者汚物掃除規則及請負命令事項並請負入札心得承知ノ上入札候也

年月日

入札者何

誰印

何區長宛

●塵芥掃除請負命令事項

明治四十二年四月二十二日 (各區役所)
市訓令甲第十四號

- 一 塵芥取扱場ハ無償ニテ使用セシムルニ付其小破修繕ハ之ヲ負擔スヘシ
- 二 塵芥取扱場ニハ別ニ指定スル所ニ從ヒ運搬船ヲ備ヘ置キ場内ニ塵芥ヲ堆積セシムルコトナク一定ノ方法ニ依リ運搬處分スヘシ

- 三 肥料船到着セサルカ爲メ取扱場ヘ塵芥堆積シ請負人ヘ之カ處置ヲ命スルモ之ニ應セサルトキハ本市ニ於テ全部ヲ捨芥トシ處分スルコト但シ之カ爲メ要シタル費用ハ三分ノ二ヲ請負人ノ負擔トシ請負金ヨリ控除スヘキコト (明治四十五年四月二十二號ヲ以テ本項ヲ追加シ以下順次繰下ク)
- 四 塵芥取扱場ニハ塵芥墜落豫防裝置具ヲ備ヘ置キ塵芥ノ河中ニ墜落スルヲ防止スヘシ
- 五 塵芥取扱場ノ内外ハ常に最モ清潔保持ニ留意シ其地先河川ハ時時浚渫スヘシ
- 六 掃除取締人及掃除人夫ハ常雇トシ別ニ指定スル所ニ依リ日日出役セシムヘシ若シ疾病其他事故ニテ缺クスル者アルトキハ相當ノ代人ヲ差出シ其旨區役所ニ届出ツヘシ
- 七 掃除人夫ハ年齢十八年以上五十年未満ニシテ身體強壯ナル者ニ限ルヘシ
- 八 當該吏員ニ於テ不適任ト認ムルトキハ掃除取締人又ハ掃除人夫ノ解雇ヲ命スルコトアルヘシ
- 九 掃除取締人及掃除人夫ハ各其受特區域ヲ定メテ之ヲ使用スヘシ
- 十 前項掃除取締人及掃除人夫ノ住所氏名並其受特區ハ速ニ區役所ニ届出ヘシ
- 十一 塵芥運搬車數ハ掃除人夫一人ニ付一輛宛トス
- 十二 掃除取締人、掃除人夫、運搬船車其他掃除ニ要スル器具數

ハ豫メ指定スト雖モ臨時必要アリト認ムルトキハ其増加ヲ命スルコトアルヘシ

- 十三 各戸掃除ヲ爲シタルトキハ其時必ス掃除表ニ其證ヲ留メヲレンコトヲ該家人ニ乞ハシムヘシ
- 十四 塵芥掃除時間ハ毎日午前七時ヨリ午後五時マテトス但時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ
- 十五 塵芥運搬車及掃除取締人並掃除人夫ノ法被 (一月、七) ハ一定ノ形式ニヨリ調製シ市ノ徽章ヲ附スヘシ
- 十六 塵芥運搬船ニハ市ノ徽章ヲ附シタル一定ノ旗ヲ掲ケシムヘシ
- 十七 塵芥運搬車其他掃除ニ要スル器具類ハ常に清潔ニシテ不體裁ナラサルコトニ注意シ且當該吏員ノ命アルトキハ何時ニテモ之ヲ改造修繕スヘシ
- 十八 塵芥掃除ハ一般五日以内ニ一回トス但料理店、飲食店、旅人宿、下宿業、劇場、寄席、青物商、薪炭商、花商等塵芥多出ノ各戸ハ毎日一回掃除スヘシ其他土地ノ狀況ニ依リ當該吏員ヨリ毎日若クハ隔日又ハ三日日若クハ四日掃除ヲ命セラレタルトキハ之ニ從フヘシ
- 十九 清潔方法施行ノ際ハ特ニ人夫ヲ増員シ各戸ヨリ排出シタル塵芥ヲ即時ニ搬出スヘシ
- 二十 火災鎮火後ハ直チニ人夫ヲ出シ其附近道路及各戸ノ塵芥ヲ掃除スヘシ

- 二十一 普通掃除ヨリ生スル捨芥ノ水上運搬ハ市ニ於テ之ヲ行フモ清潔方法ヨリ生スル塵芥ハ全部請負人ニ於テ處分スヘシ (明治四十五年三月二十九日市訓令甲第十) 一號ヲ以テ本項ヲ追加シ以下順次繰下ク)
- 二十二 傳染病流行時其他ノ事由ニヨリ必要ト認ムルトキハ臨時塵芥ヲ燒却ヲ命スルコトアルヘシ
- 二十三 鳥獸ノ死屍ハ速カニ取片付ヲ爲スヘシ其處分方法ニ付テハ豫メ當該吏員ノ承認ヲ受ケ置クコトヲ要ス
- 二十四 掃除取締人掃除人夫及運搬船車其他一切ノ器具類ニ對シテハ少クモ毎月一回一定ノ場所ニ集メ検査スヘシ
- 二十五 定期若クハ臨時ニ指定セラレタル掃除取締人數、掃除人夫數運搬車數等ヲ缺キタリト當該吏員ニ於テ認メタルトキハ左ノ標準ニヨリテ計算シ請負金額中ヨリ控除スヘシ
- 一 掃除取締人 一人ニ付 一日金五拾錢
- 一 掃除人夫 (運搬車付) 一人ニ付 一日金四拾錢
- 二十六 前項ノ外塵芥運搬船、掃除取締人並掃除人夫法被、塵芥豫防裝置具等ノ設備其他請負人ノ義務ニ屬スル事項ニシテ不履行ノ場合ニハ當該吏員ニ於テ代執行ヲ爲シ其實費ヲ請負金額中ヨリ控除スヘシ
- 二十七 掃除取締人、掃除人夫、運搬船船頭、船夫等ニ於テ業務上不都合ノ行爲アリタルトキハ請負人ニ於テ其實任スヘシ
- 二十八 請負人自己ノ都合ニ依リ請負期限内ニ請負ヲ辭スルトキ

ハ其身元保證金ヲ沒收スヘシ
二十九 前各項ノ外必要ニ應ジ更ニ命令事項ヲ増加スルコトアル
ヘシ此場合ニ於テ請負人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス
右命令ス

●汚物掃除請負契約締結ノ場

合命令事項記載方

明治四十年四月十九日
助役通牒衛發第四十四號(各區長宛)
本月十九日訓令甲第八號ヲ以テ汚物掃除請負ニ關スル命令事項設
定相成候ニ就テハ將來契約締結ノ場合ハ請負證市長宛ノ次ニ之ヲ
列舉セラレ度最モ區ニ於テ本文以外必要ト認ムル事項ハ追加トシ
テ記載スルハ別段支障無之候條右事項ハ豫メ當廳ノ承認ヲ受ケラ
レ度依命此段及通達候也

●官衙其他ヨリ塵芥處分ノ囑

託ヲ受ケタル場合施行取計

大正二年三月二十日(芝、麻布、赤坂、四區區長宛)
市訓令甲第十六號(谷、牛込、小石川區區長宛)

- 一 以上本規程ニ因ル受賞者ヲ出シ且ツ其部内一般ノ掃除成績優
等ナル者ニハ毎月賞金ヲ給與ス
- 賞金ハ一等金壹圓、二等金七拾五錢トス
- 第三條 掃除人夫ニシテ格別勉勵シ且ツ其受持内一般ノ掃除成績
優等ナル者ニハ毎月賞金ヲ給與ス
- 賞金ハ一等金五拾錢、二等金四拾錢、三等金參拾錢トス
- 第四條 本規程ニ關スル細則ハ市長ノ認可ヲ得テ掃除監督長之ヲ
定ム

●塵芥掃除其他從業人夫使役

方法

明治四十五年四月二十六日(各區長宛)
助役通達二發第九百三十四號

- 塵芥掃除、下水浸漬、街路撒水施行方彙ニ訓令相成候處尙人夫使
役其他ニ關シテハ左記ノ通り取計有之度依命此段及通達候也
(左記)
- 一 撒水人夫出頭セサルカ又ハ業務ニ從事セサル場合ハ當日ノ
日給ヲ支給セサルコト
- 二 撒水人夫出頭シタルモ撒水ニ使役スルノ必要ナキトキハ便
宜下水浸漬及運搬ニ使役スルコト
- 三 撒水人夫ニシテ下水浸漬及運搬ニ從事スルカ爲メ要スル器
具ハ下水浸漬費ヨリ支辨シ貸與スルコトヲ得

官衙其他個人ヨリ其義務ニ屬スル塵芥ノ處分ヲ本市ヘ囑託スル者
アルトキハ調査ノ上相當實費ヲ徴收シ施行方取計ハルヘシ

●受託塵芥處分後報告及收入

金整理方

大正二年三月二十日
助役通達二發第五百四十五號

(芝、麻布、赤坂、四區區長宛)
(谷、牛込、小石川、區長宛)

今般市訓令甲第一六號ヲ以テ官衙其他個人ヨリ塵芥處分ノ依頼ヲ
受ケヘキコトニ相成候ニ付テハ右施行ノ上ハ速ニ其月日金額及氏
名等詳細當廳ヘ報告シ區ニ於テ當該年度ノ科目ヘ收入有之度此
通達候也

●市塵芥掃除請負人以下獎勵

規程

明治四十三年四月二十五日
市告示第二十八號

- 第一條 本市塵芥掃除請負人ニシテ其使用スル掃除取締人及掃除
人夫中ヨリ毎月三分ノ一以上本規程ニ因ル受賞者ヲ出シ且ツ其
請負區域内一般ノ掃除成績優等ナル者ニハ當該年度ノ九月、三
月ニ褒狀ヲ授與ス
- 褒狀ノ授與二回ニ及ヒタルトキハ尙銀盃ヲ授與ス
- 第二條 掃除取締人ニシテ其部下ニ屬スル掃除人夫中ヨリ三分ノ

- 四 常備人夫ハ一箇年ヲ通シ業務ニ差支ナキ限り十五日以内ノ
休暇ヲ與ヘ當日ノ日給ヲ支給スルコトヲ得
- 五 常備人夫ニシテ平素業務勉勵ナル者ニハ一箇年一回金參圓
以内ノ賞金ヲ與フルコトヲ得
- 六 請負事業ニシテ人夫指定數ヲ定メアルモノ其數ヲ缺キタル
トキハ請負金ヨリ必ス控除スルコト
- 七 供給人又ハ請負人ハ取締人夫タルコトヲ禁スルコト

●掃除監視吏員職務章程

明治三十三年四月二十五日(掃除監視吏員)
市訓令甲第二十二號

第一章 掃除監督長ノ職務

- 第一 掃除監督長ハ掃除監督掃除巡視及掃除人ノ勤務作業服裝等
ヲ監視シ必要ナル指揮ヲ爲スヘシ
- 第二 掃除監督長ハ市内ヲ巡回シ左ノ事項ヲ視察スヘシ
一 掃除監督以下ノ配置ノ適否
二 掃除人ノ數及其ノ配置ノ適否
三 塵芥燒却場、汚物假置物ノ狀況
四 公共溝渠、公共便所ノ狀況
五 其ノ他市ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除ノ狀況
六 私人ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除ノ狀況其他掃除ニ關スル法

令ノ行否

- 第三 掃除監督長ハ公共溝渠、公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ築造修繕浚渫等ヲ要スト認ムルトキハ〔市參事會〕ニ具申スヘシ
- 第四 掃除監督長ハ汚物掃除法第七條ニ依リ履行期間ヲ指定シテ私人ニ戒告シ及私人ノ履行スヘキ事項ヲ施行スヘシ
- 第五 掃除監督長私人ニ戒告スルトキハ左ノ事項ヲ除ク外市長ノ指揮ヲ受クヘシ
 - 一 溝渠、便所、井戸流其他ノ場所ノ掃除及汚物ノ處分ニシテ人夫十人以内ニテ履行シ得ヘキ見込ナルモノ
 - 二 溝渠、便所、井戸流ノ築造修繕等ニシテ拾圓以内ノ費用ヲ以テ履行シ得ヘキ見込ナルモノ
 - 三 塵芥容器ノ備付取替等
- 第六 掃除監督長戒告書ヲ送達セシムルトキハ領收證ヲ徴セシムヘシ
- 第七 掃除監督長汚物掃除法施行規則第十五條ノ申告ヲ受ケタルトキ又ハ警察官署ノ通知アリタルトキハ掃除監督又ハ掃除巡視ヲシテ臨檢セシメ必要ト認ムルトキハ自ラ臨檢スヘシ
- 第八 掃除監督長ハ掃除巡視ノ受持區畫ヲ定ムヘシ
- 第九 掃除監督長ハ掃除巡視ニ受持ノ區又ハ勤務ノ場所ヲ命スヘシ
- 第十 掃除監督長ハ臨時必要アルトキハ掃除監督ヲシテ他ノ掃除

- 監督ノ擔任ニ屬スル事務ヲ補助代理セシメ又ハ掃除巡視ヲシテ掃除監督ノ事務ヲ補助代理セシムルコトヲ得
- 第十一 掃除監督長ハ掃除監督及掃除巡視ノ進退賞罰ヲ〔市參事會〕ニ具申スヘシ
- 第十二 掃除監督長ハ掃除人ヲ雇入レ及之ヲ解雇シ又ハ人夫請負人ニ命シテ掃除人ヲ解雇セシムルコトヲ得
- 第十三 掃除監督長ハ人夫請負人ニシテ不都合アリト認ムルトキハ〔市參事會〕ニ具申スヘシ
- 第十四 掃除監督長ハ毎月一回左ノ事項ヲ調査シ翌月十五日迄ニ市長ニ報告スヘシ
 - 一 使用シタル掃除人ノ延人員（掃除區畫別塵芥焼却場等ニ使用スル者ハ別ニ之ヲ示スヘシ）
 - 二 搬出シタル塵芥及淤泥ノ各見積重量又ハ容量（掃除區畫別）
 - 三 焼却シタル塵芥ノ見積重量又ハ容量（塵芥焼却場別）
 - 四 公共溝渠、公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ築造修繕浚渫等ニ著手シ又ハ落成シタル箇所其ノ狀況
 - 五 掃除監視吏員ノ特ニ視察シタル戸數（溝渠、便所、井戸流視察シタルモノ）
 - 六 掃除監視吏員巡回視察中私人ニ與ヘタル注意ノ件數
- （イ） 塵芥容器又ハ其使用方ニ付
- （ロ） 溝渠ニ付
- （ハ） 便所ニ付
- （ニ） 地域内ノ掃除ニ付

（ホ） 其ノ他（前各號ニ準シテ項目ヲ分ツテ要ス以下同シ）

- 七 私人ニ戒告シタル數
 - （イ） 塵芥容器又ハ其使用方ニ付
 - （ロ） 溝渠ニ付
 - （ハ） 便所ニ付
 - （ニ） 地域内ノ掃除ニ付
 - （ホ） 其ノ他
- 八 戒告ヲ受ケ私人ノ履行シタル件數
 - （イ） 塵芥容器又ハ其使用方ニ付
 - （ロ） 溝渠ニ付
 - （ハ） 便所ニ付
 - （ニ） 地域内ノ掃除ニ付
 - （ホ） 其ノ他
- 九 代執行シタル件數
 - （イ） 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - （ロ） 溝渠ニ付
 - （ハ） 便所ニ付
 - （ニ） 地域内ノ掃除ニ付
 - （ホ） 其ノ他
- 十 掃除監視吏員申告ニ依リ臨檢シタル件數
 - （イ） 塵芥容器又ハ其使用方ニ付
 - （ロ） 溝渠ニ付

- （ハ） 便所ニ付
- （ニ） 地域内ノ掃除ニ付
- （ホ） 其ノ他
- 十一 掃除監視吏員警察官署ノ通知ニ依リ臨檢シタル件數
 - （イ） 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - （ロ） 溝渠ニ付
 - （ハ） 便所ニ付
 - （ニ） 地域内ノ掃除ニ付
 - （ホ） 其ノ他
- 十二 掃除監視吏員施行規則又ハ掃除法施行ニ關スル廳府縣令ニ依リ告發シタル者ノ數
 - （イ） …………… 第何條ニ依リ
 - （ロ） …………… 第何條ニ依リ
 - （ハ） …………… 第何條ニ依リ
 - （ニ） …………… 第何條ニ依リ
- 其他
- 第十五 掃除監督長ハ毎年掃除事務年報ヲ調製シ翌年六月マテニ市長ニ提出スヘシ
- 第十六 掃除事務年報ニ記載スヘキ事項ハ左ノ如シ
 - 一 掃除區畫ノ數各區ノ面積戸數人口（戸數人口ハ最近調査ニ依ル）
 - 二 各掃除區畫内ノ受持區畫ノ數
 - 三 年末現在掃除監視吏員ノ員數俸級別

- 四 毎月使用シタル掃除人ノ延人員(掃除區畫別塵芥焼却場等ニ使用スル者ハ別ニ之ヲ示ス)
- 五 毎月搬出シタル塵芥淤泥ノ各見積重量又ハ容量(掃除區畫別)
- 六 焼却シタル塵芥ノ見積重量又ハ容量(塵芥焼却場別)
- 七 公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ數(公共便所汚物區畫別年未現在)
- 八 公共溝渠、公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ヲ築造修繕浚渫等ニ著手シ又ハ落成シタル箇所其狀況
- 九 汚物掃除法施行規則第五條ニ依リ市ニ於テ汚物ヲ蒐集スル戸數(毎日何回蒐集何戸、毎日一回戸數(同上、毎二日一回同上、掃除區畫別)塵芥容器塵芥溜ノ數(掃除區畫別)年未現在)
- 十 汚物掃除方施行規則第二十一條ニ基キ土地ノ占有者ヲシテ汚物ヲ處分セシムル箇所ノ數(掃除區畫別)年未現在)
- 十一 毎月掃除監視吏員ノ特ニ視察シタル戸數(溝渠、便所、井域内ヲ特ニ視察シタルモ)
- 十二 掃除監視吏員毎月巡回視察中私人ニ與ヘタル注意ノ件數
 - (イ) 塵芥容器又ハ其使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他

- 十三 毎月私人ニ戒告シタル件數
 - (イ) 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他
- 十四 戒告ヲ受ケ私人ノ履行シタル件數(毎月)
 - (イ) 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他
- 十五 代執行シタル件數(毎月)
 - (イ) 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他
- 十六 掃除監視吏員申告ニ依リ臨檢シタル件數(毎月)
 - (イ) 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他

(ホ) 其ノ他

十七 掃除監視吏員警察官署ノ通知ニ依リ臨檢シタル件數(毎月)

- (イ) 塵芥容器又ハ其ノ使用方ニ付
 - (ロ) 溝渠ニ付
 - (ハ) 便所ニ付
 - (ニ) 地域内ノ掃除ニ付
 - (ホ) 其ノ他
- 十八 掃除監視吏員施行規則又ハ掃除法施行ニ關スル廳府令ニ依リ告發シタル者ノ數(毎月)
- (イ) …………… 第何條ニ依リ
 - (ロ) …………… 第何條ニ依リ
 - (ハ) …………… 第何條ニ依リ
 - (ニ) …………… 第何條ニ依リ
- 十九 市ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除又ハ掃除ニ關スル市ノ施設ニ付毎月掃除監督ヨリ掃除監督長ニ具申シタル件數
- (イ) 公共溝渠ノ築造修繕浚渫ニ付
 - (ロ) 公共便所ノ築造修繕ニ付
 - (ハ) 塵芥焼却場ノ築造修繕ニ付
 - (ニ) 汚物假置場ノ築造修繕ニ付
 - (ホ) 市ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除ニ付
 - (ヘ) 其ノ他

二十 掃除ニ關スル費用豫算(前年度決算ノ比較)其他

第二章 掃除監督ノ職務

- 第十七 掃除監督ハ市内ノ掃除區ヲ擔任シ又ハ塵芥焼却場汚物假置場等ヲ擔任ス
- 第十八 掃除監督ハ常ニ擔任ノ区内ヲ巡回シ又ハ擔任ノ場所ニ於テ部下ノ掃除巡視及掃除人ノ勤務作業服装姿勢等ヲ監視シ必要ナル指揮ヲ爲スヘシ
- 第十九 掃除監督ハ左ノ事項ヲ視察スヘシ
- 一 掃除巡視ノ配置ノ適否
 - 二 掃除人ノ數及其ノ配置ノ適否
 - 三 塵芥焼却場、汚物假置場ノ狀況
 - 四 公共溝渠、公共便所ノ狀況
 - 五 其ノ他市ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除ノ狀況其ノ他掃除ニ關スル法令ノ行否
 - 六 私人ノ義務ニ屬スル場所ノ掃除ノ狀況其ノ他掃除ニ關スル法令ノ行否
- 第二十 掃除監督ハ公共溝渠、公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ築造修繕浚渫等ヲ要スト認ムルトキハ掃除監督長ニ具申スヘシ
- 第二十一 掃除監督ハ汚物掃除法第七條ニ依リ私人ニ戒告ヲ要スト認ムルトキハ掃除監督長ニ具申スヘシ
- 第二十二 掃除監督ハ私人ニ於テ掃除監督長ノ戒告ヲ履行スルヤ否ヲ監視シ掃除監督長ニ報告スヘシ

- 第二十三 掃除監督ハ掃除監督長ニ於テ私人ノ履行スヘキ事項ヲ施行スルトキハ掃除巡視ヲ指揮シテ其ノ事務ニ従事スヘシ
- 第二十四 掃除監督ハ汚物掃除法施行規則第十五條ノ申告ヲ受ケタルトキ又ハ警察官吏ノ通知アリタルトキハ掃除巡視ヲシテ臨檢セシメ必要ト認ムルトキハ自ら臨檢スヘシ
- 掃除監督長ノ命アリタルトキ亦同シ
- 第二十五 掃除監督ハ法令又ハ〔市參事會〕若ハ市長ノ訓令又ハ掃除監督長ノ指示ニ關シ行務ノ統一ヲ圖ル爲隨時部下ノ掃除巡視ニ必要ナル訓授ヲ爲スヘシ
- 第二十六 掃除監督ハ部下ノ掃除巡視ノ受持區内ニ於ケル巡行線路ヲ定メ掃除監督長ニ報告スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 第二十七 掃除監督ハ掃除巡視ノ出勤簿及勤務日誌其他必要ナル簿冊ヲ整理スヘシ
- 第二十八 掃除監督ハ臨時必要アルトキハ掃除巡視ヲシテ他ノ掃除巡視ノ受持ニ屬スル事務ヲ補助代理セシムルコトヲ得
- 第二十九 掃除監督ハ部下ノ掃除巡視ノ進退賞罰ヲ掃除監督長ニ具申スヘシ
- 第三十 掃除監督ハ掃除人ノ解雇ヲ要スト認ムルトキ又ハ人夫受賃人ニシテ不都合アリト認ムルトキハ掃除監督長ニ具申スヘシ
- 第三十一 掃除監督ハ毎月三回左ノ事項ヲ掃除監督長ニ報告スヘシ
(明治三十七年三月十七日衛發第二百三十五號ヲ以テ報告スヘシハ當分ノ内毎月一回ト決定ノ旨助役ヨリ掃除監督ヘ通達)

- 一 使用シタル掃除人ノ延人員
- 二 搬出シタル塵芥及汚泥ノ各見積重量又ハ容量
- 三 焼却ルタル塵芥ノ見積重量又ハ容量
- 四 公共溝渠、公共便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ築造修繕浚渫等ニ著手シ又ハ落成シタル箇所其ノ狀況
- 五 掃除監視吏員ノ特ニ視察シタル戸數
- 六 掃除監視吏員巡視中私人ニ與ヘタル注意ノ件數
- 七 掃除監視吏員申告ニ依リ臨檢シタル件數
- 八 掃除監視吏員警察官署ノ通知ニ依リ臨檢シタル戸數
- 九 掃除監視吏員施行規則又ハ掃除法施行ニ關スル廳府縣令ニ依リ告發シタル者ノ數

第三章 掃除巡視ノ職務

- 第三十二 掃除巡視ハ掃除區内ノ受持區ヲ擔任シ又ハ塵芥焼却場汚物假置場等ニ勤務スヘシ
- 第三十三 掃除巡視ハ常ニ受持區内ヲ巡回シ又ハ所屬ノ場所ニ出勤スヘシ
- 第三十四 掃除巡視ハ毎日掃除人ノ被服及掃除用器具ヲ點檢シ勤務日誌ニ記載スヘシ
- 第三十五 掃除巡視ハ掃除人ノ作業等ヲ監視シ必要ナル指揮ヲ爲スヘシ
- 第三十六 掃除巡視ハ必要ト認ムルトキハ掃除人ノ作業服裝掃除

- 用器具等ニ關シ視察シタル事項ヲ掃除監督ニ報告スヘシ
- 第三十七 掃除巡視ハ公共溝渠、公共便所其他市ノ掃除スヘキ場所ヲ視察シ其狀況ヲ勤務日誌ニ記載スヘシ但シ溝渠、便所、塵芥焼却場、汚物假置場等ノ築造修繕浚渫等ヲ要スト認ムルトキハ掃除監督ニ報告スヘシ
- 第三十八 掃除巡視ハ塵芥容器塵芥溜等ヲ檢査シ汚物停滯シタルトキハ掃除人ニ指揮シテ搬出セシムヘシ其破損シタルトキハ家人ニ注意ヲ與ヘ取替又ハ修繕ヲ爲サシムヘシ
- 第三十九 掃除巡視ハ溝渠、便所、井戸流其他私人ノ掃除スヘキ場所ヲ視察シ家人ニ注意ヲ與ヘ又ハ時宜ニ依リ衛生組長ニ交渉シ其ノ狀況ヲ勤務日誌ニ記載スヘシ但汚物掃除法第七條ニ依リ私人ニ戒告ヲ要スト認ムルトキハ掃除監督ニ報告スヘシ
- 第四十 掃除巡視ハ私人ニ於テ掃除監督長ノ戒告ヲ履行スルヤ否ヲ監視シ掃除監督長ニ報告スヘシ
- 第四十一 掃除巡視ハ掃除監督長ニ於テ私人ノ履行スヘキ事項ヲ施行スルトキハ上司ノ指揮ヲ受ケ其事務ニ従事スヘシ
- 第四十二 塵芥焼却場又ハ汚物假置場所屬ノ掃除巡視ハ毎日出入ノ汚物舟車數其ノ見積重量又ハ容量ヲ勤務日誌ニ記載スヘシ
- 第四十三 掃除巡視ハ汚物掃除法第十五條ノ申告ヲ受ケタルトキハ二十四時間以内ニ臨檢シ直ニ其事ヲ掃除監督ニ報告スヘシ
- 掃除監督長又ハ掃除監督ノ命アリタルトキ亦同シ若シ其期限内ニ臨檢シ難キ事由アルトキハ掃除監督ニ具申スヘシ

- 第四十四 掃除巡視ハ毎日一定ノ時刻ニ掃除事務所又ハ出張所ニ參集シ出勤簿ニ捺印シ諸般ノ報告等ヲ爲スヘシ
- 第四十五 掃除巡視ハ受持區内ノ戸數及塵芥容器塵芥溜ノ數ヲ調査ノ上記録シ常ニ之ヲ加除スヘシ
- 第四十六 掃除巡視ハ勤務中給與ノ手帳ヲ携ヘ大小ノ事故ヲ之ニ記入スヘシ手帳ハ上司ノ求アルトキハ之ヲ示スヘシ
- 第四十七 掃除巡視ハ前各項ニ掲グルモノノ外毎日勤務ノ要領及勤務中ノ事故ヲ勤務日誌ニ記載スヘシ

區役所ニ出勤スル掃除監督ノ勤怠其他區長ニ於テ取締

方 明治四十五年四月十七日(各區役所) 市訓令甲第十九號

其區擔當ノ掃除監督ハ自今區役所ニ出勤セシムルニ付區長ニ於テ勤怠ヲ監督シ其勤務ニ付必要アルトキハ狀ヲ具シ報告スヘシ

私人ノ戒告ニ關スル事項掃除監督ニ於テ職務執行方

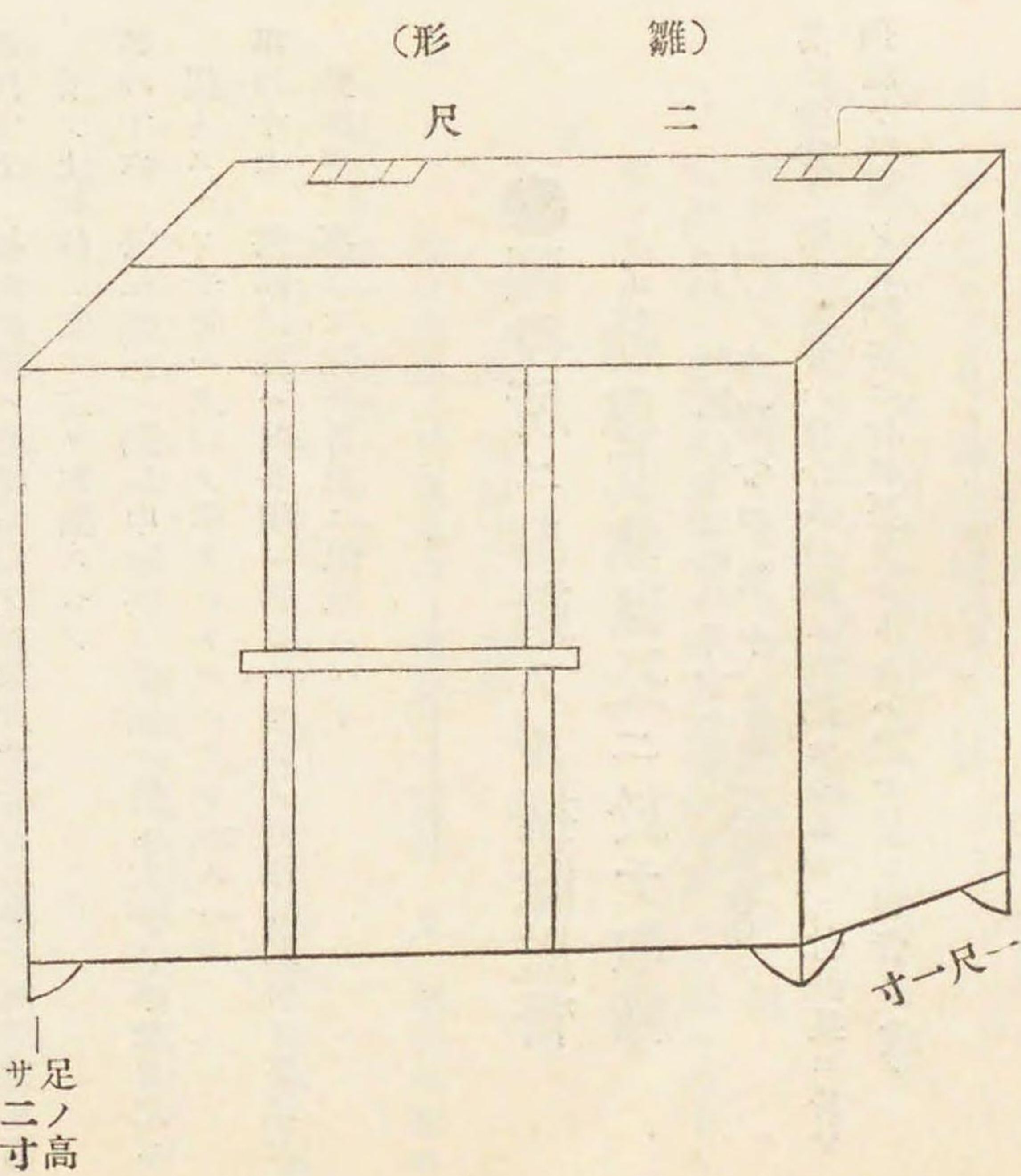
明治三十七年九月二十一日(掃除監督宛) 掃除監督長通達衛發第九百一號

明治三十三年四月市訓令甲第二十二號掃除監視吏員職務章程ニ據ル私人ノ戒告ニ關スル事項ハ當分ノ内責職ニ於テ施行スル事ニ内定致候ニ付キ法規ニ基キ處分ノ必要アリト認ムル場合ハ私人ノ履行スヘキ事項及本人生活ノ狀況並ニ資産ノ有無等取調ヘ其實際ヲ具シ當廳ノ認可ヲ受ケラルヘク又之ニ要スル費用ノ支辨方追徴方ハ所管區長ト協議ノ上ニ都合無之様施行相成度依命此段及通達候也

●塵芥容器及籬形

明治三十三年五月三十日市訓令甲第十四號(掃除監視吏員)市訓令甲第十四號(掃除監視吏員)市訓令甲第十四號

- 一 木製(厚板)ニシテ内部ニコイルタルヲ塗り外面ハペンキ塗ト爲ス
- 二 箱ノ正面又ハ側面ニ棧ヲ付シ自在ニ上下スルノ裝置ニ構造スヘシ
- 三 蓋ハ普通家根形ニ構造スルモ差支ナシ



四 塵芥ノ多量ニ生スル家又ハ數人共用ノ場合ニ於テハ其形ヲ大ニスルハ便宜タルヘシ

●掃除巡視服務規律

明治三十三年四月二日(掃除監視吏員)市訓令甲第十四號

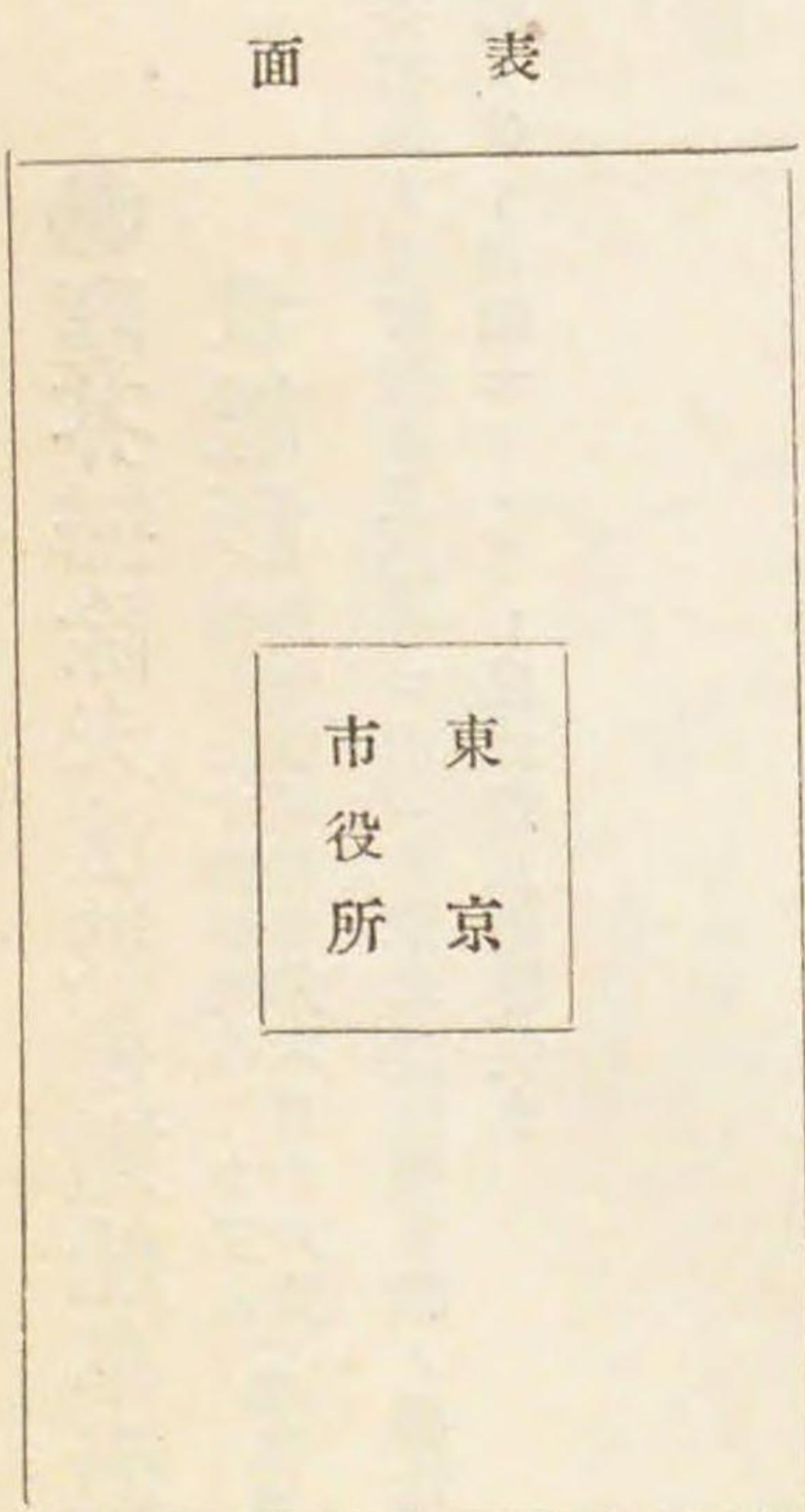
明治三十三年三月東京府訓令甲第十三號ヲ以テ本市掃除巡視服務規律左ノ通被定候條此旨心得ヘシ

- 第一條 掃除巡視ハ汚物掃除法及之ニ關スル法規命令ノ規定ニ依リ汚物ノ掃除及清潔ノ保持ヲ監視シ其執行ニ任スルヲ以テ本分トス
- 第二條 掃除巡視ハ監督吏員ヲ尊重シ其指揮命令ニ服從スヘシ
- 第三條 職務上ニ關スル申告ハ誠實ヲ旨トシ苟モ虚飾アルヘカラ
- 第四條 掃除人ヲ監督スルハ嚴正ヲ旨トシ苟モ不正怠慢ノ行為アレハ假借ナク之ヲ處置スヘシ
- 第五條 職務上私人ニ接スルニハ言語動作ヲ慎ミ懇切ヲ旨トシ苟モ傲慢ニ涉ル所爲アルヘカラ
- 第六條 職務執行ノ爲私人ノ邸宅内ニ入ルヲ得ルト雖モ猥リニ餘事ヲ談シテ私人ニ迷惑ヲ及ホシ又ハ之ト狎昵スルカ如キ所爲アルヘカラ
- 第七條 職務ニ關シ見聞シタル事故ハ細大トナク監督吏員ニ申告スヘシ其ノ一家ノ私事ニ係ル事項ハ他ニ之ヲ漏洩スルヲ得ス
- 第八條 職務執行中ハ必ス制服ヲ著シ苟モ其服裝ヲ亂スカ如キコトアルヘカラ

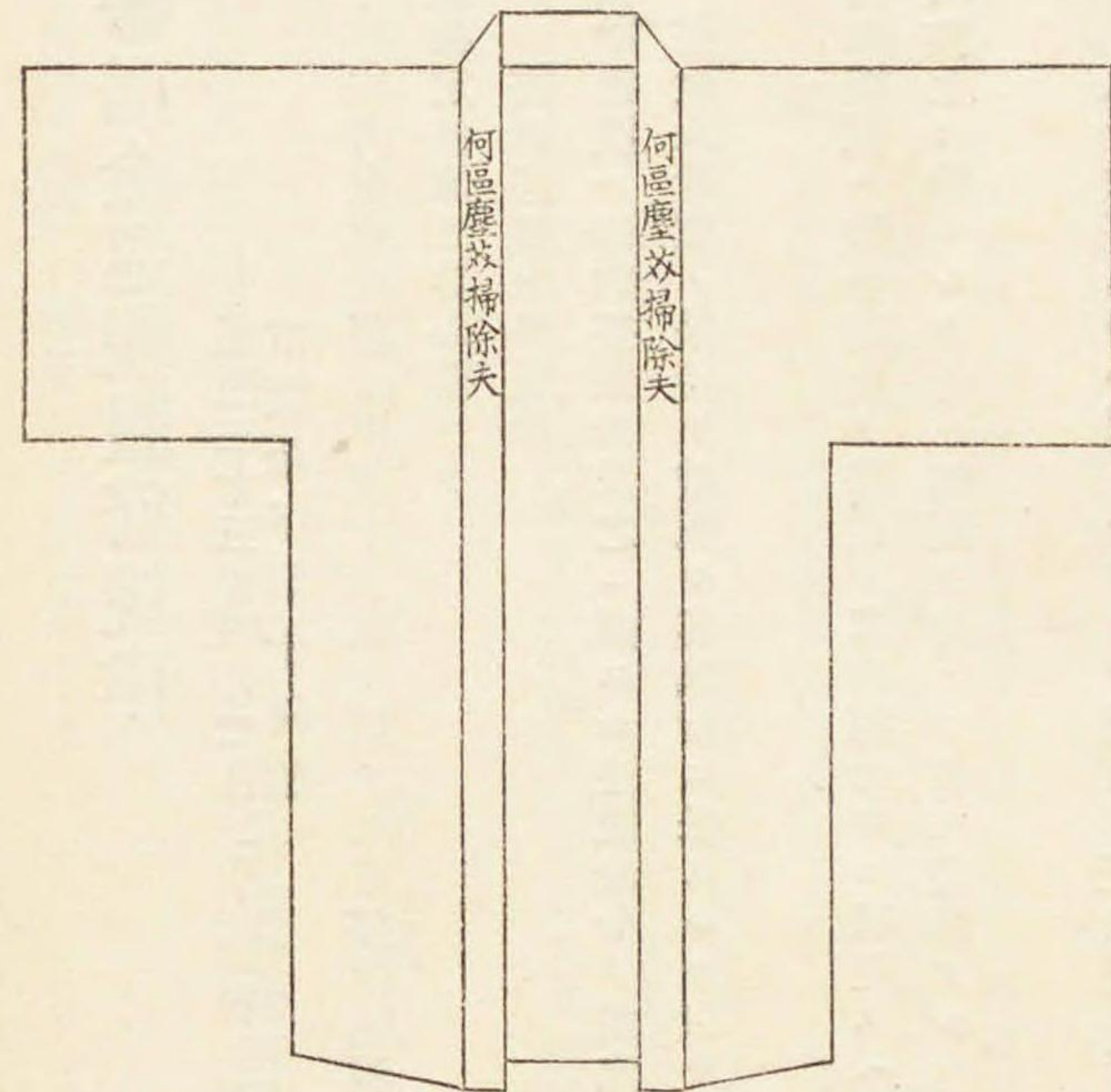
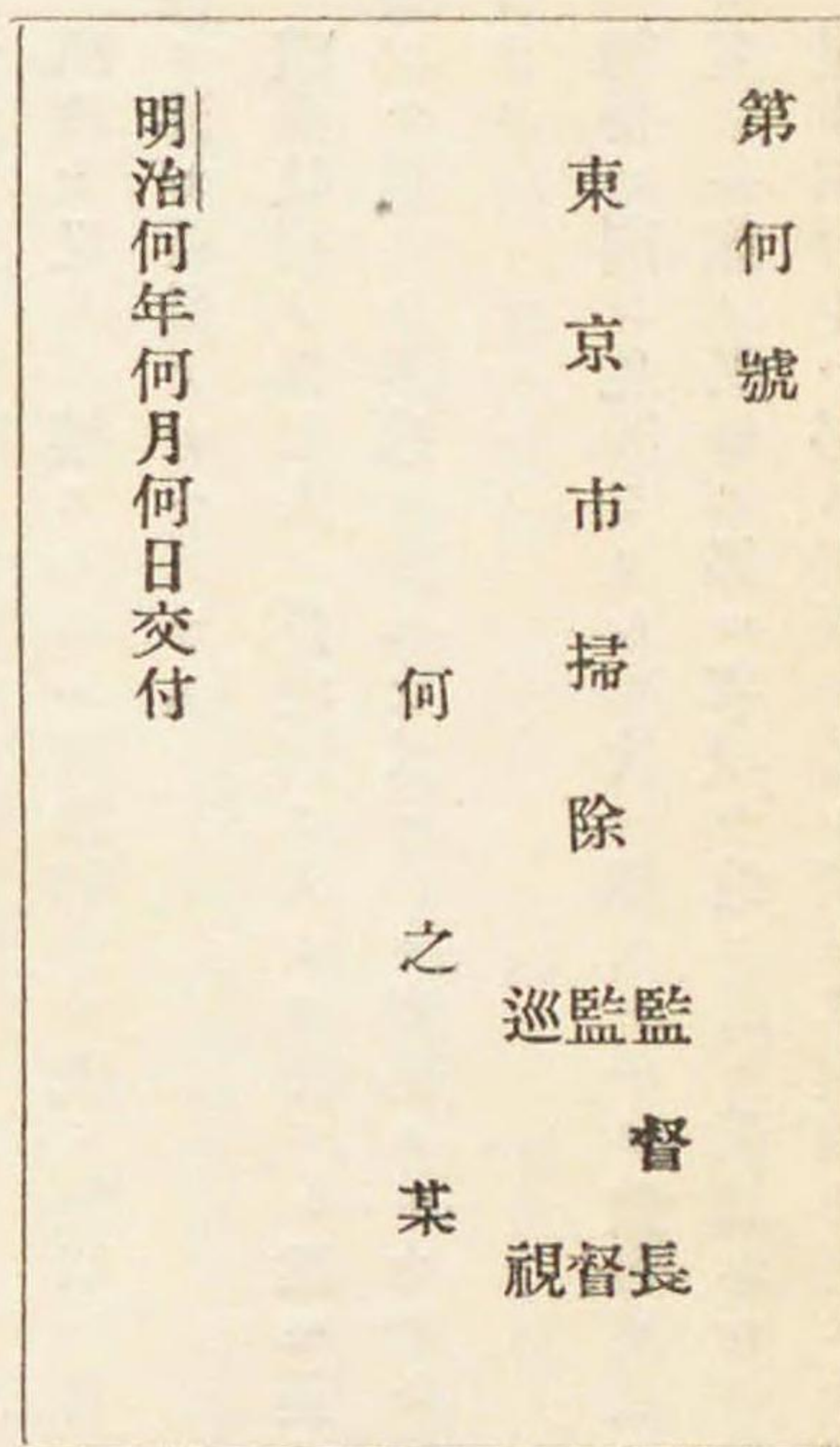
- 第九條 制服其他給與品貨與品ハ丁寧ニ保存シ汚損セサル様注意スヘシ
- 第十條 職務執行中ハ其容儀ヲ正クシ苟モ酒氣ヲ帶ヒ其他不體裁ノ所爲アルヘカラ
- 第十一條 職務ニ關係アル受負人等ヨリ金品ノ贈與ヲ受ケ又ハ饗應ニ與ツカルコトヲ得ス

●掃除監視吏員證票雛形

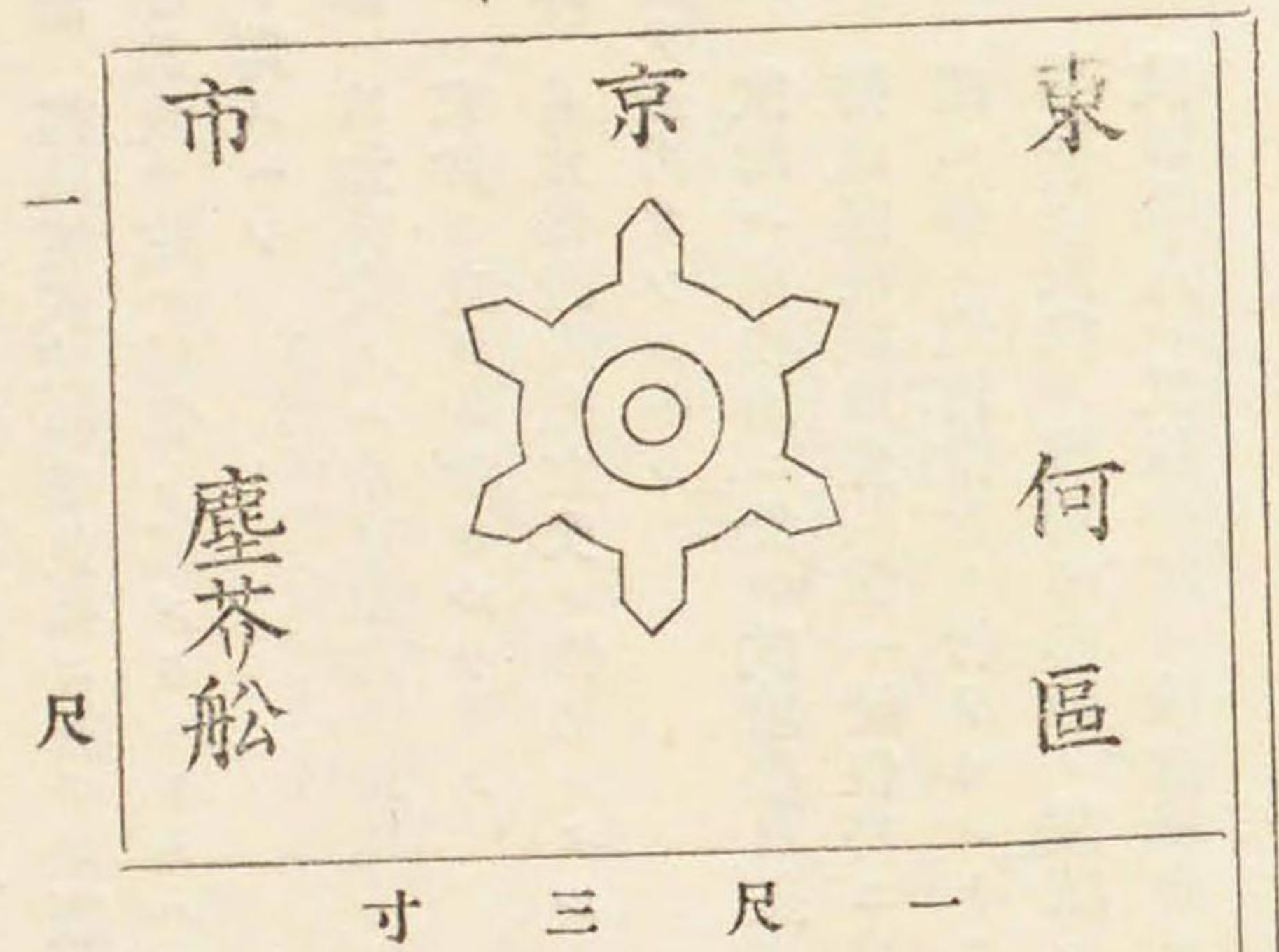
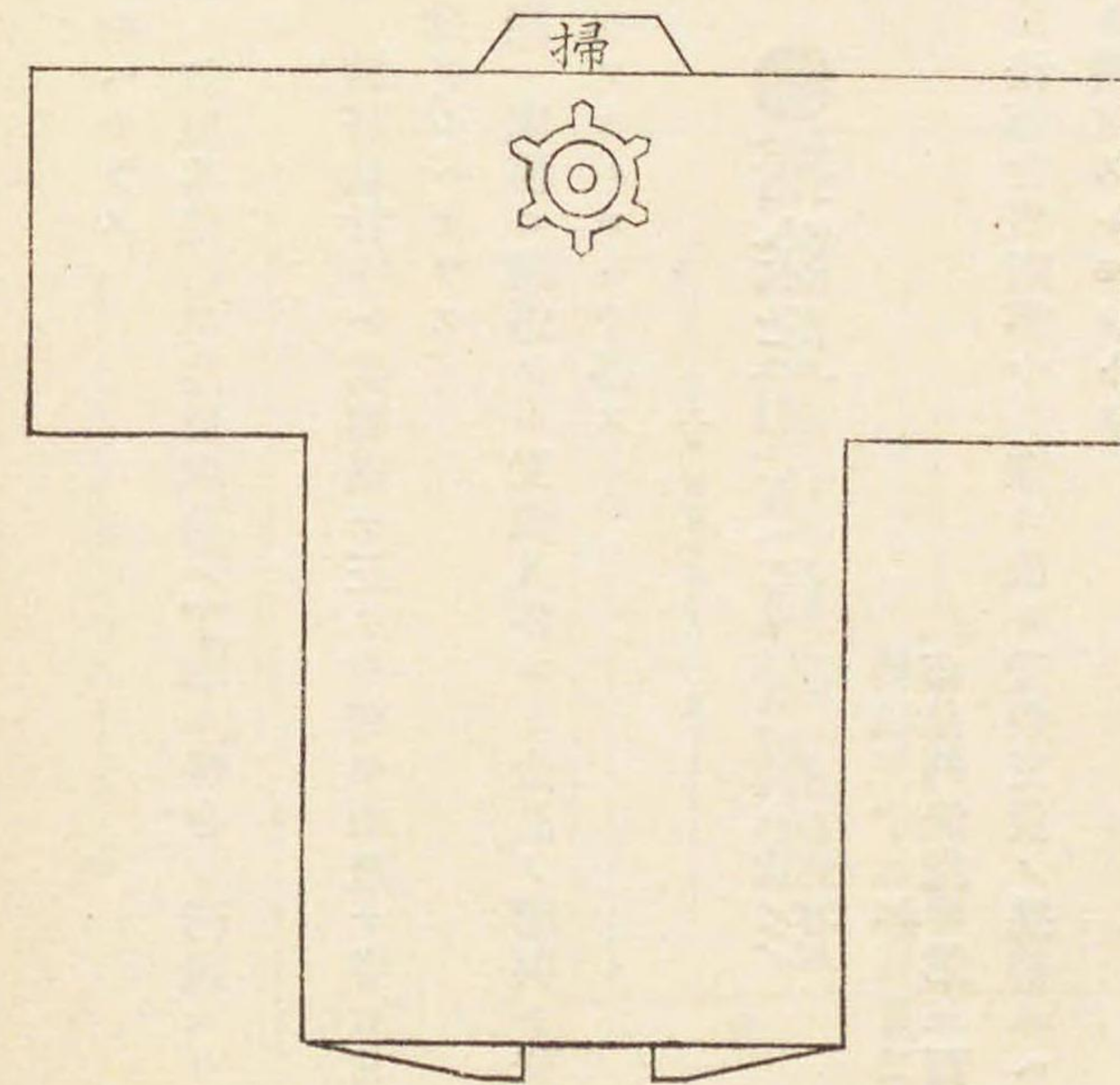
明治三十三年三月二十七日市訓令甲第十四號(掃除監視吏員)市訓令甲第十四號(掃除監視吏員)市訓令甲第十四號



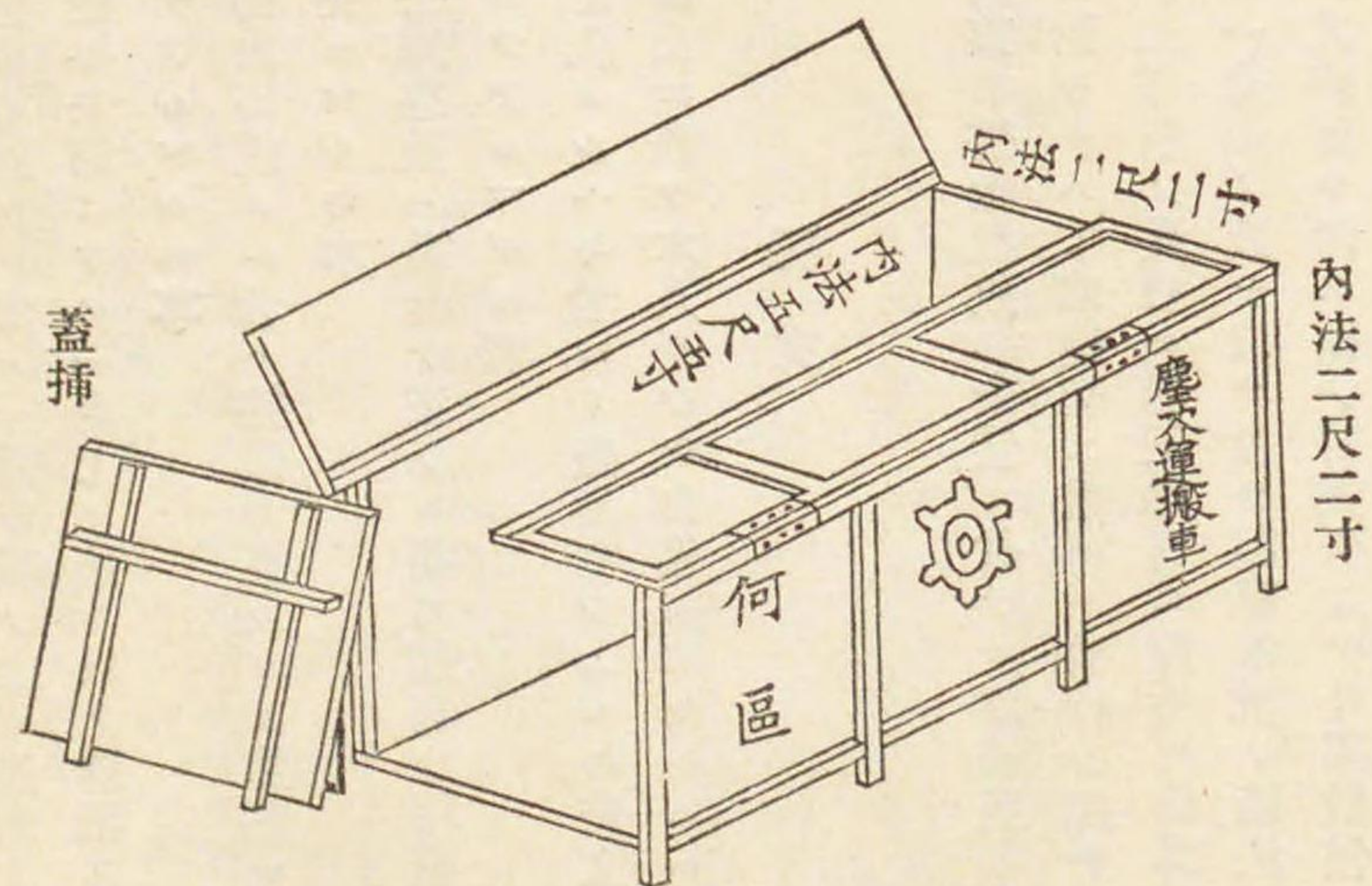
裏 面



● 塵芥掃除夫法被運搬船車徽
 章雛形 明治三十四年四月二十三日(各區長宛)
 助役通牒總發第六百十六號
 塵芥掃除夫運搬車及船等ニ用ユル徽章並運搬車箱ノ構造ハ別紙
 雛形ニ依リ調製セシメラレ度此段及通牒候也



杉六分板
 黒ニス塗
 徽章文
 字共白
 但徽章
 文字ハ
 兩側面
 共同シ



●掃除巡視採用試験手續

明治三十三年三月二十七日
〔市參事會議決〕第三千五十九號

- 第一條 掃除巡視志願書ハ之ヲ市役所ニ差出サシムルモノトス
- 第二條 掃除巡視試験委員長ニ於テ志願人ノ身元履歴及身元保證人等調査ヲ遂ケ適當ト認メタルトキハ體格検査及學術試験ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三條 身元保證人ハ東京市内ニ在住シ年齡二十年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ立ツル者タルヲ要ス
- 第四條 身元保證人死亡又ハ轉居シタルトキハ更ニ保證人ヲ立テ書面ヲ差出サシムヘシ
- 第五條 試験ハ市役所ニ於テ試験委員長之ヲ施行ス
- 第六條 掃除巡視採用規則第一條但書ニ依リ試験ヲ要セス採用スル者ト雖モ必ス體格検査ヲ行フモノトス
- 第七條 掃除巡視採用規則第四條ノ試験ハ口答及筆答トス
- 第八條 試験委員ハ試験終結ノ後試験表ヲ造リ之ニ署名捺印スヘシ
- 第九條 試験ニ合格セシモノヲ採用スルトキハ掃除監督長ニ於テ本人ヲ召喚シ左ノ諸件ヲ宣告シ誓書ヲ徴スヘシ
 - 一 掃除巡視ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉耻ヲ重シ貪汚ノ所爲アルマシキ事
 - 一 掃除巡視ハ職務ノ本分ヲ記憶シ市民ニ對シ丁寧親切ヲ旨ト

シ職務上ニ於テ負擔スル百般ノ責務ハ最モ嚴正忠實ニ之ヲ踐行スヘキ事

- 一 掃除巡視タル者ハ一旦奉職ノ上ハ他念ナク職務ニ從事シ三箇年未滿ニシテ一身上ノ故ヲ以テ辭職スルカ如キコト決シテアルマシキ事
 - 一 掃除巡視タル者ハ掃除受負人ヨリ饗應ヲ受ケ若クハ贈遺ヲ受ケマシキ事
 - 一 掃除巡視ハ品行ヲ正フシ苟モ體面ヲ汚損スルカ如キ所業決シテアルマシキ事
- 掃除巡視タルヘキ者ヨリ差出サシムヘキ誓文ハ左ノ如シ但監督長ノ面前ニ於テ本人ヲシテ自書捺印セシムヘシ

誓文

某儀

今般東京市掃除巡視拜命候ニ付テハ服務規律ヲ恪守可仕ハ勿論市民ニ對シテハ丁寧親切ニ職務ヲ執行シ總テノ法律命令ヲ遵守シ職務上百般ノ責務ハ嚴正忠實ニ踐行可仕又就職三箇年ニ滿タスシテ一身上ノ故ヲ以テ自ラ辭職候様ノ儀決シテ無之且品行ヲ正フシ其體面ヲ汚ス様ノ所業決シテ仕間數候依テ誓文如件

府縣郡市區町村番地族籍

年月日

何 某印

志願書

何府縣何郡市何區何町村何番地族籍
當時東京市何區何町何番地寄留
氏 名

生年月日

右者今般東京市掃除巡視志願ニ付試験ノ上御採用被下度別紙履歴書相添身元保證人連署此段願上候也

年月日

氏 名印

何區何町何番地族籍

名印

右身元保證人 氏 名

東京市長宛
履歴書

何府縣何郡市何區何町村何番地族籍

戶主又ハ何某何男兄弟

當時東京市何區何町何番地寄留
氏 名

生年月日

學業

一 何年何月何學校入學何年何月卒業又ハ何年何月ヨリ何某ニ就キ
何何修業

職務

一 何年月日
任何官給何級俸

一同

依願免何何

同

何 聽

第二篇 類規 第二類 衛生 第四節 汚物掃除

一同

何 何

一 何年何月何日 何何賞與又ハ何何 何 何

年月日

右 氏 名印

●掃除巡視採用學術試驗科目

採點方法 〔明治四十一年五月十六日
市參事會議決〕第二千九百九號

- 一 學術試驗科目ノ點數ハ各一百ヲ以テ滿點トシ平均點數六十、一科目ノ點數四十二達セサルモノハ不合格トス

●下水浚渫施行方

明治四十五年三月二十九日(各區役所)
市訓令 甲 第十號

下水浚渫施行方左ノ通り相定ム但明治四十五年度ヨリ施行スヘシ

下水浚渫施行方

- 一 下水浚渫運搬ハ區ニ於テ直營スヘシ
- 二 浚渫運搬及上掃除入夫ハ區ノ常備ト爲スヘシ但臨時入夫及必要アル場合ハ其都度供給人ヨリ雇上クルコトヲ得
- 三 浚渫運搬入夫ノ常備ハ區ニ於テ之方員數ヲ定メ報告スヘシ

- 但上掃除人夫ハ豫算ニ示シタル員數ヲ常備トス
- 四 上掃除人夫ハ他ノ人夫ト區別シ使役スヘシ
- 五 常備人夫ノ給料ハ平均日給金五拾錢トス
- 六 常備人夫ニハ被服雨具ヲ貸與ス
- 七 運搬船ハ所有者又ハ供給人ヨリ雇上クヘシ

街頭便所掃除請負隨意契

約方

明治三十六年十二月十九日
〔市參事會議決〕第四千四百八十四號

市有街頭便所下掃除請負買締約ノ場合ニ於テハ〔制第八十七條〕ニ依ル本市會ノ決議第六號公園並市有地下掃除請負ニ關スル件ヲ準用シ隨意契約ヲ爲スモノトス

街頭便所掃除方法

明治三十七年九月二十八日
助役通達衛發第九百二十五號〔各區長宛〕

其區所管市設街頭便所ノ掃除方左記要項ニ基キ方法ヲ設ケ施行上行屆候様可被致ハ勿論掃除人夫又ハ汲取人夫ニ於テ施爲スヘキ事項ヲ怠慢ニスルカ如キ場合ニハ充分取締相成度依命此段及通達候也

- 一 掃除ハ毎日少クモ一回掃除人夫ヲシテ清潔ニ掃除セシムヘシ

街頭便所掃除人捺印函所定

ノ手續履行並區長ニ於テ該

捺印函破損等便宜修繕方

明治三十七年十一月十八日〔各區長宛〕
助役通達衛發第九百二十三號

先般及交付候便所掃除人捺印函ニハ日付アル用紙一箇月分ツツテ容レ毎日掃除人夫ヲシテ認印ヲ押捺セシムヘキ管ニ候處否ラサル向モ有之候由右ハ所定ノ手續ヲ履行セシムル様致度其破損及不足ヲ生シタルトキハ便宜貴職ニ於テ難形ノ如ク修繕方等可然御取計相成度依命此段及通達候也

(難形略)

街頭便所下掃除汲取契約期限

明治三十六年十二月十一日
市訓令甲第三十六號〔各區役所〕

街頭便所下掃除ノ賣却ハ從來會計年度ニ依リ汲取契約期限ト定メタリシモ自今曆年ニ依リ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日分迄テ前年度十二月二十日前ニ於テ賣却スヘシ但三十七年ニ限リ四月一日ヨリ十二月三十一日迄テ賣却期限トス

- 一 圍床、厠下、尿用流、側石、踏石、樋梓、藪形、其他羽日
- 一 檣壁、敲等ニ附著スル汚物、尿晶、糞汁ノ固著スルモノヲ
- 一 洗滌シ痕跡ヲ止メシメサルコト及塵埃其他ノ不潔物ト認ム
- 一 ルモノヲ掃除スヘシ
- 一 防臭及殺菌劑ハ適當ニ之ヲ撒布スヘシ
- 一 夜燈ハ適當ノ場所ニ必ス點火スヘシ
- 一 掃除ニ要スル器具物件等ハ適當ノ容器〔函車ノ如ク〕ニ收メ運
- 一 搬セシムルコト
- 一 尿尿ハ壺内ニ充溢セサル様請負人ヲシテ汲取ラシムヘシ
- 一 便所ノ内外ヲ汚損シ又ハ惡戯ヲナスモノアルトキハ直ニ警
- 一 察官ニ申告シ處分ヲ要求スヘシ
- 一 便所内適當ノ場所ニ捺印函ヲ掲ケ置キ掃除濟ノ後日日掃除
- 一 人夫ヲシテ其函内ノ用紙ニ認印ヲ押捺セシムヘシ
- 一 便所ノ修繕工事ハ見積金額五圓以内ハ所管區長ニ於テ施行
- 一 シ其都度當廳ヘ報告スヘシ
- 一 掃除監督ハ掃除巡視ヲシテ毎日掃除ノ狀況ヲ視察セシメ掃
- 一 除人夫ノ捺印シタル用紙一枚ヲ持歸リ報告セシムヘシ
- 一 掃除監督ハ巡回月表ヲ調製シ視察シタル事項ヲ掃除監督長
- 一 ニ報告スヘシ

河川掃除出張事務所設置

明治四十二年九月二十一日
市告示第四十八號

本市衛生課所屬河川掃除出張事務所ヲ京橋區築地二丁目三十七番地先ニ設置シ河川及護岸掃除ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

第五節 衛生試験

●市衛生試験所設置

明治三十三年二月二十七日
市告示第十一二號

今般東京市役所ニ衛生試験所ヲ設置シ來ル三月一日ヨリ本市上水
水質試験ヲ施行ス但本文ノ外衛生ニ關スル諸種ノ試験ハ追テ告示
ス

●市衛生試験所ニ於テ一般ノ

依頼ニ係ル衛生及工業ノ一

部試験施行方

明治四十三年九月二十九日
市告示第六十二號

本市衛生試験所ニ於テハ明治四十三年十月一日ヨリ一般ノ依頼ニ
應シ衛生及工業ノ一部ニ關スル試験ヲ施行ス

●市衛生試験所處務規程

明治四十三年九月二十七日(各課、各區役所)
市訓令甲第三十七號(衛生試験所)

第一條 東京市衛生試験所ハ市内衛生及工業ノ一部ニ關スル諸種
ノ試験ヲ行フモノトス

第二篇 類規 第二類 衛生 第五節 衛生試験

第二條 市民ノ依頼ニ係ル試験ハ別ニ定ムル所ノ手續ニ據ル

第三條 東京市衛生試験所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 所長 一名
- 一 技師 若干名
- 一 事務員 同
- 一 技手 同
- 一 雇手 同

第四條 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

所長故障アルトキハ次席技師其職務ヲ代理ス

第五條 所長ハ上司ノ命ヲ受ケ所務ヲ統轄シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第六條 所長ハ左ノ事項ヲ專行ス

- 一 職員ニ除服出仕ヲ命スルコト
- 二 所務ニ關シ市ノ内外ヲ問ハス陸路片道三里未満汽車片道十里未満ノ箇所へ職員ヲ出張セシムルコト
- 三 使丁、人夫ヲ傭罷スルコト

第七條 技師、技手ハ所長ノ命ヲ受ケ衛生及工業ノ一部ニ關係アル諸種ノ試験ニ従事ス

第八條 事務員雇ハ所長ノ指揮ヲ承ケ文書、計算及所ニ屬スル諸器具ノ保管其他所ニ關スル庶務ニ従事ス

第九條 本規程ニ據ル細則ハ市長ノ認可ヲ受ケ所長之ヲ定ム

●市衛生試驗所執務內規

明治四十三年九月三十日
市長判決二發第二千四百十八號

市衛生試驗所執務內規別紙ノ通り改正シ來ル十月一日ヨリ實施ス
ルモノトス

(別紙)

市衛生試驗所執務內規

- 一 本所ハ本所處務規程第一條ニ據リ市内衛生及工業ニ關スル諸種ノ試驗ヲ行フ其ノ種類左ノ如シ
- 甲 市所屬機關ノ衛生及工業上諸試驗
 - 一 淨水及堀井水質ノ試驗
 - 二 淨水用材料ノ試驗
 - 三 傳染病毒ノ試驗
 - 四 防疫及衛生上ノ藥品及器械ノ試驗
 - 五 工業材料ノ試驗
 - 六 其他
- 乙 市民ヨリ依頼スル衛生及工業上ノ諸試驗
 - 一 飲食料品、化粧品、衛生上ノ製品及器械
 - 二 工業、殖産、商業上ノ天産物及製品
 - 三 其他
- 二 水質試驗ハ淨水堀井ノ二種ニ就キ施行スルモノトス但淨水ハ水源、給水工場及市内水栓ノ三種ニ就キ試驗ヲ施行スル

モノトス

- 三 水源地ノ試驗ハ一箇年數回之ヲ施行スルモノトス
- 四 給水工場及市内水栓ハ每週三回以上出張採酌スルモノトス但必要ト認ムル場合ハ其回数ヲ増減スルコトアルヘシ
- 五 淨水中本市所屬機關又ハ市民ノ請求ニ係ルモノハ前項所定時日ノ外更ニ施行スルモノトス
- 六 堀井ハ市内水栓ヲ採酌スル序次若クハ當所ノ意見ヲ以テ各區順次ニ又ハ區役所ノ請求ニ依リ隨時之ヲ施行ス
- 七 淨水及堀井等ノ試驗成績ハ一定ノ表式ヲ以テ其都度市長ノ一覽ニ供スルモノトス
- 八 淨水試驗ノ成績中特ニ注意スヘキモノハ意見ヲ具シ水道課ニ報告シ至急ヲ要スルモノハ口頭ヲ以テ急報スヘシ
- 九 淨水試驗成績ハ之ヲ取纏メ更ニ月表ヲ調製シ翌月十日限リ市長ノ一覽ニ供スヘシ
- 十 淨水試驗成績ニ關シテハ特ニ學說上ノ諸統計表及圖表ヲ調製シ後日ノ參考ニ供スヘシ
- 十一 當時水道協議會提出用ノ諸試驗及研究ヲナシ開會期前ニハ所定ノ諸統計表ヲ調製スヘシ
- 十二 傳染病毒ノ試驗ハ市醫又ハ關係吏員ニ於テ職務上要求スルモノノ其他必要ト認ムルモノニ就テ施行スルモノトス
- 十三 傳染病毒試驗ヲ要求スル際ハ必ス左ノ書面ヲ添付セシムヘシ

ヲ經然ル後請求ノ手續ヲナスヘシ

- 二十三 宿直ハ事務員、技手及雇ヲシテ輪番之ヲ勤メシム
- 二十四 宿直中取扱ヒタル事件ハ翌日所長及各主任ニ通知スヘシ但至急ヲ要スル事件ハ臨機ノ取扱ヲナスヘシ
- 二十五 宿直員ハ時時所内ヲ巡視シ非常ヲ警戒シ特ニ孵化器ノ點火動物室ノ戸締ニ注意スヘシ
- 二十六 試驗所内ハ毎日掃除ノ外毎土曜日大掃除ヲナシ殊ニバスト室顯微鏡室動物室等ハ消毒藥ノ撒布拭淨ヲナスヘシ

●市衛生試驗所會計事務駒込
病院會計取扱手續並市物品
出納規程ニ準據方

明治三十八年二月二十八日(市衛生試驗所)
市訓 令 甲 第三號

其所會計事務ハ自今市立駒込病院會計取扱手續及市物品出納規程ニ準シ取扱フヘシ

- 一 患者ノ姓名
- 一 試驗品ノ種類
- 一 検査ノ目的
- 一 採取方法ノ概略
- 一 採取ノ時刻
- 十四 バスト病毒ノ取扱及試驗ハ凡テ内務省令ニ依リ施行スヘシ
- 十五 傳染病毒試驗ノ成績ハ一定ノ表式ニヨリ其都度市長ニ報告シ且電話又ハ書面ヲ以テ依頼者ニ報告スヘシ
- 十六 市民ノ依頼ニ係ル試驗ハ凡テ「東京市衛生試驗所試驗依頼手續」ニ據ルヘシ
- 十七 以上二項ノ試驗ハ毎月取纏メ月表トシテ翌月十日限リ市長ニ報告スヘシ
- 十八 本所ニ細菌試驗原簿、化學試驗原簿及試驗室日記ヲ備ヘ置キ試驗其他ノ事項ヲ記載スヘシ
- 十九 前項ノ帳簿ハ細菌検査主任及化學試驗主任ノモノ之ヲ管理スヘシ
- 二十 技師、技手中孵化器及動物係ヲ定メ之ヲ管理スヘシ但動物係ハ動物簿ヲ備ヘ請求死亡其他ノ事項ヲ記載スヘシ
- 二十一 試驗ノ報告ハ細菌検査主任化學検査主任ノモノ之ヲ擔當シ事務室ニ送付スヘシ
- 二十二 器械及藥品材料ハ所定ノ請求簿ヲ以テ主席技師ノ承認

淀橋淨水場へ出張ノ件市衛生試驗所長ニ委任

明治三十八年四月六日市長判決衛發第二

百三十一號同四十二年六月二十六日市長判決二發第二百二十七號

市衛生試驗所試驗手續

明治四十三年九月二十七日(衛生課)市訓令甲第三十六號(衛生試驗所)

- 第一條 衛生及工業ノ一部ニ關スル試驗、分拆又ハ鑑定ヲ依頼セムトスル者アルトキハ別紙書式ノ依頼書ニ別ニ定ムル所ノ試驗料及供試品ヲ添付セシムヘシ
第二條 期日ヲ限リ試驗、分拆又ハ鑑定ヲ受ケムトスルモノニハ其事由ヲ依頼書ニ附記セシムヘシ
第三條 牛乳其他變敗シ易キ物品ハ豫メ依頼書ヲ差出サシメ追テ期日ヲ定メ現品ヲ提供セシムヘシ
第四條 試驗、分拆、又ハ鑑定ノ爲メ試驗所員ノ出張ヲ請フモノハ別紙書式ノ出張依頼書ヲ差出サシムヘシ
第五條 左ノ場合ニ於テハ試驗及分拆ノ依頼ニ應セサルモノトス一 試驗事務ノ都合ニ由ルトキ

- 二 試驗及分拆チナスノ價值ナキモノト認メタルトキ
第六條 分拆、試驗ノ爲メ差出シタル供試品ハ剩餘チ生スルコトアルモ還付セサルモノトス
第七條 試驗ノ爲メ提供中ノ依頼品不可抗ノ事由ニ因リ滅失毀損スルコトアルモ本市ハ其責ニ任セサルモノトス
第八條 試驗、分拆又ハ鑑定結了ノ後ハ別紙雜形ノ報告書ヲ交付スヘシ
第九條 試驗、分拆又ハ鑑定チナセル物品ノ廣告、揭示又ハ其容器、包紙、封緘等ニ東京市衛生試驗所ノ保證又ハ試驗濟其他之ニ類スル文字ヲ記入セシムルコトヲ得ス若シ其成績ヲ表示セントスルモノアルトキハ交付シタル報告書ノ全文ヲ掲ケシムヘシ(書式)
試驗、分拆又ハ鑑定依頼書

- 一 供試品名
二 使用目的
三 試驗ノ目的、試驗、鑑定ノ項目、分拆ヲ要スル成分
四 製法、成分、使用法
五 產地若クハ製造地名及製造人名
右御市衛生試驗所試驗手續ノ各項承知ノ上試驗、分拆又ハ鑑定依頼候也
年 月 日

市衛生試驗所試驗料實費徴收

明治四十三年九月二十七日(衛生課)市訓令甲第三十四號(衛生試驗所)會計課

- 第一條 分拆、試驗又ハ鑑定ノ依頼チナスモノアルトキハ實費トシテ別表ニ從ヒ試驗料及供試品ヲ納付セシムヘシ
料金ノ定ナキモノニ付テハ試驗所長ノ指定又ハ豫納金ヲ納付セシムヘシ此場合不足チ生シタルトキハ追徴シ剩餘チ生シタルトキハ還付スヘシ
供試品ハ必要ニ應シ其分量ヲ増加スルコトヲ得
第二條 期日ヲ限リ分拆、試驗又ハ鑑定ヲ請求スルモノアルトキハ前條試驗料ノ倍額ヲ徴收スヘシ
第三條 左記ノ場合ニ於ケル料金ハ市長ノ認可ヲ受ケ試驗所長之ヲ定ム
一 別表ニ料金ノ定ナキモノ
二 別表試驗料中最高低ノ限度ノミチ定メタルモノ
三 多數ノ同一種試驗物ヲ依頼シ料金ノ割引ヲ出願シタルモノアルトキ
四 試驗品ニ封緘紙貼付ヲ出願シタルトキ(大正元年八月十五號ヲ以テ本)
第四條 試驗、分拆又ハ鑑定ノ爲メ吏員ノ出張ヲ要スルトキハ本市所定ノ旅費及試驗器具運搬費等ヲ依頼者ニ負擔セシムヘ

現住所職業

氏

名印

東京市衛生試驗所宛

出張依頼書

何何ノ爲メ何何ノ貴所員御出張相成度候也
年 月 日

現住所職業

氏

名印

東京市衛生試驗所宛

(分拆、試驗及鑑定)報告

住所(官公衛ニハ記入セス)
依頼人又ハ依頼先 氏名又ハ官公衛名

第 號

一 品 名 何種何個又ハ何壘等 可成數量ヲモ記載スヘシ
試驗ノ目的

當所へ差出シタル又ハ何何(分拆、試驗及鑑定ノ區別ヲ記ス)ノ爲メ當所へ差出シタル云云トシテ試驗ノ成績ヲ記載ス
判決文アルトキハ行ヲ改メテ末項ニ記ス
年 月 日

東京市衛生試驗所

所 長 職 氏 名印
主 任 職 氏 名印

第二篇 類規

第二類 衛生

第五節 衛生試驗

第五條 試驗、分拆又ハ鑑定報告書ノ謄本ヲ請求スルモノニハ一
 葉ニ付其實費トシテ金拾錢翻譯文ヲ請求スルモノニハ試驗所長
 試驗料並ニ供試品分量表

ノ定ムル所ニ從ヒ一通ニ付金五拾錢乃至金五圓ヲ納付スヘシ
 (別表)

品名	水									
	雪					氷				
飲料(化學的試驗)	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
汽罐用適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
固形物定量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
衛生適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
硬度檢定	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
療養泉適否	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一成分ノ定性分拆	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
一成分ノ定量分拆	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
定性分拆	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
試驗目的	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
試驗用量	一升	一升	一升	一升	一升	一升	一升	一升	一升	一升
試驗料	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢	金壹圓五拾錢
摘要										

品名	乳									
	牛酪、練乳其他乳製品					酒類				
脂肪及比重檢定	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
飲料適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
防腐藥檢定	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
アルコホル定量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
衛生適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
顯微鏡的檢査	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
衛生適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
定量分拆	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
衛生適否	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
定性分拆	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
試驗目的	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
試驗用量	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上	一斗以上
試驗料	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢
摘要										

前各項ノ物品其他大氣及瓦斯類製品又ハ天產物ノ含有成分中ノ
 一成分又ハ一成分以上ヲ指定シ之カ試驗ヲ依頼スルモノハ定性
 分拆ニ在リテハ一成分ニ付金壹圓一成分以上一成分ヲ増ス毎ニ
 金五拾錢定量分拆ニ在リテハ一成分ニ付金貳圓一成分以上一成分
 分ヲ増ス毎ニ金壹圓封緘料壹枚金壹厘以上トス (大正元年八月
 甲第一號ヲ以テ本
 文壹圓ノ下追加)

市衛生試驗所試驗料實費徵收

規程細則 明治四十三年九月二十七日 (衛生試驗所
 市訓令甲第三十五號 會計課)

- 第一條 衛生試驗所ハ試驗、分拆、鑑定ノ依頼ニ接シタルトキハ
 別項様式ノ文書ヲ以テ試驗料ノ收入方ヲ當廳ニ請求スヘシ
- 第二條 左ノ各項ノ一ニ該當スルモノハ市長ノ決裁ヲ經タル後前
 條ノ手續ヲナスヘシ
- 一 料金額ノ定メナキモノ
 - 二 料金額ノ最高最低限度ノミヲ定メタルモノ
 - 三 料金ノ割引ヲナサントスルトキ
 - 四 封緘紙ノ貼付ヲ爲ストキ (大正元年八月十五日市訓令
 甲第一號ヲ以テ本號追加)
- 第三條 官公署ノ依託ニ係ルモノノ料金ハ事後ニ於テ徵收スルモ
 妨ケナシ

第四條 料金不定ノモノニ對スル豫納金ハ一時雜部金ヲ以テ整理
 シ確定ノ上本收入ノ手續ヲナスヘシ

第五條 前各條ノ外本市會計規程並ニ同施行細則ニ準據シ取扱フ
 ヘシ

試驗料實費徵收請求書

一金 何圓 納 何 何何試驗料實費 (豫定額ハ其旨
 記入ヲ要ス) 某

內 譯 何 何

金 何圓 何何試驗料

金 何圓 何何分拆若クハ鑑定料

金 何拾錢 何何報告書謄本料

右徵收相成度 (若クハ豫納セシメラレ度) 候也

年 月 日 所 名印

東京市役所衛生課宛

衛生試驗手数料收入方

明治四十四年十一月八日
 市長判決二發第二千八百十八號
 自今衛生試驗手数料ハ別紙様式ノ書面ニ依リ直ニ收入スルコトヲ
 得ルモノトス
 (別紙様式)

第 號

所長

主任

本書金額收入ス

ヘシ

助 役

衛生課長

保健掛長

主 任

照 合

收入科目

明治 年

市經濟

手数料

事務手数料

試驗手数料

試驗料實費徵收請求書		納 人
一金		
右徵收相成度 候也		
明治 年 月 日		
東京市役所衛生課御中		
	東京市衛生試驗所	

會計課長

主任

照合

東京市衛生試驗所

收入 役

第六節 撒水除雪

●街路撒水除雪施行規程

明治四十五年四月一日(各區役所)
市訓令甲第七號

- 第一條 街路ノ撒水除雪ハ道路保持ニ關スル規則及道路取締規則ニ據ルノ外本規程ニ基キ施行スヘシ
- 第二條 市負擔線路以外ノ道路其他ノ撒水除雪ニシテ地先居住者若クハ占用者ヨリ委託ヲ受ケタルトキハ市長ノ認可ヲ受ケ之ニ要スル實費ヲ納付セシメ施行スルコトヲ得
- 第三條 道路ノ改廢變更等ニ因リ撒水除雪坪數ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度市長ニ報告スヘシ道路ノ改修電車軌道工事其他ノ事田ニヨリ十日以上ニ涉リ撒水ヲ中止シタルトキ亦同シ
- 第四條 撒水除雪ノ要領左ノ如シ
- (一) 撒水ハ一日ヲ通シ砂塵ノ飛揚セサル程度ヲ保持スルコトヲ要シ施行スヘキ回数ハ左ノ標準ニ據ルヘシ
- 三月ヨリ六月迄 毎日三回以上
七月ヨリ十月迄 毎日四回以上
十一月ヨリ二月迄 毎日二回以内
- (二) 前項ノ回数ハ乾燥ノ程度及交通上ノ關係ニヨリ之ヲ増減スルコトヲ得
- (三) 撒水ノ量多キニ過キ道路ヲシテ泥濘ナラシムル等ノコトナキヲ要ス

第二篇 類規 第二類 衛生 第六節 撒水掃雪

(四) 除雪ハ積雪ニ寸ニ達シタルトキ施行スヘシ但シ二寸以内ト雖モ交通上特ニ必要アリト認めタルトキハ市ノ同意ヲ經施行スルコトヲ得

(五) 夜中降雪ノ分ハ翌午前九時迄ニ其他ハ著手後三時間以内ニ除去シ了ルヘシ

(六) 除去シタル雪ハ一定ノ場所ニ運搬投棄スヘシ

(七) 除雪ノ際ハ瓦礫ヲ混除スヘカラス

(八) 撒水除雪ノ施行ニ際シテハ行通上妨碍トナラサル様注意ヲ要ス

(九) 撒水夫ハ左ノ標準ニ基キ配置スヘシ

三月ヨリ六月迄ハ面積平均二千二百坪以内ニ付一人
七月ヨリ十月迄ハ面積平均一千七百坪以内ニ付一人
十一月ヨリ二月迄ハ面積平均二千八百坪以内ニ付一人

但シ坂路其他交通竝ニ給水上ノ關係ニヨリ施行困難ノ場所ハ各三百坪以上ヲ減シタル面積ニ一人ヲ配置スヘシ

(十) 除雪ニ使用スヘキ人夫ハ積雪ニ寸面積百四十坪以内ニ付一人ノ割合トス

第五條 撒水除雪ハ直營施行スヘシ但シ人夫ハ當分ノ内供給者ヲ定メ雇上ケルコトヲ得

第六條 人夫供給ハ相當資産アルモノニシテ東京市内ニ住居ヲ有スル者ニ限ル

第七條 撒水除雪用機具及撒水夫ノ被服等ハ別ニ定ムルトコロニ

據リ調製スヘシ

第八條 撒水除雪用機具ハ常ニ清潔ヲ保チ不體裁ナラサル様注意スヘシ

第九條 撒水除雪ニ使役スヘキ人夫ハ年齡十八歲以上五十歲未満ニシテ身體強壯ナルモノニ限ル

附 則

第十條 本規程ハ發布ノ日ヨリ實施ス

第十一條 撒水除雪ニ關スル從前ノ規程ハ凡テ之ヲ廢止ス

●撒水除雪監督員服制

明治四十二年四月二十七日
市告示第二十八號

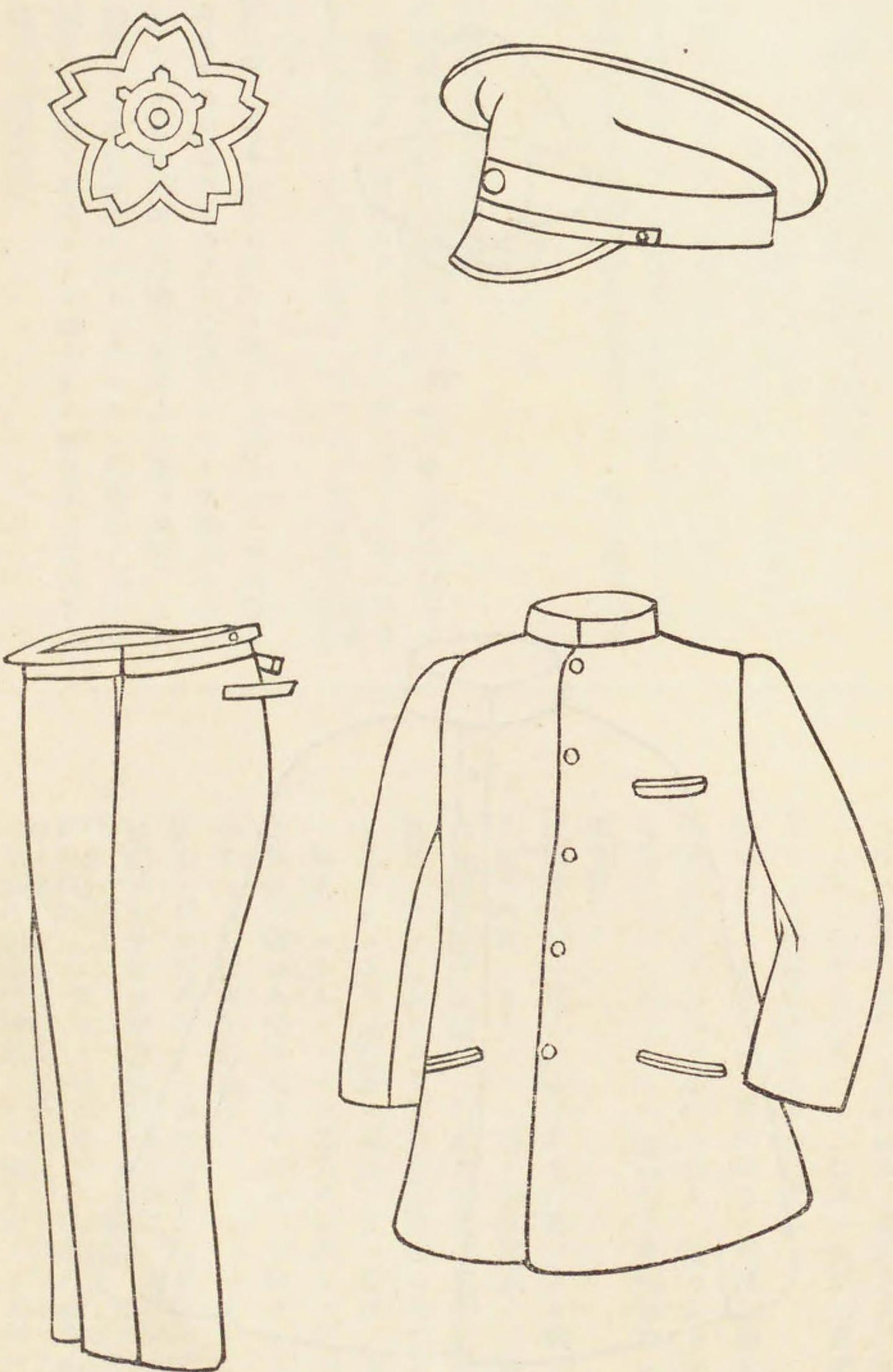
本市撒水除雪監督員服制左ノ通之ヲ定ム

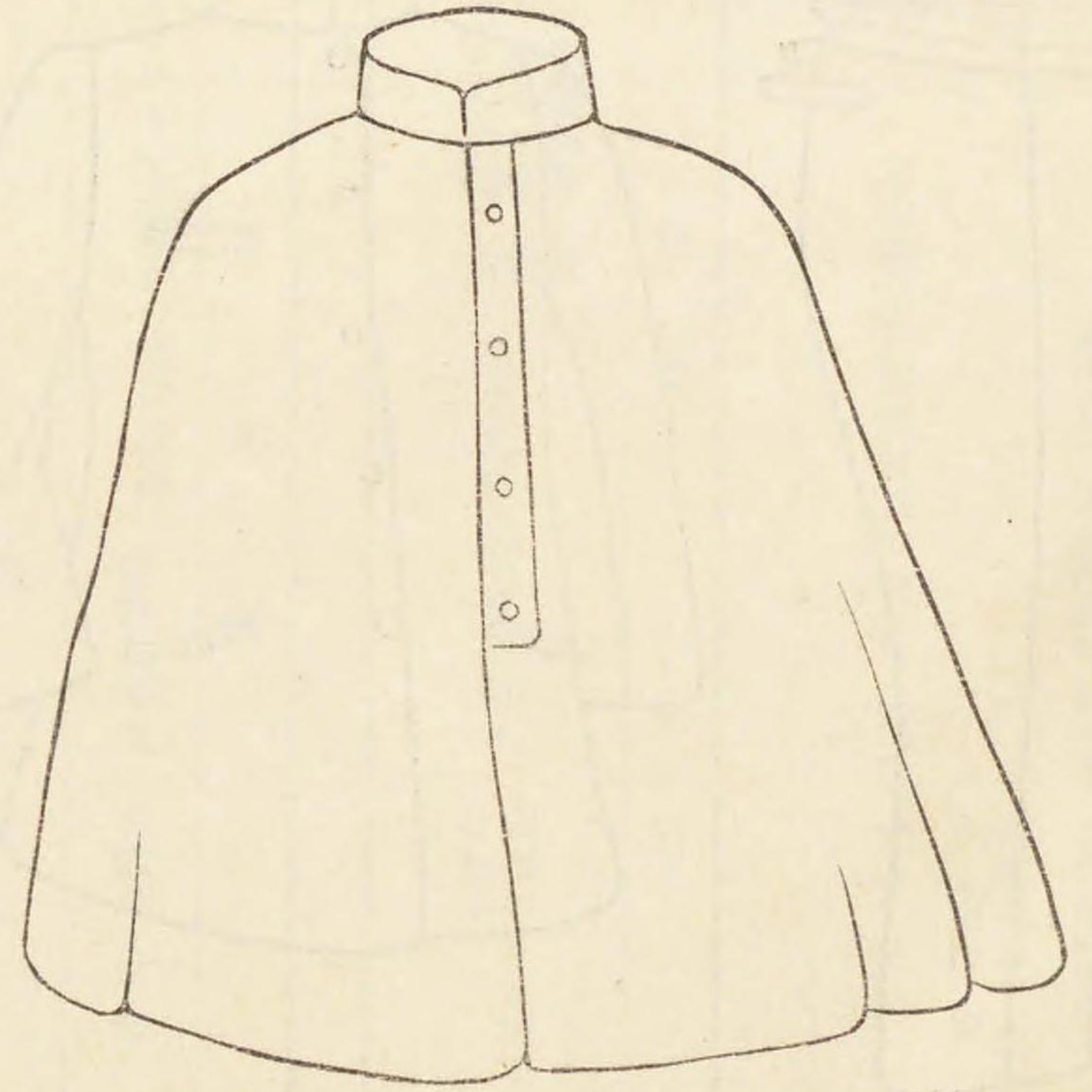
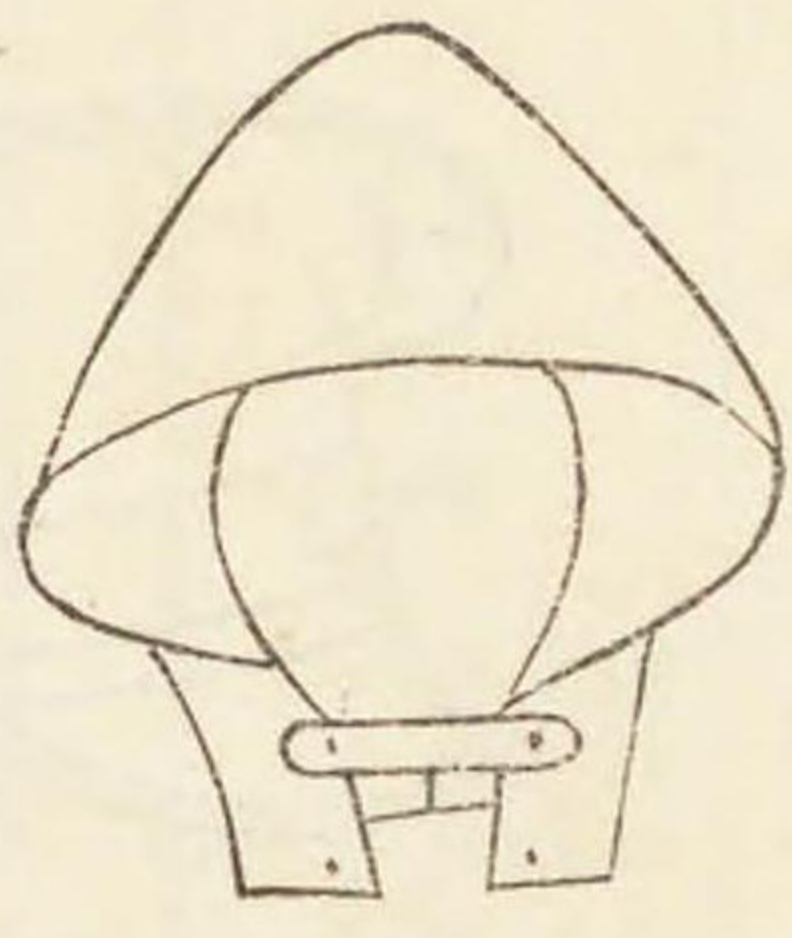
撒水除雪監督員服制

名稱	地質	式	徽	章	鈕	日	覆
帽	黑絨	圓形ニシテ黑色ノ眼底及頤紐ノ兩端帽子ハ兩側ニ於テ各一個ノ鈕ハ兩シテ留ム形狀圖ノ如シ	前章ハ金色櫻花辨(徑一寸)ノ中心ニ市ノ徽シ章ヲ打出ス形狀圖ノ如シ	金色圓形市徽章ヲ附ス	白布ニシテ帽子ノ上部ヲ包ム		

名稱	地質	式	鈕	鈕
冬服	紺絨	長「シヤケット」立襟胸一重形狀圖ノ如シ	同	金色光澤消シ市徽章入五個
夏服	生リンネル	同	同	同
外套	紺絨	頭巾付マント式黒縹子總裏付形狀圖ノ如シ	同	同

撒水除雪監督員服制





第七節 精神病

● 精神病患者取扱方概要

明治三十四年三月十六日(各區長宛) 助役通達總發第二百六十號

精神病患者取扱ニ係ル事務ノ儀ハ其規程夥多ノ法律命令ニ涉リ候ニ付萬一錯誤ヲ生シ候儀有之テハ不都合ニ付今般執務上ノ便ニ資セシカ爲メ別紙取扱方概要ヲ叙述及配布候條自今右ニ依リ處理相成度此段申進候也

(別紙)

精神病患者取扱方概要

- 一 區長ハ精神病患者監護法第三十三年三月法 第六條及第八條第三項ニ依リ監護スヘキ同病者アルトキハ明治三十三年六月廿九日勅令第二百八十二號第一條第一項ニ依リ地方長官總警視ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 前項監置ニ際シ地方長官ノ認可ヲ受クル暇ナキトキハ警察官署ノ同意ヲ經テ三十日內之ヲ監置スルコトヲ得又急迫ノ事情アルトキハ警察官署ノ同意ヲ經サルモ單ニ通知ノミニテ七日內假ニ之ヲ監置スルコトヲ得ヘキニ付先以テ之ヲ行ヒ追テ認可ノ手續ヲ履行スルモ妨ナシ(勅令第二百八十二號第一條第二項參看)
- 一 地方長官ニ於テ警察官署ヲシテ區長ニ引渡シタル精神病患者及警察官署ニ於テ假ニ區長ニ引渡シタル同患者ノ監置ニ關

第二篇 類規 第二類 衛生 第七節 精神病

- 一 シテハ區長ハ更ニ地方長官ノ認可ヲ受クルニ及ハス其都度患者ノ住所、氏名、年齢監置ノ場所及其方法ヲ報告スルモノトス(勅令第二百八十二號第一條第二條明治三十四年三月十二日警視廳訓令乙第四號參看)
- 一 區長ニ於テ監置シタル精神病患者ノ監護義務者ヲ發見シ又ハ監護義務者其義務ヲ履行シ得ルニ至リタルトキハ該病者ハ其義務者ニ引渡スヘシ(精神病患者監護法第一條第八條第二項參看)
- 一 住所不明ノ爲メ區長ニ於テ監置シタル病者ニシテ監護中其住所判明シタルトキハ速ニ其住所地方區町村長ニ引受方ヲ照會スルヲ要ス(精神病患者監護法第六條參看)
- 一 區長ニ於テ監置シタル精神病患者治癒シ死亡シ又ハ行方不明ト爲リタルトキ並監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法若クハ場所ヲ變更セントスルトキハ地方長官若クハ警察官署ヘノ報告通知又ハ認可ヲ受ケ同意ヲ經ルノ手續ヲナスヘシ(勅令第二百八十二號第三條參看)
- 一 區長ニ於テ監置スヘキ精神病患者ノ監置所ハ當分ノ内府立巢鴨病院其他私立精神病院 根岸病院、東京腦病院、戶山病院、精神病院、ニ囑託スルヲ要ス(明治三十四年十一月二十七日勅令以テ東京精神病院追加同三十二年十二月二十七日勅令第一日助役通達丙第三十八號ヲ以テ青山病院追加)(勅令第二百八十二號第四條及明治三十三年九月二十七日總甲第一八五號助役通達參看)

一 區長ニ於テ精神病者ヲ監置シタル時ハ其病者ノ住所氏名並
監置ノ病院名等速ニ當廳ニ報告スヘシ其轉歸シタルトキ又
ハ監置ノ方法場所ヲ變更シ區長ノ監置ヲ離レタル時亦同シ
一 區長ニ於テ職務上取扱フヘキ精神病者ハ勅令第二百八十二
號ニ明ナリト雖モ本市居住ノ同病者ニシテ無資力ナル者ハ
府立巢鴨病院ニ於テ施療入院ヲ許スノ途アルニヨリ同院へ
入院セシムルノ手段ヲ資ルハ自他ノ便利タルヘシ
一 區長ニ於テ監置シタル精神病者中若シ行旅病人ニシテ死亡
シタルトキハ勅令第二百八十二號第三條ニ依リ手續ヲ爲ス
外尙ホ法律第九十三號行旅病人及行旅死亡人取扱法及內務
省令第二十三號行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ救護並取扱
方並東京府訓令第三十七號行旅病人行旅死亡人等取扱手續
中行旅死亡人取扱ニ關スル規定ニ依リ處理スルモノトス
（行旅病人及行旅死亡人取扱法第一條第七條及第九條乃至
第十八條內務省令第二十三號行旅病人行旅死亡人及同伴者
ノ救護並取扱方第九條乃至第十五條東京府訓令第三十七號
行旅病人行旅死亡人等取扱手續參看）（明治四十年四月二十
百七十六號ヲ以テ）
本項中但書削除）
一 區長ニ於テ監置スル精神病者監置ノ認可ヲ受ケ若クハ届出
等ヲ爲スヘキモノニシテ其手續ヲ履行セサルトキハ處罰ヲ
受クルヲ以テ苟モ注意ヲ怠ルヘカラス（精神病者監置法第
十四條乃至第二十條參看）

一 區長ニ於テ監置シタル精神病者ノ監置諸費及病院入院料等
ノ費用ハ行旅病人及行旅死亡人取扱法ノ規定ヲ準用スヘキ
ニ付豫テ當廳ヨリ配付シ置キタル市費ヨリ繰替置追テ之ヲ
辨償セシムルヘシ（精神病者監置法第十條第二項參看）但東
京府巢鴨病院へ委託護送シタル病者ノ入院料ハ其病者ノ扶
養義務者ナク結局公共團體ノ辨償ヲ受クヘキ者ニ對シテハ
市費ヲ以テ繰替同院へ納付シ又ハ公共團體へ請求スルノ手
續ヲナスニ及ハサルモノトス
一 市費ヨリ繰替ヲ爲シタル精神病者ノ費用ハ左ノ順序ニ依リ
之レカ償還ノ方法ヲ資ルヘシ
一 先以テ被監置者並ニ扶養義務者ノ身元ヲ取調其被監置者
又ハ扶養義務者ヨリ辨償セシムルコト（精神病者監置法
第十條第一項參看）
二 被監置者又ハ扶養義務者ニシテ直ニ之ヲ辨償セサルトキ
ハ市稅徵收ニ關スル規定ニ依リ徵收スルコト（行旅病人
及行旅死亡人取扱法第十五條第二項市制第二百二條參看）
三 市稅徵收法ニ依リ徵收スルモ市費繰替金ニ不足ヲ生スル
カ又ハ全部ヲ辨償シ得サルトキ或ハ被監置者ノ住所居所
不明者クハ扶養義務者ナキトキハ明治三十二年十月東京
府訓令第三十七號行旅病人及行旅死亡人等取扱手續ノ規
定ニ準據シ被監置者ノ住所不明ナルトキハ其住所地ノ
府縣公共團體被監置者ノ住所不明ナルトキハ東京府ノ公

共團體へ請求スルモノトス（內務省令第二十三號行旅病
人行旅死亡人及同伴者ノ救護並取扱方第八條勅令第二十
百七十七號第一條參看）

（參照）

四 住所所判明セサル被監置者ニシテ金錢若クハ有價證券
其他ノ所持品アルモ被監置者ハ無能力者ナルカ故ニ民法
ニ依テ相當ノ手續ヲナスニアラサレハ右所持ノ金品ヲ以
テ直チニ監置費用ニ充ツルコトヲ得サルモノトス

明治三十三年三月九日 精神病者監置法
法律 第三十 八 號

五 住所所判明セサル被監置者死亡シタルトキハ行旅死亡
人ノ規定ニ依リ告示公告等ヲナシ其死亡人取扱ニ係ル費
用ニ限リ死亡人遺留ノ金品ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得但
死亡人遺留ノ金品ハ生前監置ノ費用ニ充ツルコトヲ得ス
（行旅病人及行旅死亡人取扱法第九條、第十一條、第十二
條、第十三條、第十六條內務省令第二十三號第九條、第
十二條、第十三條參看）

明治三十三年六月二十八日 精神病者監置法施行規則
內務省令 第三十五 號

市費ヨリ繰替ヲ爲シタル精神病者ノ費用繰替金ノ辨償ヲ受
ケタルトキハ仕譯書ヲ添付シ速カニ市役所へ償還ノ手續ヲ
ナスモノトス

明治三十三年六月二十九日 精神病者監置法第六條及第八條
勅令 第二百八十二 號 第三項ニ依レル監置ニ關スル件
法律 第三十二 年 三月 二十七 號

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

明治三十二年六月十九日 行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ
內務省令 第二十三 號 救護並取扱方

前各項ハ精神病者並其死亡人ノ取扱並費用辨償方ニ付其概
要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

明治三十二年六月十六日 行旅病人死亡人等ノ引取及費用
辨償方
勅令 第二百七十七 號

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

明治三十二年十月二十日 行旅病人行旅死亡人等取扱手續
東京府訓令 第三十七 號

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

自今公私立精神病院ニ委託セル精神病患者ニシテ逃走シタルトキ
ハ該病院ヲシテ其行衛ヲ搜索セシメ逃走ノ即日ヨリ向六日間に
之ヲ發見セサルトキハ轉歸シタルモノト同様ノ取扱ヲナスヘキ儀

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

明治四十一年三月三十日（各區長宛）
助役通達衛發 第三百九十三 號

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

要ヲ叙述シタルニ過キサルヲ以テ常ニ左ノ法律規定ヲ熟知
シ錯誤ナカラシメ又事務整理ニ關シテハ簿冊ヲ明ニシテ他
日ノ參照ニ便スルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

市費繰替金徵收ニ付テハ可成速ニ其手續履行ニ著手シ市費
償還方ニ遲延ナカラシムルヲ要ス

方 衛不明トナリタル場合取扱

ト御承知相成度此段及通達候也
追テ本件ニ付テハ關係病院へ通知致置候間此段御承知相成度申添候也

●私費支辨精神病者引取手續

明治四十一年二月五日(各區長宛)
助役通達衛發第四百一十一號

公私立精神病院ニアル自費患者ハ多クハ住所地區町村ノ判明セ
ルモノト認メラルルナリ以テ自今所轄警察署ヨリ所在地區長監護ト
シテ引渡アル場合ニ於テハ現ニ其治療ヲ受ケツツアル病院ニ就キ
精密調査ヲ遂ケ法規上所在地區長トシテ監護スヘキ事由アルトキ
ニ限り之カ引渡ヲ受ケラレ度又所轄警察署ヨリ假リニ同病者ノ引
渡ヲ受ケタルトキハ監護義務者若ハ住所地等發見シタル場合ト同
シク期間ヲ定メテ其住所地ノ市區町村長へ引取ノ通知ヲナシ其期
間ヲ經過スルモ之カ引取ヲ爲ササルトキハ送還ノ手續可致候御注
意相成度此段及通達候也

●巢鴨病院入院料支拂方

明治四十二年三月二十六日(各區長宛)
助役照會衛發第四百八號

府立巢鴨病院ニ委託セル精神病者ノ入院料ハ來ル四月一日分ヨリ

市費ヲ以テ繰替支辨ヲナス事ト相成候處其支拂方ニ關シテハ私立
病院同様區役所仕拂金證明規程第十四條ニ基ク請求書ヲ徴シ金券
トシテ該病院へ送付ノ上相當領收證ノ交付ヲ受ケラレ度此段及照
會候也
尙ホ本件ニ關シテハ巢鴨病院へモ照會ヲ了シ置候條御了知相成
度申添候也

●精神病者監置其他ニ關スル 報告方竝様式

明治三十九年四月六日(各區長宛)
助役通達衛發第九十四號

精神病者監置及其他ニ關スル報告ハ今後別紙様式ニ準據シ御報告
相成度此段及通達候也
(別紙様式)

- 第一號
- 精神病者監置報告
- 一 氏名年齢
 - 一 身分職業
 - 一 本籍地
 - 一 住所地
 - 一 發見ノ場所

第三號

精神病者死亡報告

- 一 氏名年齢
- 一 監置ノ場所
- 一 死亡年月日
- 一 死屍ノ處分

監護義務者又ハ扶養義務者何某ニ引渡、監護義務者又ハ扶
養義務者ナキニ依リ(不明ニ依リ)何地ニ假埋葬等
右及報告候也

年月日
東京市長宛
區長

第四號

精神病者引渡報告

- 一 氏名年齢
- 一 監置ノ場所
- 一 引渡年月日
- 一 被引渡者ノ氏名住所竝ニ本人トノ關係
- 一 引渡ノ事由

右及報告候也
年月日
東京市長宛
區長

一 監置年月日及場所

一 監置ノ事由 三十三年法律第三十八號精神病者監護法第六
條(第八條第三項)及同年勅令第二百八十二
號第二條ニ依リ何何ノ事由ヲ以テ(假ヘハ市
區町村長ニ於テ監護スヘキモノナルコトヲ認
ムルニ必要ナル事項ヲ詳記スルカ如シ)何警
察署ヨリ引渡ニ依リ又ハ云云ノ事由ニ依ル等
(明治三十九年十月十八日衛發第
八百九十五號ヲ以テ本項中改正)

右及報告候也
年月日
東京市長宛
區長

第二號

精神病者全治報告

- 一 氏名年齢
- 一 監置ノ場所
- 一 全治及解放年月日
- 一 幼者又ハ老疾者等ニシテ單身解放シ能ハサルモノニ付テハ
引渡先及其者ト本人トノ關係ヲ記載スヘシ

右及報告候也
年月日
東京市長宛
區長

●精神病患者ヲ收容スヘキ病院

明治三十三年九月二十七日(各區長宛)
助役通牒總甲第八十五號ノ二

精神病監護法第六條第八條ニ依リ區長ニ於テ監護スヘキ同患者ノ儀ハ從來府立巢鴨病院へ送院ノ答ニ候得共若シ同院ニ於テ患者滿員ノ爲メ差支アルトキハ左ノ私立病院ニ於テ患者一日一人金五拾五錢ノ入院料ヲ以テ監置治療ノ儀承諾致候條自今巢鴨病院ニ差支ノ場合ハ右私立病院中へ便宜送院相成度此段及通牒候也(明治三十一年十月二十八日助役通牒衛發第二百二十號ヲ以テ入院料「六拾錢」ヲ「五拾錢」ニ改メ明治三十七年三月三十日助役通牒衛發第二百八十八號ヲ以テ同上「五拾錢」ヲ「四拾五錢」ニ改メ大正二年三月四日東京府內務部長通牒庶發第一一二號ニ基キ入院料「四拾五錢」ヲ「五拾五錢」ニ増額ノ旨同年四月四日助役「ヨリ二甲第一三號」ヲ以テ各區長ニ通牒)

病院名

- 一 牛込區若松町 私立戸山病院 (戸山腦病院ト改名)
 - 一 下谷區下根岸町 私立根岸病院
 - 一 北豐島郡瀧野川村字田端 私立腦病院
- (龜戶町ト改稱)

第二篇 類規 第二類 衛生 第七節 精神病

一 南葛飾郡小松川村

私立小松川精神病院
(加命堂腦病院ト改名)

一 北豐島郡巢鴨村字庚申塚

私立東京精神病院(保養院ト改名)
(明治三十四年十一月廿七日助役通牒總丙第千六百六號ヲ以テ本院追加)

一 北豐島郡瀧野川村大字西ヶ原 私立王子精神病院

(明治三十五年二月十九日助役通牒總丙第百七十二號ヲ以テ本院追加)

一 赤坂區青山南町

私立青山病院 (青山腦病院ト改名)
(明治三十六年十二月二十一日助役通牒衛發丙第三十八號ヲ以テ本院追加)

一 豐多摩郡代々幡村

井村病院
(明治四十一年五月二十三日衛發丙第二十九號ニ依リ本院追加)

追テ私立病院ノ儀モ時ニ依リ滿員ノ儀モ難計ニ付送院ノ際ハ先以テ電話ニテ問合相成可然爲念申添候也



● 精神病患者月表年表報告方
竝様式

明治三十九年十月十八日(市指定私立精神助役照會衛發第九百一號(病院七ヶ所宛)
(府立巢鴨病院へモ同一ノ趣旨ニ依リ照會)但月表ハ明治三十九年九月分ヨリ提出

精神病患者ニ關スル事項別紙様式ニ依リ御調査ノ上月表ハ明治三十九年十月分ヨリ翌月十日迄ニ年表ハ明治三十九年分ヨリ翌年二月一日迄ニ取揃ヘ御報告相煩ハシ度此段及照會候也
追テ左記從來ノ様式ハ自今廢止候條御承知相成度候也

- 一 精神病院委託患者月表
- 一 明治何年何月中患者第一表、第二表

(別紙様式)(用紙美濃)

第一

區長委託精神病患者月表

明治何年何月

何

病院

區名	前月ヨリ		本月	入	計	全	治死	本	月	出	計	本月末日	本月中治
	越人員	新監置											
麴町	女	男	行衛不明	歸院									
〃〃													

計	〃〃												
---	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

記載例

- 一 區名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル但シ記入スヘキ事項ナキ區名ハ省略ス
麴町、神田、日本橋、京橋、芝、麻布、赤阪、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷、淺草、本所、深川
- 二 行衛不明、行衛不明ノ歸院ハ區長カ監置ノ廢止ヲ爲ササル以前ニ發見シタルトキト雖モ記ス但シ發見カ監置廢止ノ後ナルトキハ之カ入院ハ新監置トス
- 三 已ムテ得サル事故ノ爲他ニ委託シタルモノアルトキハ左ノ例ニ倣ヒ表尾ニ朱ニテ附記ス
(例)已ムテ得ス他ニ委託シタル者

事項	委託先	氏名	期
		何月何日	何月何日
		何月何日	何月何日
		何月何日	何月何日

第二

區長委託精神病患者月表(男一人別)(女一人別)

明治何年何月

何

病院

委託區名	入院年月日	患者氏名	年	齡	職業	住	所	病	名	狀	態	出院事由
	年月日											及月日
												月日

計 何人

記載例

- 一 本表ハ男女ノ二表ニ作製ス
- 二 年月日ハ簡略ニ記ス例セハ每葉ノ初行右側ニ年月日ト細小ニ記シ次行以下ハ單ニ數字ノミヲ記入シ年、月、日ニ換

第二篇 類規

第二類 衛生

第七節 精神病

精神病者 監護費用 計算書		一金 何程		何某外何名ニ係ル 監護費用 總額	
費目	金額	數量	單價	內譯	
				備	考
何病院入院料				患者	氏名
同					
同					
同					
計					

第八節 獸疫

● 獸疫豫防ニ關スル事項區長ニ委任

明治三十二年五月二十七日
 市告示第三十七號
 明治二十九年三月法律第六十號 獸疫豫防法 中市長ニ屬スル事務ハ區長ニ委任シ掌理セシム

● 獸疫ニ關スル届出ヲ受ケタルトキ報告方

明治三十二年五月二十六日 (各區長宛)
 助役通牒總發第五百七十三號ノ三
 今般告示第三十七號ヲ以テ明治二十九年三月法律第六十號 獸疫豫

防法中市長ニ屬スル事務取扱方委任相成候ニ付テハ之ニ關スル届出ヲ受ケタル場合ハ警視廳へ報告ト同時ニ當役所へモ報告有之度此段及通達候也

● 獸疫ニ關スル報告様式

明治三十七年九月六日 (各區長宛)
 助役通牒衛發第八百二十七號
 曩ニ總發第五百七十三號ノ三ヲ以テ豫テ獸疫ニ關スル報告方通達致置候ニ就テハ自今之ニ關スル報告ハ別紙様式ニ依リ可成速達ノ方法ヲ以テ報告相成度此段及通知候也

番號	獸類	種類	牝牡	年	齡	發病	病名	斃	死	撲	殺	快	復	住所	所有主氏名
				毛	色	月	日	月	日	月	日	月	日		

右及報告候也

明治 年 月 日

市役所 宛

何區役所

第二篇 類規 第二類 衛生 第八節 獸疫

● 獸疫豫防ニ關スル費用ノ
請求書進達方

明治四十五年三月十六日
市訓令 甲 第二號 (各區役所)

獸疫豫防ニ關スル費用ハ明治四十五年度以降債主ノ請求書ヲ徵シ
當廳へ進達シ支拂ヲ請フヘシ

第三類 兵 事

第三類 兵事

●徵兵令違反者告發方

明治三十四年四月六日(各區長宛)
市訓令甲第二十三號

徵兵令並馬匹調査及検査施行規則違反者ニ對スル告發ニ限リ本年
市訓令甲第一號ニ據ラサルコトヲ得ヘキ儀ト心得ヘシ(明治四十
三十一日市訓令甲第二十
四號ヲ以テ本文中改正)

●徵兵令違反者告發書様式

明治三十六年十月八日(各區長宛)
助役通知庶發第二百七十一號

徵兵令違反事件ニ對スル告發書様式ニ付當該裁判所檢事ニ交渉ノ
未別紙ノ如ク一定候事ニ決シタルヲ以テ今後ハ右書例ニ準シ作成
相成度尙裁判所ニ於テハ徵兵適齡者ノ所在不明ニシテ検査ニ應セ
サル者ハ令第三十條違反者トシテ處罰スル判例ニ付從來ノ如ク三
十一條違反トシテ告發ヲ受クルトキハ形式上事件ノ管轄裁判所ヲ
異ニスル爲メ少ナカラサル手數ヲ要スルニ拘ハラヌ處分結果ハ右
判例ト同一ニ歸著シ實益無之今後ハ第三十一條違反ノ確證アル
ルモノハ格別ナレトモ一般ノ身體検査不應者ニ對シテハ第三十條
違反トシテ取扱フ様致度旨同檢事ヨリ申越有之候條此段通知旁申

進候也

(別紙様式)

告發書

本籍地
出生地
居住地
現分職業

氏名

明治 年 月 日生

右ハ明治 年度徵兵適齡ニシテ明治 年 月 日東

京市 區役所内ニ開ク 聯隊區徵兵署ニ出頭シ身體検査

ヲ受クヘキ處正當ノ事由ナクシテ之ニ應セス徵兵令第三
十條ニ違反シタル者ト思料候條此段及告發候也

但被告ノ居所不明且親族關係人等之ナキニ付不參事
由書ヲ徵シ難シ依テ検査ノ日時モ通知スルコト能ハス
(不參事由書アルモノハ此但書
ヲ削リ届書ヲ添付スルコト)

明治 年 月 日

東京市 區 長

東京區裁判所檢事

御中

戸主ノ氏名

適齡届ノ有無

検査ノ月日及場所通知ノ有無

備考 (告發者ニ係ル判決未済ノモノアルトキハ其旨本欄ニ掲クルコト)	科	前罪名	刑名	刑期	對別	判決年月日	判決所
	検査ノ日時及場所告示ノ月日						

徴集延期願書竝ニ狀況書提

明治三十二年六月二十六日(各區役所)

徴兵事務條例第四十八條ニ據ル徴集延期願書差出シタルトキハ其事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ當廳ニ提出スヘシ

徴集延期出願者事實取調方

明治三十四年十月四日(各區長宛)
助役通牒總乙第六千八百四十六號ノ二

徴兵事務條例第四十八條ニ依リ徴集延期願出ノ者ニ對スル狀況書ハ今後其事實ヲ詳細ニ記載シ市長ニ宛提出相成度尙本文願書ニ陸

チ附與セラレタル者ハ其死體ナルト燒骨トニ論ナク該埋葬證書ヲ査閱シ更ニ埋葬認許證ヲ下附スヘシ

兵事事務ニ關スル書類燒却

明治四十三年三月二十九日(各區役所)
市訓令甲第十五號

陸軍召集事務及徵發事務ノ秘密書類中往復文書(其筋ニ還付スヘキモノヲ除ク)竝ニ計畫準備ノ爲其區ノ調製ニ係リ不用ニ屬シタルモノハ區長ニ於テ燒却スヘシ

軍服條例第百二條ノ出願者ニ準シ戸籍寫、職業ノ現狀、諸般ノ收入金、財産調、國稅府稅市稅ノ納額(種類ヲ區分ス)官ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫其他自活シ能ハサル證明ノ材料トナルヘキモノハ洩レナク添付相成度此段併セテ及御通牒候也

現役兵證書補充兵證書再渡

願書經由差出方

明治三十一年五月二十日(各區長宛)
助役通牒總發第五百七十二號

今回本郷麻布兩聯隊區司令官ト協議ノ未徴兵事務條例施行細則第四十七條ノ現役兵證書、補充兵證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタルモノノ更ニ下渡ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ請求スル願書ハ區役所及市役所ヲ經由ノ上進達ノ事ニ決定相成候條自今右ニ依リ處置有之度此段及通牒候也

陸軍軍人軍屬等ノ死亡者埋葬認許證下附方

明治三十八年六月六日(各區役所)

市訓令甲第三十三號

陸軍軍人軍屬等ノ死亡セル者ニシテ陸軍埋葬規則ニ據リ埋葬證書

第
四
類
恤
救

窮民及棄兒遺兒迷兒臺帳樣式

明治三十九年七月十九日 市訓令甲第二十四號 (各區役所)

窮民及棄兒、遺兒、迷兒ニ係ル臺帳ハ別紙樣式ニ依リ調製スヘシ
 明治三十三年六月二十日市訓令甲第三十號ハ明治三十九年八月
 三十一日限リ之ヲ廢止ス

(別紙樣式)用紙左野外上部ニ「窮民台帳」下部ニ「區役所」下記ス

種別	原籍地	姓名	年	月	日生
	住所	職業	身分	居業	所
恤救許可	年月日	報告	號		
	年月日	報告	號		
入院年月日	年月日	報告	號		
	年月日	報告	號		
出院年月日	年月日	報告	號		
	年月日	報告	號		
恤救許可事由及其年月日	報告	號			
	報告	號			
死亡年月日	報告	號			
	報告	號			
考備					

用紙左野外上部ニ「棄兒遺兒迷兒台帳」下部ニ「區役所」下記ス

場所	年月日	年月日	年月日	年月日
	性	推定		

定籍命名及其	報告年月日番號	區	號	氏	推定明治	年	月	日生
	滿年年月日	明治	年	月	日			
入院年月日	明治	年	月	日	報告	號		
	明治	年	月	日	報告	號		
出院年月日及其事由	明治	年	月	日	報告	號		
	明治	年	月	日	報告	號		
死亡年月日	明治	年	月	日	報告	號		
	明治	年	月	日	報告	號		
雇預人住所氏名								
引取人住所氏名								
貰受人住所氏名								
恤救許可年月日	明治	年	月	日				
考備								

棄兒定籍等通知書二戶籍謄本添付方

明治三十四年七月二十二日(市參事(各區長宛)會)通達總乙第四千七百二十七號

本市養育院へ收容ニ係ル棄兒及迷兒ヨリ棄兒ニ編入定籍命名推定
 年齢等養育院長へ通知ノ際自今戶籍謄本ヲ添付シ通知方可被取計
 此段及通達候也

他區在籍者ニ係ル救助費支出

明治三十一年八月二十四日
書記官通牒四乙第七千八百三十四號ノ四

(各區長宛)

區役所ニ於テ他區在籍者ニ係ル救助費支出取扱方自今左ノ各項ニ據リ御取扱可相成此段及通牒候也

- 一 甲區役所ニ於テ取扱タルモノ乙區役所ノ在籍者ナルトキハ其要領及費用金額ヲ其區役所ヘ通知シ乙區役所ニ於テハ戶主其他ヨリ成規ノ手續ニ依テ費用ヲ徵收シ甲區役所ヘ送付スヘシ
- 一 戶主無資力ニシテ辨償シ難ク又其他ニ辨出者ナク市ノ負擔トナルヘキトキハ乙區役所ハ其旨甲區役所ヘ通報シ甲區役所ニ於テハ相當豫算内ヨリ其費用ヲ支出スヘシ
- 一 無籍者トシ取扱ヒタル後本籍判明シタルトキモ前兩項ニ準シ取扱フヘシ
- 一 所要ノ都度請求スル科目ニ係ルトキハ第二項第三項ノ手續ヲ了シ甲區役所ニ於テ其請求ヲナスヘシ

幼童縁組並雇預ケ及官給養 育米料保管手續

其旨東京府又ハ(東京市參事會)ヘ届出ツルモノトス

第九條 雇預ケトナシタル幼童ニ支給セラルル官給養育米料ハ之ヲ養育院ニ於テ保管シ同院委員會ノ適當ト認メタル場所ニ預ケ本人年齢滿十三年ニ達シタルトキ之ヲ下付スルモノトス

第十條 第七條ノ取戻シタル幼童ノ預ケ中ニ係ル保管金ハ引續キ保管シ置キ本人年齢滿十三年ニ達シタルトキ下付スルモノトス

第十一條 第九條及第十條ノ保管金ヲ本人ニ下付セントスルトキハ本人定籍地ノ町村長若クハ區長ト協議シ徒ニ消費セシメサル様注意ヲ要ス

市養育院保育幼童一時預ケ 等届出方

明治二十八年六月十二日(養育院宛)
書記官通達内五發第三百六號

其院保育ノ幼童ヲ乳養ノ爲メ一時預ケヲシタルトキ又ハ取戻シタルトキハ其旨速カニ東京市長若クハ(東京市參事會)ヘ届出(預人住所職業)可相成依命此段及通達候也

市養育院保管幼童雇預リ願 人業體選定許可方

第二篇 類規 第四類 恤救 附養育院及養育院附設介紹所

明治二十八年六月十三日(養育院)
市訓令第七十九號

其院ニ於テ保管セル幼童縁組並雇預ケ及官給養育米料保管手續左ノ通定

- 第一條** 養育院保育ノ幼童實受ノ許可ヲ得タル者ニハ之ヲ引渡シ其旨東京府又ハ(東京市參事會)ヘ届出ツルモノトス
- 第二條** 養育院保育ノ幼童ヲ職工ノ徒弟トナシ又ハ店舗ノ走童トナサントキ望ム者アルトキハ同院ハ雇預ケトシテ其望人ニ預クルコトヲ得
- 第三條** 第一條ノ幼童實受ヲ東京府又ハ(東京市參事會)ヘ出願セシ者アルノ際養育院ヘ其意見ヲ諮問セラレタルトキハ同院ニ於テハ探究シタル事狀及意見ヲ申報スルモノトス
- 第四條** 第二條ノ雇預ケヲ望ム者アルトキハ其預リ人ノ性質、素行、職業、家計ノ程度及雇預リトスルノ目的等ヲ審査シ後來幼童ノ利益トナルヘキモノト認ムル者ニ限り之ヲ許可スルモノトス
- 第五條** 雇預ケトナス幼童ニシテ其父母判明ナル者ハ一應其父母ノ承諾ヲ得ルモノトス
- 第六條** 雇預ケトナシタル幼童年齢滿十三年ニ達スルマテハ委員長其監督ノ責ニ任スルモノトス
- 第七條** 雇預ケトナシタル者爾後其預リ人ノ幼童ニ對スル處置宜シキヲ缺キ幼童ノ不利益ト認メタルトキハ之ヲ取戻スモノトス
- 第八條** 第四條及第七條ノ雇預ケヲ許可シ又ハ取戻シタルトキハ

明治二十八年九月十二日(養育院)
書記官通達内五乙第八千三百三十號ノ三

客月二十四日付甲第二十五號ヲ以テ其院保管幼童雇預リ出願人營業種類選擇ノ儀ニ關シ上申ノ件ハ幼童縁組雇預ケ及官給養育米料保管手續第四條ニ照シ後來幼童ノ利益トナルヘキモノト認ムル者ニ限り之ヲ許可セラルヘク(市參事會知事)ノ命ニ依リ此段及通達候也

(參照)

甲第二十五號 明治二十八年八月二十四日 育院 上 申

最ニ市訓令第七十九條ヲ以テ本院保管ノ幼童縁組及雇預ノ手續御定相成其實受ハ東京府又ハ東京市ヘ出願シテ御許可ヲ受ケ雇預ケハ本院ニ於テ許否可致管ノ處其出願人ニハ或ハ遊藝稼人ノ類モ有之候得共其生計向ニ不都合無之ト見込候ハハ普通ノ業體相營候者ト同御許可相成候様仕度右ハ縁組實受ト雇預ケトニ付テ許否ニ途ニ出候様ノ儀有之候テハ不都合ニ付豫メ御指揮被下度委員會ノ議決ヲ經テ此段上申仕候也

棄兒後見職務執行ニ關シ貫 受願許可方

明治三十三年七月十日(各區長宛)
市長通達總發第千十五號

從來棄兒ノ養子實受願ニ對シテハ其區長ヨリ副申相成居候處本年法律第五十一號及勅令第四百四十四號ヲ以テ教育所ニ在ル孤兒ノ後

見職務執行ニ關スル法令制定セラレタルニ付從來區長カ該棄兒貫受願ニ對スル手續ヲ廢シ養育院委員長カ勅令第四百四十四號第一條ニ依リ後見人ノ職務ヲ執行スル場合ニ於テ(本市參事會)ハ養育院委員長ニ對シ許可スル事ニ改正候條此旨及通達候也

孤兒緣組ニ關シ許可執行方

明治三十三年六月二十九日付キ第二百六十九號何孤兒緣組ニ關スル手續ハ(本市參事會)ノ許可ヲ受ケ其院委員長ニ於テ執行スヘキ儀ト心得ヘシ
(參照)
第二百六十九號 明治三十三年六月二十九日 養育院 伺

從來本院ノ棄兒ヲ貫受ント欲スルモノハ該願書ヲ其棄兒ノ在籍地ナル役場ヲ經由シテ市長ヘ差出シ來リ候處本年勅令第四百四十四號第一條中ニ救育所ニ在ル孤兒ニ關シ後見人ノ職務ヲ行フモノカ其職務ヲ執行スルニ當リ親族會ノ同意ヲ要スル事項ハ公設ノ救育所ニ在テハ之ヲ設立セル公共團體ノ行政廳ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スト有之サレハ該願書ハ本院委員長ヲ經由シ委員長ハ願人ノ身元調査書並意見書ヲ添ヘ市長ヘ差出シ其許可ヲ受ル儀ト心得テ可然哉此段相伺候也

行旅病人及同死亡人公共團體へ引渡通知方

明治三十三年九月二十六日(各區役所) 市訓令甲第五十二號
明治三十二年六月內務省令第二十三號行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ救護並ニ取扱方第五條ニ依ル行旅病人行旅死亡人ノ扶養義務者クハ家族ナキトキ又ハ分明ナラサル場合ニ於テ公共團體ニ引渡シタルトキハ其都度遺漏ナク其旨東京市養育院委員長ニ通知スヘシ

病名不明ノ行旅病人送院心得方

明治三十四年二月八日(各區長宛) 市長通達總乙第三百四十七號
本市養育院へ收容スヘキ行旅病人中往往傳染病又ハ精神病者ノ疑ヒアルモノ有之取扱上支障難ナカラサル趣同院委員長ヨリ申出ノ次第モ有之ニ付行旅病人中病名ノ判明セサル者ハ醫師ノ診定ヲ經タル上送院方取計ハルヘク此段及通達候也

行旅病人救護並其異動報告書樣式

明治三十九年十月二十四日(各區役所) 市訓令甲第四十一號(養育院) 行旅病人ノ救護並其異動報告書樣式別紙ノ通相定メ明治三十九年十一月一日ヨリ實施ス (別紙樣式)用紙半紙

第 號 東京市養育院經由 ○ 明治 年 月 日 登錄濟主任 (經由ノ蠟印押捺)

第 號	行旅病人救護報告書
本籍地若ハ住所	
族稱 戶主 非 戶主	
氏 名	年 月 日 生
救護 年 月 日	明治 年 月 日
救護 ノ 場 所	區 役 所
救護ヲ要スル事由	
養育院送致ノ年月日	明治 年 月 日

考備 右及報告候也 明治 年 月 日 東京市 區 長 (東京市參事會) 市長 殿 (經由所印押捺) 東京市養育院

第 號 區役所經由 ○ 明治 年 月 日 登錄濟主任 (用紙半紙半切)

第 號	區行旅病人 報告書
氏 名	
收容 年 月 日	明治 年 月 日
考備	右及報告候也

明治 年 月 日

東京市養育院長

〔東京市參事會〕
市長 殿

●病名不明ノ行旅病人送院ノ
際診斷書添付方

明治三十七年五月二十五日(各區長宛)
助役通牒庶乙第二百二十五號

本市養育院へ收容スヘキ行旅病人中傳染病又ハ精神病者ノ疑アル
モノ有之ニ付病名判明セサル者ハ醫師ノ診定ヲ經タル上送院方取
計ハルヘキ旨明治三十四年二月總乙第三百四十一號ノニテ以テ及
通達置候處爾來送院患者中診斷ノ結果傳染病者ヲ發見スルコト往
往有之危險不尠且ツ今回市内ニハスト患者發生ニ就テハ此際尙一
層嚴重ナル診定ヲ遂クルノ必要有之ニ付自今送院患者ニ對シテハ
必ス醫師ノ診斷書ヲ添付シ送院方取計ハルヘク該院長ヨリ申出ノ
次第有之候ニ付此段及通達候也

右報告候也

年 月 日 東京市役所

東京府宛

- 一 全治出院、死亡、逃亡若ハ解放又ハ遺兒寡民等ニ編入シタルトキハ備考欄ニ其事由ヲ記入ノコト
- 一 同伴者ハ其氏名ノ肩書ニ何某同伴者ト記入ノコト
- 一 行旅病人死亡、逃亡後同伴者ノミ存在セルモノアル場合ハ其旨備考欄ニ記入ノコト

乙號ノ一 東京府ニ於テ引受未済ノ分

入院年月日	氏名	委託郡區	備考
明治何年何月	何人	町村名	
計	何人		

●東京府引受行旅病人同伴者

異動報告 明治四十年八月十三日(院長宛)
助役通牒庶甲第七十一號

行旅病人報告ニ關スル件其筋ヨリ通牒有之候條左記事項了知ノ上
別紙様式ニ準據シ八月分ヨリ報告相成度此段及通牒候也

左記

- 一 東京府ニ於テ引受タル行旅病人、同伴者ニシテ死亡、逃亡又ハ救護ヲ解キタル場合ハ別紙甲様式ノ調書ヲ添付シテ報告スヘキ事
- 一 東京府ニ於テ引受未済ノ行旅病人、同伴者ニシテ入院又ハ死亡、逃亡若ハ救護ヲ解キタル場合ハ別紙乙様式ノ調書ヲ添付シ翌月五日迄ニ報告スヘキ事

(別紙様式)

東京府ニ於テ引受ノ分

甲號	養育院入院行旅病人、同伴者異動報告書	備考
入院年月日	氏名	委託郡區
		町村名
		異動年月日
計	何人	

右報告候也

年 月 日 東京市役所

東京府宛

乙號ノ二 東京府ニ於テ引受未済ノ分

入院年月日	氏名	委託郡區	備考
明治何年何月	何人	町村名	
計	何人		
右報告候也			
年 月 日			
東京府宛			

- 一 全治出院死亡、逃亡若ハ解放又ハ遺兒窮民等ニ編入シタルトキハ備考欄ニ其事由ヲ記入ノコト
- 一 同伴者ハ其氏名ノ肩書ニ何某同伴者ト記入ノコト
- 一 行旅病人死亡、逃亡後同伴者ノミ存在セルモノアルトキハ其旨備考欄ヘ記入ノコト

●行旅病人救護費及同死亡人埋葬費請求書ニ添付スヘキ内譯書様式

明治四十年五月六日(養育院長宛)
助役通牒庶甲第四十三號

行旅病人救護費及同死亡人埋葬費請求書ニ添付スヘキ内譯書ハ自今別紙様式ニ準據シ提出相成度東京府第一部長ヨリ通牒ノ次第モ有之候條此段及移牒候也
追テ公共團體ニ屬スル救護費及埋葬費請求書ニハ正副二通ノ内譯書ヲ添附セラレ度申添候

(別紙様式) 「様式中△印アル横線ハ朱書」

行旅病人救護費請求書	
一金	何某外何人分入院料
但明治何年何月分別紙計算書之通壹人一日ニ付金何錢	
右請求候也	
年 月 日	
〔市參事會〕	
知事宛	東京市長名

行旅病人救護費計算書(明治何年何月分)			
一金	何某外何人分入院料		
内 譯			
入院年月日	在院日數	金額	備 考
何年何月何日	何 十 日	△	何月何日出院、逃亡又ハ死亡
、 、 、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、 、 、		當初取扱郡區町村名
、 、 、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、 、 、		氏 名
計			何 某 人

行旅死亡人埋葬費請求書	
一金	何某外何人分埋葬費
但明治何年何月分別紙計算書之通壹人ニ付金何程	
右請求候也	
年 月 日	
〔市參事會〕	
知事宛	東京市長名

行旅死亡人埋葬費計算書

一金	何某外何人分埋葬費			
	内 譯			
	入院年月日	死亡年月日	郡區町村名	氏名
	何年何月何日	何年何月何日	何 區	何 氏
	、 、 、 、 、	、 、 、 、 、	何 郡 何 町 村	、 何
計			何	何 人

棄兒救助費請求書

何某外何人分救助費

一金	何某外何人分救助費	
	但明治何年何月ヨリ同年何月迄分郡部棄兒入院料別紙計算書之通壹人一日ニ付金何程	
	内	
金	國庫ヨリ救助米料下附	
金	今般請求額	
右請求候也		

年 月 日

〔市 參 事 會〕

東 京 市 長 名

知 事 宛

棄兒救助費計算書

一金	何某外何人分救助費			
	内 譯			
	入院年月日	在院年月日	同上日數	金額
	何年何月何日	自何月何日至何月何日	何 日	△
	、 、 、 、 、	、 、 、 、 、	何 郡 何 町 村	何 氏
計			何 郡 何 町 村	何 氏
	何 十 何 日		何	何 人

● 行旅病人及同死亡人繰替償還金收入報告様式

明治四十一年六月二十日(各區長宛)
助役通牒庶發第八百四十一號

行旅病人及死亡人繰替償還金ニシテ公共團體又ハ扶養義務者ヨリ
辨償ヲ受ケタル場合ハ別紙様式ニ倣ヒ毎月一回十五日限り報告相
成度此段及通牒候也

- 事務員 若干人
- 醫員 若干人
- 授業員 若干人
- 調藥員 若干人
- 第二條 院長ハ院務ヲ總理シ職員ヲ指揮監督ス
- 第三條 院長ハ市長ノ承認ヲ得幹事ヲシテ輕微ナル事項ノ專決ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第四條 幹事ハ主事副幹事ハ事務員又ハ授業員ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 醫長ハ醫務及治療ヲ監視ス
- 第六條 幹事ハ院長ヲ補佐シ及第三條ニ依リ專決ヲ命セラレタル事項ヲ處理ス
- 第七條 副幹事ハ幹事ヲ補佐シ幹事故障アルトキ其職務ヲ代理ス
- 第八條 第一條ノ職員中副幹事一名及事務員授業員ノ若干人ハ感化部井之頭學校ノ事務ヲ掌理ス
- 第九條 事務員ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 安房分院ニ關スル事務ハ其首席事務員ヲシテ幹事ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得
- 第十條 醫員ハ上司ノ命ヲ承ケ醫務及治療ニ従事シ兼テ看護婦ヲ養成ス
- 第十一條 授業員ハ上司ノ命ヲ承ケ教育ニ従事ス但時宜ニ依リ他ノ事務ヲ掌ラシムルコトヲ得
- 第十二條 調藥員ハ上司ノ命ヲ承ケ調藥ニ従事ス
- 第十三條 第一條ノ外職員若干人ヲ置キ雜務ニ従事セシム

- 諸達法令ノ編纂保管ニ關スル事項
- 安房分院ニ關スル事項
- 内規ノ制定及其勵行並ニ集會儀式參觀ニ關スル事項
- 收容者ノ所置及教誨並ニ救養上ノ督勵ニ關スル事項但收容者ノ所置及教誨ニ關シテハ教育掛ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク
- 宿直ニ關スル事項
- 院内取締ニ關スル事項
- 雇員及收容者ノ取締ニ關スル事項
- 建築及修繕ニ關スル事項
- 公文書及電信電話ノ接受發送ニ關スル事項
- 人足雇入ニ關スル事項
- 月報年報ノ編纂及統計報告ニ關スル事項
- 清潔法ニ關スル事項
- 傳染病者取扱及消毒ニ關スル事項
- 死體取扱ニ關スル事項
- 收容者ノ買入品取締ニ關スル事項
- 一般衛生ニ關スル事項
- 他掛ノ所管ニ屬セサル事項
- 本掛ノ統計ニ關スル事項
- 庶務掛
- 收容者ノ出入院及死亡逃亡ニ關スル事項
- 收容者ノ費用請求下調ニ關スル事項
- 保育預ケニ關スル事項

市養育院處務細則

〔明治四十一年十月二十日
市參事會議決〕第五千六百七十九號

第一章 總則

- 第一條 本院ニ掛テ設ケルコト左ノ如シ
- 監查掛
- 庶務掛
- 教務掛 (明治四十二年五月二十五日市長判決庶乙第二千九百四十三號ニテ以テ本掛及育兒掛追加)
- 育兒掛
- 工業掛
- 會計掛
- 醫務掛
- 第二條 各掛ニ長及必要ノ吏員ヲ置ク但シ場合ニ依リ兼掌セシムルコトアルヘシ
- 第三條 各員ハ常ニ擔當事務ニ従事スルノ外場合ニ依リ院長ノ命ニ依リ臨時他ノ事務ヲ補助セシムルコトアルヘシ
- 第四條 各掛ノ事務分掌左ノ如シ
- 監查掛
- 機密ニ關スル事項
- 職員ノ進退賞罰給與其他身分ノ手續ニ關スル事項
- 賣買變造廢棄ノ物品並ニ給與品ノ検査ニ關スル事項
- 公印ノ管理ニ關スル事項

- 保育預ケ人ノ身元調査ニ關スル事項
- 收容者ノ死體埋葬解剖ニ關スル事項
- 窮民及行旅病人ノ身元調査ニ關スル事項
- 代用感化院收容者ノ出入院死亡逃亡ノ手續ニ關スル事項
- 種痘ニ關スル事項
- 本掛ノ統計ニ關スル事項
- 教務掛 (明治四十二年五月二十五日市長判決庶乙第二千九百四十三號ニテ以テ本掛及育兒掛追加)
- 學校管理ニ關スル事項
- 學校教育ニ關スル事項
- 本掛ノ統計ニ關スル事項
- 育兒掛
- 寮舎ノ管理ニ關スル事項
- 育兒ノ身分ニ關スル事項
- 育兒ノ成績ニ關スル事項
- 寮舎教育ニ關スル事項
- 本掛ノ統計ニ關スル事項
- 工業掛
- 收容者ニ工業ヲ授ケル事項
- 工業原料ノ購入ニ關スル事項
- 製品ノ販賣其他ニ關スル事項
- 工業用物品ノ保管ニ關スル事項
- 工業會計ニ關スル事項

本掛ノ統計ニ關スル事項

會計掛

出納ニ關スル事項

決算並豫算下調ニ關スル事項

假渡金ノ收支並寄附金品ノ受領ニ關スル事項

賣買變造廢棄ノ物品並給與品ニ關スル事項

物品ノ保管整理ニ關スル事項

收容者ノ貯金及所持金品ノ保管整理ニ關スル事項

本掛ノ統計ニ關スル事項

醫務掛

醫務ニ關スル事項

治療ニ關スル事項

診察ニ關スル事項

患者ノ給養品検査ニ關スル事項

看護婦養成ニ關スル事項

調藥ニ關スル事項

本掛ノ統計ニ關スル事項

第三章 收容者取扱

第五條 收容者取扱ニ關シテハ別ニ心得書ヲ制定ス

第四章 文書取扱

第六條 本院ニ到達ノ文書ハ監査掛ニ於テ之ヲ收受シ親展書ヲ除ク外總テ之ヲ開封シ件名簿ニ登錄ノ上主務掛ニ交付スヘシ但シ

親展文書ハ封緘ノ儘親展文書送付簿ニ登錄シ直ニ名宛人ニ交付

シ金品添付ノ文書ハ金品ハ直ニ會計掛ニ送付シ金品ハ會計掛ヘ

送付ノ旨文書ニ朱書スヘシ

第七條 電信ヲ受ケタルトキハ他ノ文書ニ先テ本章第六條ノ手續

ヲナスヘシ

第八條 二掛以上ニ渉ル文書ハ關係重キ掛ニ回付シ其掛分明ナラ

サルトキハ幹事ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條 取扱文書ノ内違例又ハ重要ト認ムルモノハ幹事ニ差出シ

指揮ヲ受クヘシ

第十條 文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ處分案ヲ起草シ之ヲ回

議ニ付シ其回覽ニ止マルモノハ直ニ幹事ニ提出スヘシ但當分處

分ヲ要セス留置ノ文書ハ關係掛ニ於テ保管スヘシ

第十一條 事ノ輕易ナル文書ニシテ餘白ヲ存スルモノハ其ノ餘白

ニ於テ處分案ヲ起草スルコトヲ得ヘシ

第十二條 事務處理上合議ヲ要スルモノニシテ彼是意見ヲ異ニス

ルトキハ而議商量シ尙決セサルトキハ幹事ニ面陳シテ決裁ヲ請

フヘシ

第十三條 合議ヲ受ケタル文書ニシテ決裁後再回ノ要アルモノハ

掛名ノ上部ニ(要再回)ノ印ヲ捺シ更ニ回覽ノ上ハ認印ヲナシ主

務掛ニ返付スヘシ

第十四條 一事件ニシテ回議ヲ重ヌルモノハ其處分完結ニ至ルマ

テ前回議書ヲ添付スヘシ

第十五條 監査掛ハ各掛ヘ配付シタル文書ノ日限ヲ調査シ故ナク

淹滞スルモノハ幹事ニ報告スヘシ

第十六條 發送文書ハ監査掛ニ於テ淨書校合シ本書ニ番號ヲ付シ

捺印ノ上封緘ヲナシ送付簿ニ登錄シ同掛ニ於テ遲滞ナク使送若

クハ郵送簿ニ記入シ發送スヘシ

第十七條 完結文書ハ各掛ニ於テ編纂シ索引ヲ附シ次年度ヨリ監

査掛ニ於テ保存スヘシ

第五章 服務心得

第十八條 各員出頭スレハ自ラ出勤簿ニ捺印シ出頭ヲ表スヘシ若

シ疾病事故ノ爲缺勤スルトキハ出勤時限後三十分以内ニ其理由

ヲ記シ届出ツヘシ其缺勤十五日以上ニ及フモノハ十五日毎ニ醫

師診斷書又ハ事由書ヲ添ヘ届出ツヘシ

第十九條 監査掛ニ於テ毎朝出勤簿ヲ點檢シ届書ニ依リ事故ノ標

印ヲナスヘシ

第二十條 各員公務ノ爲市ノ内外ニ出張シ又ハ出勤前後官公署其

他ニ立寄ルトキハ其旨監査掛ニ届出ツヘシ

第二十一條 各員遲參又ハ退出セントスルトキハ其旨監査掛ニ届

出ツヘシ

第二十二條 各員忌服ヲ受ケタルトキハ定式ノ日數ヲ記シタル届

書ヲ差出スヘシ父母ノ祭日ニ當リ出勤セサルトキ亦同シ

第二十三條 各員退出ノトキハ其所管ニ係ル書類物品ヲ遺漏ナク

收職シ散逸セサル様注意スヘシ

第二十四條 各員事故アリテ缺勤スルトキハ其擔任事項ヲ同僚ニ

申繼キ事務混滞ヲキ様注意スヘシ

第二十五條 各員退職又ハ轉勤ヲ命セラレタルトキハ其擔任事務

ノ目錄書ヲ作り其未完結ノモノハ處理ノ顧末ヲ記シテ後任者ニ

引繼キ幹事ノ閱覽ヲ請フヘシ

第二十六條 事務繁劇若クハ急施ヲ要スル事件アル場合ニ於テハ

上司ノ指揮ニ依リ執務時限外又ハ休日ト雖モ執務スヘシ

第二十七條 本院近傍ニ出火其他非常事變ノ生シタルトキハ直ニ

出頭シ上司ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十八條 各員身上ノ願届書ハ其掛主任ノ檢印ヲ受ケ監査掛ニ

届出ツヘシ

第六章 第一節

第二十九條 宿直ハ二人トシ書記教員ノ内一人雇員(院長指定者)

一人ヲ以テ之ニ充ツ

其輪番、順序ハ監査掛ニ於テ豫メ之ヲ定メ當番者ニ通知スヘシ

第三十條 宿直ノ任務ハ退務時限ヨリ翌日出勤時限ヲ以テ終ル但

事務ノ都合ニヨリ前項ノ時間外ト雖モ執務スルコトアルヘシ

第三十一條 宿直室ニ設備スル簿書左ノ如シ

宿直日誌、件名簿、金品受渡簿、寄附金品領收證、職員宿所

錄、通牒錄、私文書受渡簿、親展文書送付簿

第三十二條 宿直ハ専ラ院内取締ニ任シ時時院内ヲ巡視シ看護人

看護婦保母使丁ノ監督並ニ收容者ノ取締ニ任シ特ニ火氣ニ注意スヘシ

第三十三條 宿直中文書取扱ハ第四章ノ規定ヲ準用スヘシ但至急ヲ要スルモノハ直ニ幹事若クハ主務掛へ使送スヘシ

第三十四條 宿直中收容者取扱ニ關シテハ別冊定ムル心得書ニ依ルヘシ

第三十五條 火災其他非常事變等ノ場合ハ迅速ニ臨機ノ處置ヲナシ幹事其他へ急報スヘシ

第三十六條 現金、金券又ハ物品ヲ收受シタルトキハ直ニ金品受渡簿ニ記入ノ上嚴重ニ保管シ翌日主務掛へ引繼クヘシ但翌日休日ナルトキハ上番宿直ニ引繼クヘシ

第三十七條 保育預リ人アリタルトキハ醫員ノ檢診ヲ受ケ合格者ニハ相當乳兒ヲ保育預ケニ付スルモノトス

第三十八條 宿直中取扱ニ係ル一切ノ事件(電話ヲ含ム)ヲ宿直日誌ニ登錄シ翌朝關係掛ヲ經テ幹事ノ一覽ニ供スヘシ

第二節 醫務掛宿直心得
第三十九條 宿直ハ二人トシ醫員一人調藥手一人トス其輪番順序ハ同掛ニ於テ豫メ之ヲ定メ監督掛並ニ當番者ニ通知スヘシ

第四十條 宿直ノ任務ハ退務時限ヨリ翌日出勤時限ヲ以テ終ル但都合ニヨリ前項ノ時間外ト雖モ執務スルコトアルヘシ

第四十一條 宿直員ハ服務中醫務室調藥室病室ニ關スル事務ヲ監視スルモノトス

一 重要ナル動産ノ處分ニ關スル事項

●養育院事務中報告事項

大正二年三月三十一日(養育院) 市訓令甲第十九號

左記第一乃至第五ノ事項ハ翌月十日ヲ限リ第六ノ事項ハ其都度之ヲ當廳ニ報告セラルヘシ

- 一 收容者増減
- 二 棄兒迷兒遺兒異動
- 三 行旅病人異動
- 四 恤救窮民異動
- 五 恤救規則該當者調
- 六 囑託員及雇員以下異動

●慈善諸興行等ニ對シ寄附受領證明附與具申方

明治三十二年十月二十五日(養育院) 市訓令甲第三十九號

其院寄附ノ名儀ヲ以テ願出タル慈善諸興行等ニ對シ寄附受領證明ヲ與フル場合ハ豫メ當廳へ具申スヘシ

第四十二條 宿直中收容者アリタルトキハ宿直事務員ト立會檢スヘシ但傳染病者精神病者ハ勿論同病ノ疑似患者ニシテ周圍ニ危險ヲ及ホスト認メ收容拒絶ノ要アルモノハ立會事務員ニ告知スヘシ

第四十三條 宿直中傳染病、急病若クハ變死者アリタルトキハ宿直事務員ニ告知ノ上適當ノ處置ヲナスヘシ

第四十四條 宿直中保育預リ人アリタルトキハ宿直事務員ノ通告ヲ待チ檢診ノ上合格者ニハ相當乳兒ヲ選定スヘシ

第四十五條 宿直室ニ設備スル簿書左ノ如シ
宿直日誌、 診斷簿、 病歷簿

第四十六條 宿直中取扱ノ事項ハ漏ナク宿直日誌ニ記載スヘシ

●市養育院事業擔任市參與ヨリ市長ニ申請事項

大正二年三月七日(養育院事業) 市訓令甲第七號

- 一 諸規定ノ設定變更及廢止ニ關スル事項
- 一 事務囑託並報酬手當支給ニ關スル事項
- 一 三日ヲ超ユル市外出張ニ關スル事項
- 一 廳舎ノ増改築及大修繕ニ關スル事項
- 一 特殊ノ物品購入ニ關スル事項

●養育院需用物品一廉金額貳百圓以内隨時購入方

明治三十四年 十二月十日 (市參事會)指令總乙 第七千七百八十九號

明治三十四年十一月一日付甲第十一號上申其院ニ於ケル需用物品ハ一廉金額貳百圓以内ハ公入札ニ付セス隨時購入ノ件許可ス (養育院ヨリノ上申書略ス)

●養育院工業部及職業紹介所 授産部會計ニ關スル規程

大正二年六月二十七日 市告示第八十四號

- 第一條 養育院ニ工業部及職業紹介所ニ授産部ヲ置キ其操業ノ資金トシテ左ノ金額ヲ限度トシ各所屬經濟現在金ノ内ヨリ繰替支出スルコトヲ得
養育院工業部 千圓
職業紹介所授産部 參百圓
- 第二條 製作品材料工賃及操業監督費ハ本會計ノ負擔トシ製作品賣却代及實錢收入ハ之ヲ本會計ノ收入トス
- 第三條 本會計ノ收益ハ隨時所屬經濟ノ歲入ニ編入シ若シ減損アリタル場合ハ所屬經濟ヨリ補充ス

第四條 本會計收支ノ歳入出豫算ハ市參事會ニ於テ之ヲ議決ス

市養育院雇員ニ對シ手當金

支給方 明治四十一年五月十八日(養育院) 市訓令甲第三十五號

其院雇員ニシテ離隔室、癩病室、肺病室及安房分院病室ニ勤務スル者ニ限リ月額參圓以內ニ於テ院長限リ特別手當ヲ支給スルコトヲ得(明治四十一年十月二十九日) 市告示第八十號ニ依リ以下消滅

市養育院入院規則

明治三十三年七月七日 市告示第七十四號

- 第一條 東京市養育院ハ孤兒及窮民ヲ教育スル所トス
- 第二條 孤兒ニアラサル者ノ入院ヲ許可スルニハ二年以來本市ノ住民ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル
 - 一 獨身者ニシテ癩疾、不具、疾病、心神耗弱及老衰ノ爲メ生計ヲ爲スコト能ハサル者
 - 二 獨身者ニアラスシテ疾病其他ノ事故ニ依リ一家生計ヲ爲スコト能ハサル者
 - 三 重傷ヲ受ケ即時頼ルヘキ處ナキ者

者

二 滿八歳以上十六歳未滿ニシテ放逸又ハ不良ノ行爲アリテ扶養義務者無資力ノ爲メ之ヲ矯正スルコト能ハサル者

第二條 入院ヲ許可スルハ左ノ手續ニ依ルモノトス

前條第一號ノ場合ニ於テハ認知者又ハ警察署長若ハ區長ノ紹介アリタルトキ

前條第二號ノ場合ニ於テハ扶養義務者ヨリ出願シタルトキ

第三條 入院ヲ出願スル者ハ左ノ事項ヲ記載シ戸籍ノ謄本及所轄區長ノ證明書ヲ添ヘ養育院ニ願出ツヘシ(明治三十四年六月二十號ヲ以テ「養育院」ノ下「委員長」トアリシ三字削除)

本人及出願者ノ氏名、住所、年齢、族籍、職業

本人ノ性行及家族ノ狀況

第四條 第一條第二號該當者ノ入院ハ出願ノ順序ニ據ル但本人ノ情況ニ依リ特ニ其順序ヲ變更スルコトアルヘシ

第五條 入院者滿二十歳ニ達シタルトキ若ハ改善ノ事蹟明カナルトキハ之ヲ退院セシムヘシ

第六條 第一條第一號ノ入院者ノ親族中扶養ノ義務アル資力者ヲ發見シタルトキハ直ニ本人ヲ引取ラシムヘシ

第七條 府縣其他公共團體ニ於テ救助セラルル者又ハ入院費用ノ辨償ヲ得ヘキ者ハ其費用ヲ受ケ本部ニ收養スルコトアルヘシ

第三條 孤兒ニアラスシテ入院ヲ出願スル者ハ左ノ事項ヲ記載シ戸籍ノ謄本及所轄區長ノ證明書ヲ添ヘ本院ニ願出スヘシ(明治四年六月二十六日市告示第六十九號ヲ以テ本條中「本院」ノ下「委員長」トアリシ三字削除)

本人及出願者ノ氏名、住所、年齢、族籍、職業、癩疾、不具、疾病又ハ重傷ニ罹リタル事由

前條第二號及第三號ニ該當スルモノハ其家族ノ狀況

第四條 孤兒ニアラサル者ノ入院ハ出願ノ順序ニ據ル但本人ノ情況ニ據リ其順序ヲ變更スルコトアルヘシ

第五條 在院者ニシテ院則ヲ遵守セサル者又ハ救助ノ必要ナシト認ムル者ハ之ヲ退院セシムヘシ

第六條 在院者ノ親族中扶養ノ義務アル資力者ヲ發見シタルトキハ直ニ本人ヲ引取ラシムヘシ

第七條 行旅病者其他ノモノニシテ特ニ費用ノ辨償ヲ得ヘキモノハ其費用ヲ受ケ本院ニ收養スルコトアルヘシ

市養育院感化部入院規則

明治三十三年七月七日 市告示第七十五號

第一條 本部ニ入院セシムル者ハ本市内ニ居住シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル
 一 滿八歳以上十六歳未滿ニシテ扶養義務者無キ惡化ノ虞アル

養育院事業ニ屬スル收支命令事項市參與ニ委任

大正二年三月十四日(第一部) 市訓令甲第九號(養育院)

養育院事業所屬歳入出ノ收支命令ニ關スル事項ハ大正二年度分ヨリ之ヲ養育院事業擔任市參與ニ委任ス

市養育院感化部ニ屬スル收支整理方

明治三十九年二月二十七日 市會議決第十五號

明治三十九年度以降本市養育院感化部ニ屬スル收支ハ市養育院經濟ニ於テ之ヲ整理スルモノトス

市養育院入院者死體患部解剖許可具申方

明治三十一年十一月十九日(各區役所) 市訓令甲第五號

養育院入院者死體患部解剖ノ儀ハ同院委員長及醫員連署ヲ以テ願出ツルトキハ許可ヲ與フルト同時ニ其旨當廳ヘ具申スヘシ

市養育院感化部井之頭學校 ヲ東京府感化院ニ代用指定

明治三十九年四月四日(市參事會)通達庶務第四百二十三號(養育院長宛)

其院感化部井之頭學校別紙命令書之通り東京府感化院代用指定相成候條此段心得ヘシ

(別紙參照)

一 甲第三二五〇號二(明治三十九年三月三十日)東京府知事指令(市參事會)宛
明治二十八年十月三日付庶務第一四二二號上申ノ趣届届ケ明治三十九年四月一日ヨリ其市養育院感化部井之頭學校ヲ以テ東京府感化院ニ代用シ補助トシテ一箇年金六千圓ヲ交付候條別紙命令書ノ通心得ヘシ(號東京府指令ニ基キ本文中「五千圓」トアリシヲ「六千圓」ト訂正シ尙命令書第一條中「百人」トアリシヲ「百五十人」ト改ム)

命令書

- 第一條 收容スヘキ感化生ハ百五十人ヲ以テ定員トシ定員ニ滿ツルマテハ其收容ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第二條 學校職員ノ組織及其職務並ニ任用ハ豫メ知事ノ承認ヲ受クヘシ
- 第三條 學校ノ收支豫算ヲ定メタルトキハ速ニ知事ノ承認ヲ受ケ其決算ハ翌年度五月限リ整理シ之ヲ知事ニ報告スヘシ
- 第四條 補助金ハ九月、三月ノ二期 於テ其半額ツツチ交付ス

罹災救助寄贈金品等分配方 法竝ニ報告方

明治四十年十月二十二日 市內訓 甲第一號(各區長宛)

明治三十三年一月十日市內訓甲第二號罹災救助寄贈金品分配方心得ハ自今廢止候條右等罹災ニ際シ金穀、物品等ノ寄贈アリタル時ハ罹災ノ狀況ニ貧富ノ程度、家族ノ多寡等ヲ斟酌シ適宜分配方取計ヒ其配與金品ニ付テハ相當保護ノ途ヲ立テ寄贈者ノ眞意ヲ空フセシメサル様特ニ注意相加ヘ尙義捐金品ノ總額其分與方法等報告致サルヘシ

市立治療病院名稱

明治四十三年十一月八日 (市參事會議決) 第四千九百六十一號

京橋區築地四丁目海軍省用地ニ建築中ノ治療病院ノ名稱ハ左記ノ通命名スルモノトス
東京市治療病院

市立治療病院開院

明治四十四年四月五日 市告示第二十一號

東京市治療病院四月五日開院ス

- 第五條 事業成績書ハ年度ヲ以テ調製シ年度經過後二箇月以内ニ知事ニ報告スヘシ
- 第六條 事業ニ關スル調査ヲ命シ又ハ事業並ニ會計ノ臨檢ヲ爲ス場合ニハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第七條 感化法ニ關スル規程及本命令ニ違背シタルトキ又ハ本府ノ都合ニ依リ何時ニテモ代用ヲ廢止スルコトアルヘシ
- 第八條 前條ニ依リ代用ヲ廢止シタルトキハ其廢止ノ當月マテ月割ヲ以テ補助金ヲ交付スルモノトス
- 第九條 知事ニ於テ必要ト認ムル場合ニハ本命令ノ條項ヲ變更スルコトアルヘシ
- 第十條 東京府感化法施行細則第十九條ニ該當スル者ハ其本籍氏名年齢身分及經歷入校スルニ至リタル事情並ニ入校以來ノ成績ヲ取調ヘ四月五日マテニ知事ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

受救人身元取調ノ上救助方

明治二十三年六月十四日(各區役所) 市訓 令 第四號

窮民救助ノ際受救人ノ身元取調方精密ナラサルカ爲メ受救人ニ於テ依頼心ヲ生シ自活ノ念慮ヲ失ヒ救助者ノ厚意ニ背ク者有之候テハ不都合ニ付自今救助ノ爲メ金穀等ヲ差出シ救助方依頼ノ者有之候ハハ區役所ニ於テ受救人ノ身元取調ノ上救助方取計フヘシ

市立治療病院規則

明治四十四年四月五日 市告示第二十二號

- 第一條 本院ハ東京市住民ニシテ醫藥ヲ得ル資力ナキ傷病者ヲ治療スル所トス
- 第二條 患者ハ外來入院ノ二種トシ學術研究ノ用ニ供スルコトアルヘシ
- 第三條 入院ヲ請フ者ハ願書ニ左ノ事項ヲ記載シ所轄區長ノ證明ヲ得テ本院ニ差出スヘシ
一 本人又ハ扶養義務者ノ族籍、住所、職業、氏名、年齢
二 生活情況
三 症狀ニ依リ前項ノ手續ヲ經ル暇ナシト認ムル場合ハ之ヲ猶豫スルコトアルヘシ
- 第四條 入院ノ許可ヲ受ケタルトキハ入院證及剖檢願書ヲ差出スヘシ
- 第五條 治療日數ハ三週間以内トス但症狀ニ依リ伸長スルコトアルヘシ
- 第六條 入院患者十歳未満又ハ症狀ニ依リ必要ト認ムル場合ノ外附添看護ヲ許サス
- 第七條 死體ヲ剖檢ニ付シタルトキハ遺族若クハ身元引受人ニ祭料ヲ給與ス但本院ノ費用ヲ以テ埋葬スル場合ハ此限りニ在ラス
- 第八條 本院ノ規定ヲ遵守セサルトキ又ハ患者其定限ヲ超ユルト

キハ治療ヲ拒絶スルコトアルヘシ

市立治療病院處務規程

明治四十四年三月二十七日
市訓令 甲第十號 (東京市治療病院)

第一條 本院ハ(市參事會)ニ統轄ス

第二條 本院院務ヲ治療部ト事務部ニ分ツ

治療部ハ診療、調藥及看護婦ノ養成ヲ掌リ事務部ハ庶務及ヒ會計ヲ掌ル

第三條 本院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 院長
- 副院長
- 治療部
- 各科醫長
- 醫員
- 調藥員
- 看護婦長
- 事務部
- 事務長
- 事務員
- 機關手
- 雇員

院長ハ海軍軍醫學校長、副院長ハ同校先任教官、各科醫長及醫員ハ同校職員ニ當ルモノトス

前項以外ノ職員ハ本市吏員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 院長ハ院務ヲ總理シ治療部事務部ヲ監督ス

副院長ハ院長ヲ補佐シ院長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

各科醫長ハ各科患者ノ診療ヲ掌リ其所屬醫員ヲ監督ス

醫員ハ所屬醫長ヲ補佐シ診療、消毒、看護婦教育等ニ従事ス

調藥員ハ調劑及藥餌品ノ検査ニ従事ス

看護婦長ハ看護婦及看護婦見習生ヲ指揮シ看護事務ヲ整理ス

事務長ハ事務部ニ屬スル事故ヲ掌理シ其所屬部員ヲ監督ス

事務員及雇員ハ各其分掌事務ニ従事ス

機關手ハ蒸汽機關ニ屬スル業務ニ従事ス

第五條 院長ハ左ノ事項ヲ專行スヘシ

- 一 院務ニ關シ職名又ハ院名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコト
- 二 職員ニ除服出仕ヲ命ジ及請假ヲ許否スルコト
- 三 職員ニ市内出張ヲ命スルコト
- 四 磨工、火夫、守衛、看護婦、洗濯人及使丁等ヲ僱罷スルコト但給料月額貳拾五圓以上ニ係ルモノハ(市參事會)ノ認可ヲ受クルヲ要ス
- 五 看護婦ヲ養成スルコト
- 六 職工及人夫ヲ雇入ルルコト
- 七 患者ノ入院及附添看護ヲ許否スルコト

八 退院者並死體引渡ヲ爲シ及情願ニ依リ埋葬ヲ爲スコト

九 制規ノ手續ヲ經テ必要ナル剖檢ヲ爲スコト

第六條 院長ハ各科醫長醫員ノ移動並前條第二號第四號ハ其都度(市參事會)ニ報告スヘシ

第七條 院長ハ外來及入院患者數ヲ病類別表トシ(市參事會)ニ日報スヘシ

第八條 院長ハ前年中ニ於ケル院務ノ概要及成績ヲ翌年一月十五日迄ニ(市參事會)ニ報告スヘシ

市立治療病院評議員設置

明治四十四年二月十二日
市參事會 議決

第一條 東京市治療病院ニ關スル重要事項審議ノ爲メ評議員若干名ヲ置キ市長之ヲ囑託ス

第二條 評議員會ハ必要ニ應ジ開會スルモノトシ市長之ヲ招集ス

第三條 評議員會ノ議事細則ハ評議員會之ヲ定ム

第四條 評議員會ノ決議事項ハ市長ニ報告スルモノトス

市立治療病院患者取扱手續

明治四十四年三月二十九日(東京市)
市訓令 甲第十一號(治療病院)

第二篇 類規

第四類

救恤

附養育院治療病院職權紹介所

第一條 患者ノ定限ハ毎年度豫算ニ據ルヘシ

第二條 外來患者ニシテ治療日數三週間以上ニ亘ル者ニハ院則第三條ニ準シ區長ノ證明書ヲ差出サシムヘシ

第三條 入院ハ第一號書式ニ依リ願書ヲ差出サシメ外來治療ヲ受クルコト能ハスト認ムル患者ニ限リ之ヲ許可スヘシ

第四條 前條ノ患者數其收容餘力ニ超過スル場合ハ生計ノ程度最モ劣レル者ヨリ順次之ヲ定メ其程度差異ナシト認ムルトキハ症狀ノ重キ者ヲ先ニシスヘシ但特別ノ事情アル者ハ此順序ニ依ラサルコトヲ得

第五條 入院ハ戸主又ハ之ニ代ルヘキ者ヨリ出願セシムヘシ

前項ノ者ヨリ出願シ能ハサル事由アル者又ハ單身者寄寓者等ニシテ之ニ該當スル者ナキトキハ親族若クハ其他ノ關係者ヨリ出願セシムヘシ

第六條 院則第三條ノ扶養義務者ハ患者ト同一戸籍内ニ在リテ本市内ニ居住スル者トス

第七條 入院證ハ第二號書式ニ依リ出願者及身元引受人ノ連署ヲ以テ差出サシムヘシ但身元引受人ハ本市内ニ於テ獨立ノ生計ヲ營ム成年ノ者タルヘシ

第八條 院則第三條第二項ニ據リ入院セシメタル患者ニハ五日以内ニ同條第一項及同第四條ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第九條 院則第五條但書ニ據リ伸長シタル日數二週間ヲ超ユルモノアルトキハ其住所氏名、年齢、病名及事由ヲ詳記シ報告スヘシ

第十條 入院患者中單身者寄寓者ニ就テハ扶養義務者並其實力ノ有無ヲ調査シ相當救護者アルヲ認メタルトキハ施療ヲ拒絶スヘシ但單身者寄寓者ニアラサル患者ト雖モ必要アリト認メタルトキハ之ニ準據スヘシ

(第一號書式)

入院願

本籍
現住所
族稱、戸主トノ續柄、職業

氏 名
年 月 日 生

病(傷)名
生活狀況

(家族ノ氏名、年齢、職業、各自收入月額等)
(其他日常生活ノ狀態詳細記入スルヲ要ス)
私儀(右ノ)頭書ノ病症ニ罹リ(書ノ負傷仕)施療相受(加療)居候處前記ノ如キ生活狀況ニ有之且ツ(通院シ能ハサル要)ノ爲メ到底通院致難候間入院御許可被成下度此段奉願上候也

年 月 日

右(患者本人ニアラサルトキハ其住所及患者トノ續柄又ハ關係、職業等ヲ明記スル事)

東京市施療病院長氏 名殿
(所轄區長ノ證明ヲ要ス)
(第二號書式)

入院證

參錢收
入印紙

本籍
現住所
族稱、戸主(又ハ戸主トノ續柄)
職業
患者 氏 名
年 月 日 生

私儀(又ハ右ノ者)今般入院被差許候上ハ御規則堅ク遵守可致(又ハ可爲致)ハ勿論本人身上ニ係ル事件ハ一切身元引受人ニ於テ引受可申候隨テ退院ヲ命セラレカ若クハ萬一死亡致候場合ニ於テモ御指圖ニ從ヒ直ニ引取可申候

追テ身元引受人轉居ノ場合ハ直ニ御届可致又萬一死亡致候節ハ勿論旅行致候場合ニ於テモ速ニ代人相立テ御認可相受ケ可申候

年 月 日

右(出願者患者本人ニアラサルトキハ住所及患者トノ續柄又ハ關係、職業ヲ明記スルコト)

住所
身元引受人 氏 名印

東京市施療病院長氏 名殿
右身元引受人ハ肩書ノ地ニ居住ノ者ニ相違無之候也

家主(又ハ差配人) 氏 名印

本市所在ノ海軍官廳委託患者施療病院ニ於テ實費

收容方 明治四十五年七月十七日 市會議決第七十號

本市施療病院ニ於テハ支障ナキ場合ニ限リ實費ヲ以テ本市所在海軍官廳ニ勤務スル軍人軍屬及職工ニシテ官費ヲ以テ治療スヘキ者ヲ收容スルコトヲ得

市立施療病院收容患者中傳染病患者發生ノ場合取扱方

明治四十四年七月十九日(各區長宛 京橋區) 助役通牒二發第七百二十三號

本市施療病院收容患者中傳染病患者發生ノ場合取扱方ニ關シ別紙寫ノ通リ京橋區長へ通牒致置候條爲念此段及通知候也
(別紙) 明治四十四年七月十九日 助役通牒京橋區長宛
本市施療病院ニ收容患者中傳染病患者發生候場合ハ赤痢腸胃扶斯、猩紅熱、實布の里亞患者ニシテ重症ナルトキ又ハ移轉ノ爲

メ危險ヲ生スル虞アリト認ムル患者ニ限リ同病院ニ於テ治療致ス事ニ決定相成候條御了知相成度此段及通牒候也

市立施療病院入院患者死屍剖檢ノ場合祭葬料支給方

明治四十四年五月五日(市參事會議決)第二千二百六十一號

施療病院入院患者死屍ヲ剖檢ニ附シタル場合ハ祭葬料トシテ其遺族へ金五圓ヲ支給スルモノトス
追テ本件ニ關シテハ四月二十六日ニ廻リ施行スルモノトス

市立施療病院會計取扱手續

明治四十四年三月二十七日(東京市施療病院) 市訓令 甲第七號

第一條 施療病院ハ(市參事會)ヨリ令達シタル豫算ニ依リ毎年度ノ收支取扱ヲナスヘシ
第二條 左ノ事項ハ病院限リ施行スヘシ
一 見積價格五拾圓未滿ノ需用品ノ購入、修繕
二 一箇所五拾圓未滿ノ修繕工事
第三條 物品ノ購入、修繕工事ハ見積書ヲ徴シ調査ノ上契約ヲ爲

第二篇 類規 第四類 恤救 附養育院、療養病院、職業紹介所

- スヘシ
- 第四條 現金ノ支拂ハ債主ヨリ請求書ヲ徴シ調査ノ上事務長檢印シ支拂方申請スヘシ
- 第五條 収入金ハ納入ヨリ納付書ヲ徴シ其都度送付スヘシ
- 第六條 收支ハ歳入出豫算内譯簿ヲ設ケ整理スヘシ
- 第七條 收支決算書及翌年度豫算調書ハ左ノ期限内ニ之ヲ提出ス
- 一 收支決算書 毎年五月三十一日限
 - 一 豫算調書 毎年八月三十一日限

- 第八條 本規程ニ依ル調書及帳簿ハ左ノ様式ニ從ヒ調製スヘシ
- 第一號様式 歳入豫算内譯簿
 - 第二號様式 歳出豫算内譯簿
 - 第三號様式 收支決算書
 - 第四號様式 豫算調書
- 第九條 前各條ノ外本市會計規程並同施行細則ニ依リ取扱フヘシ
- 附則
本規程ハ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

(第一號様式)

明治	年度
歳入	内譯簿

(簿記様式)

科	目	年月日	摘要	豫算額	収入額	差額

記載例
一 豫算ニ對シ収入額超過シタムトキハ其差額ハ朱書スヘシ

(第二號様式)

明治	年度
歳出	内譯簿

(簿記様式)

科	目	年月日	摘要	豫算額	支出額	豫算残額

記載例
一 簿首ニ各口座ノ索引ヲ付スヘシ
二 豫算表ノ種日毎ニ口座ヲ設クヘシ
三 支出ハ支拂申請書内譯ニ依リ詳細ニ記載スヘシ
四 豫算ノ減額ニ屬スル文字ハ總テ朱書スヘシ

明治 年度 收支決算調書
△印ハ朱書

(第三號様式)

科	目	豫算額	収入額	増減	理由
歳入					
歳出					
經常費					

第二篇 類規

第四類 恤救

附養育院、療養病院、職業紹介所

科	目	預算額	決算額	増	減	附記	理由
		預算個數	決算個數	増	減		

(第四號様式)

明治 年度歳入出豫算調書

科	目	前年度		本年度		増	減	理	由
		個數	金額	個數	金額				

市立淺草、芝職業紹介所設置及開始

明治四十四年十一月七日
市告示第八十八號

本市淺草職業紹介所及芝職業紹介所ヲ左ノ場所ニ設置シ本月十五日ヨリ其事務ヲ開始ス

淺草區玉姬町百二十六番地
芝區新堀町三十番地
小石川區大塚坂下町二百二番地 (明治四十五年三月十六日市告示第十八號ヲ以テ小石川職業紹介所ヲ設置シ同月二十日ヨリ其事務ヲ開始ス)

市立職業紹介所處務規程

明治四十四年十一月六日 (東京市養育院) 市訓令甲第四十五號

第一條 職業紹介所ハ養育院長ノ管理ニ屬シ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市内居住ノ失業者及無業者ニ業務ヲ紹介シ兼テ宿泊ノコトヲ

- 經營ス
- 第二條 職業紹介所ニ主幹一名及事務員若干名ヲ置ク
 - 第三條 主幹ハ主事又ハ事務員ヲ以テ之ニ充ツ
 - 第四條 主幹ハ養育院長ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス
 - 第五條 事務員ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス
 - 第六條 養育院長ハ市長ノ認可ヲ受ケ事務執行ニ關スル必要ノ規定ヲ設クルコトヲ得

市立職業紹介所職業紹介規程並事務取扱手續

- 明治四十四年十一月十五日 (東京市養育院) 市長認可一乙第五千七百十一號
- 本月十一日監收第一三四號ノ一上申職業紹介規程並事務取扱手續上申ノ通り認可ス
- 職業紹介規程
- 第一條 本所ハ東京市内ニ居住スル失業者及無業者ニ無手数料ヲ以テ業務ヲ紹介ス其紹介スヘキ業務ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第二條 本所ノ附設宿泊所ハ料金ヲ徴シテ境遇困難ナル者ニ宿泊ヲ爲サシム
 - 第三條 業務ノ紹介ヲ求ムル者ハ其申込ヲ爲シ求職票ノ登録ヲ受クヘシ

- 第四條 登録ヲ受ケタル求職者來所ノ際ハ登録證ヲ携帯スヘシ
- 第五條 登録證ヲ失ヒタル者ハ其旨届出テ更ニ交付ヲ受クヘシ
- 第六條 求職者本所ノ紹介ニ依ラスシテ就職シタルトキ若クハ求職申込條件ニ變更ヲ生シタルトキハ其旨直ニ届出ツヘシ
- 第七條 求職者ハ求職者心得ヲ遵守スヘシ之ニ違反スルトキハ紹介ヲ拒絕シ既ニ登録ヲ受ケタル者ハ其登録ヲ抹消ス
- 第八條 求職者ニ對スル業務ノ紹介ハ登録ノ前後ニ依ル但事情切迫者ハ特ニ優先セシムルコトアルヘシ
- 第九條 本所ハ求職者ノ身元保證ヲ爲サス
- 第十條 使用人需要者ハ書面又ハ口頭若クハ電話ヲ以テ需要ノ申込ヲ爲スコトヲ得其紹介ハ無手数料トス
- 第十一條 使用人需要者ハ市内居住者タルコトヲ要セス
- 第十二條 使用人需要者本所ノ紹介ニ依ラスシテ使用人ヲ雇入レタルトキ若クハ需要申込ノ條件ニ變更ヲ生シタルトキハ其旨直ニ届出ツヘシ
- 第十三條 本所附設ノ宿泊所ニ宿泊ヲ請ハント欲スル者ハ其旨申込ムヘシ
- 第十四條 前條申込人ニ對シ本所ハ境遇査察ノ上宿泊セシムルノ必要アリト認メタルトキニ限り之ヲ許可ス但晝間在宿ヲ許サス
- 第十五條 宿泊料ハ一泊金四錢トス但入浴セシメサル場合ハ之ヲ金參錢トス

第十六條 日傭労働者ハ本規程第三條第四條及第五條ニ依ラスシテ取扱フコトヲ得

職業紹介事務取扱手續

- 第一條 求職ノ申込アル毎ニ掛員ハ求職票ニ記載ノ各調査事項ニ從ヒ申込人ニ對シテ詳細ナル尋問ヲ行ヒ之ヲ該票ニ記入スヘシ
- 第二條 掛員ハ求職者ニ對シ懇切丁寧ヲ旨トスヘシ
- 第三條 求職者ニ關スル調査事項ニ就キ必要ト認ムルトキハ官公署、前雇主、隣保等ニ就キ調査ヲ行フヘシ
- 第四條 求職票ハ就職、取消、未了ノ三種ニ區別シ且男女別及職業別ニ依リテ之ヲ分類整理スヘシ
- 第五條 男票及女票ハ用紙ノ色彩ニ依リテ之ヲ別異ス
- 第六條 使用人需要者ヨリ需要ノ申込ヲ受ケタル時ハ之ヲ使用人需要票ニ記載ノ事項ニ從ヒ適當ノ記入ヲ爲スヘシ
- 第七條 使用人需用者ニ就キ其身元調査ヲ爲スノ必要アリト認めタル時ハ適當ノ方法ニ依リ調査ヲ行フヘシ
- 第八條 使用人需要票ハ雇入済、取消、未了ノ三種ニ區別シ分類整理スヘシ
- 第九條 宿泊申込人ニ對シテハ相當調査ヲ行ヒタル上宿泊者心得ヲ遵守スルヲ條件トシテ之ヲ許可スヘシ
- 第十條 紹介及宿泊ノ事項ハ翌月五日迄ニ養育院長ニ報告スヘシ
- 第十一條 附設宿泊所ニ關スル執務ハ午後五時ヨリ翌日午前七時迄トス

●市立職業紹介所雇員ノ進退
養育院限リ專行方

明治四十四年五月十五日(養育院)市訓令甲第二十四號
職業紹介所雇員ノ進退ハ其院ニ於テ專行スヘシ但月給貳拾圓ヲ超ユル者ハ豫メ認可ヲ請フヘシ

第五類 勸業

第五類 勸業 附度量衡

●商工及統計課處務細則

大正二年四月二十九日
二發第千三百九號

第一條 本課ニ庶務、度量衡、統計、調査ノ四掛ヲ置ク其分掌事務左ノ如シ

庶務掛

- 一 文書ノ收受發送ニ關スル事項
 - 二 公印ノ管守並物品ノ出納ニ關スル事項
 - 三 豫算決算ニ關スル事項
 - 四 實業ノ獎勵保護ニ關スル事項
 - 五 商業會議所、銀行、會社、組合其他實業團體ニ關スル事項
 - 六 交通運輸ニ關スル事項
 - 七 獸疫豫防ニ關スル事項
 - 八 他ノ主管ニ屬セサル事項
- 度量衡掛
- 一 度量衡ノ取締ニ關スル事項
- 統計掛
- 一 統計ノ整理ニ關スル事項
 - 二 統計ノ刊行ニ關スル事項

第二編 類規 第五類 勸業 附度量衡

- 三 統計報告ニ關スル事項
- 四 内閣人口統計小票ニ關スル事項
- 五 内外統計書ノ交換ニ關スル事項

調査掛

一 商工業ノ調査ニ關スル事項

第二條 掛ニ掛長ヲ置ク掛長ハ課長ノ命ヲ承ケ主管事務ヲ處理ス

●商工調査會規程

大正二年五月一日(各部)
市訓令甲第三十二號

- 第一條 商工調査會ハ市長ノ諮問ニ依リ實業ノ保護獎勵其他商工業ニ關スル重要ナル事項ヲ調査審議ス
- 第二條 商工調査會ハ前條ノ事項ニ關シ意見ヲ開申スルコトヲ得
- 第三條 商工調査會ハ會長一名委員若干名ヲ以テ組織ス
特別ナル事項ヲ調査スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
- 第四條 會長及委員ハ市長之ヲ囑託ス
會長事故アルトキハ委員ノ互選ヲ以テ臨時代理者ヲ定ム
- 第五條 商工調査會ニ幹事及書記ヲ置キ市長之ヲ命免ス
幹事ハ會務ヲ整理シ書記ハ庶務ニ從事ス
- 第六條 商工調査會細則ハ市長之ヲ定ム

● 商工調査會議事細則

大正二年五月三十一日(各部、所、課)
市訓令甲第三十六號

第一條 商工調査會ハ會長ヲ以テ議長トス
議事ハ出席委員ノ多數決ニ依ル可同數ナルトキハ議長之ヲ決
ス

第二條 商工調査會ハ會長之ヲ招集ス

第三條 調査上必要アルトキハ主査ヲ置クコトヲ得
商工調査會ハ委員半數以上出席スルニ非ラサレハ會議ヲ開クコ
トヲ得ス

第四條 議長ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ會議ノ顛末及出席委員ノ
氏名ヲ記載セシムヘシ

明治四十二年四月一日(各區長宛)
助役通牒勸發第五十七號

本市勸業行政統轄上必要有之候條爾今東京府廳ヨリ市内勸業ニ關
スル調査報告照會等ニ對スル回答ハ特ニ規定有之候モノノ外ハ凡
テ當廳經由相成候様御取計相成度此段及通牒候也

● 度量衡器ニ關スル屆書區役

所經由方 明治三十五年一月十一日
市告示第一號

『明治三十三年東京府令第五十一號』及『同年東京府訓令第二十三
號』ニ依リ當廳へ提出スル度量衡器ニ關スル屆書ハ所轄區役所ヲ
經由スヘシ

● 度量衡器臨檢吏員服制

明治三十四年十一月九日
市告示第九十五號

本市度量衡器臨檢吏員服制左ノ通之ヲ定ム

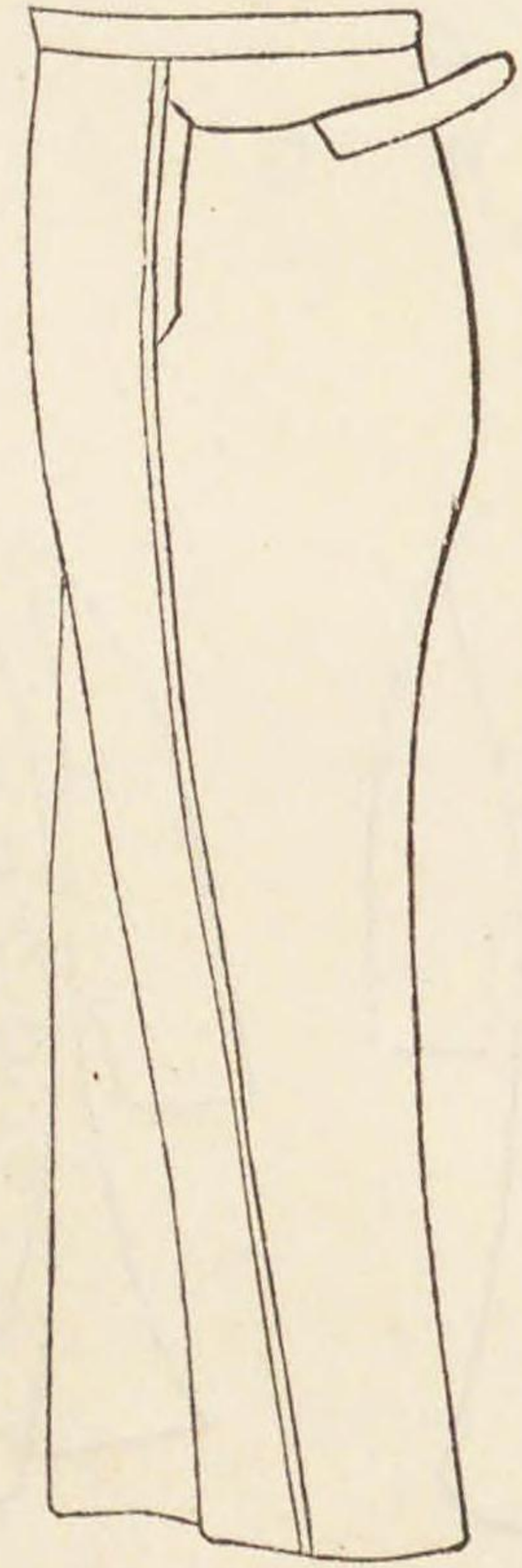
名稱	地	質	前	章	眼	庇	頤	組	及	釦	品	質	裝	式	製	式	形	狀

量度衡器臨檢吏員服制圖例(大正二年五月十日市告示第
六十四號ヲ以テ圖例中改正)

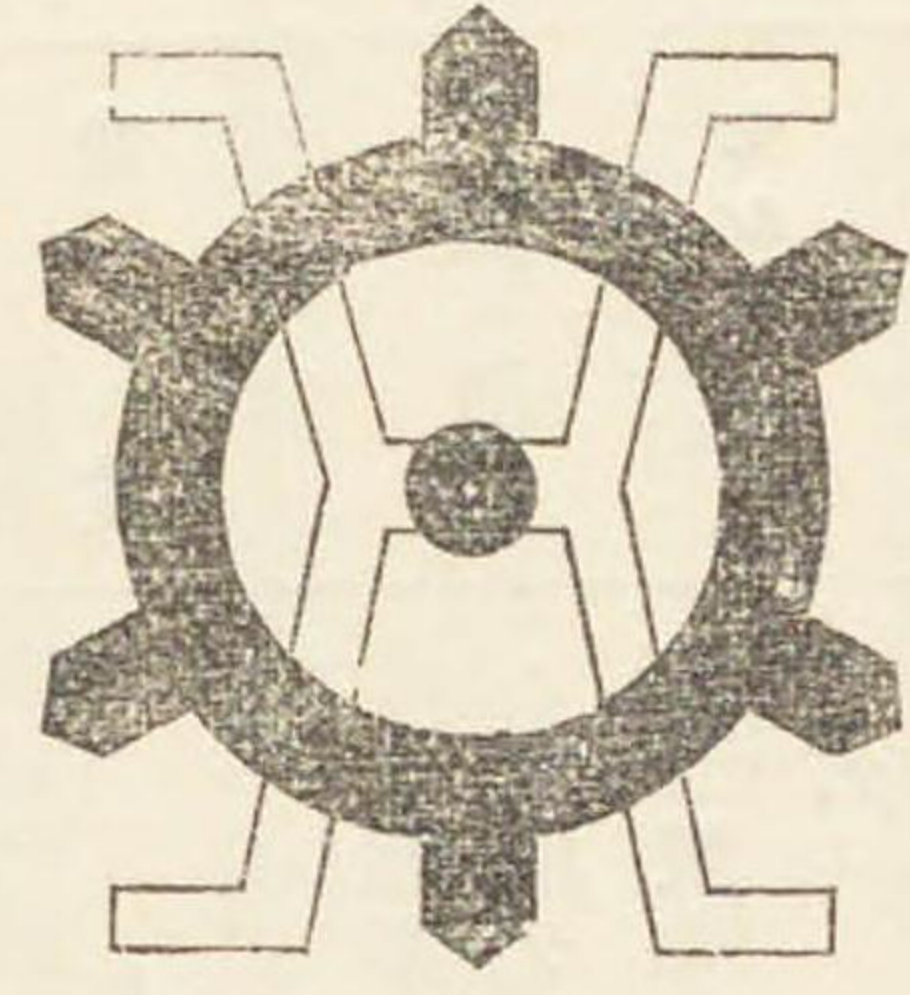
● 市内勸業ニ關スル調査報告
照會等ニ付キ東京府へ回答
ノ場合本市經由方

名稱	地	質	釦	襟	章	袖	品	質	裝	式	製	式	形	狀
帽	黑	絨	市徽章及X字形 チ付ス直徑一寸 東形ハ金色 X形ハ銀色	革黒色弧形ニ シテ前ニ出ツ ルコト一寸五分	革黒幅四分釦 金色市ノ徽章 チ付ス徑三分	黒毛縁 毛縁幅五分 二條チ付	黒毛縁	毛縁幅五分 ニ黒蛇腹一 本チ付ス	同	立襟ニシテ襟幅一 寸袖長サ腕關節ニ 止マリ長サ腕骨上 端ヨリ下ルコト凡 ソ四寸五分 右物入前左ニ二個 ス	同	同	同	同
夏衣	黒又ハ濃紺	紺	金色圓形ニシテ市 ノ徽章チ付ス徑七 分五厘胸部ニ五個 チ付ス	左右ニ金絲ヲ以テ M字ヲ縫著ス長五 分幅五分	黒毛縁	毛縁幅五分 ニ黒蛇腹一 本チ付ス	同	同	同	同	同	同	同	同
冬衣	黒又ハ濃紺絨	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
袴	夏ハ黒又ハ濃 紺又ハ濃紺絨 又ハ濃紺絨	黒	品	質	裝	式	製	式	形	狀	同	同	同	同
外	表	黒又ハ濃紺	品	質	裝	式	製	式	形	狀	同	同	同	同
套	裏	濃紺	品	質	裝	式	製	式	形	狀	同	同	同	同
適宜	裏	濃紺	品	質	裝	式	製	式	形	狀	同	同	同	同

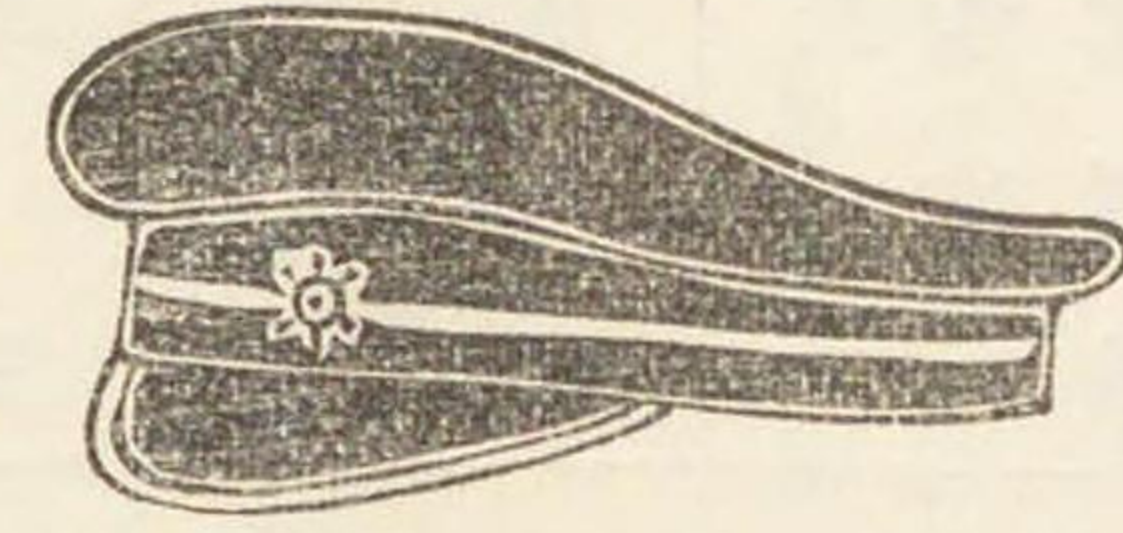
袴



章帽



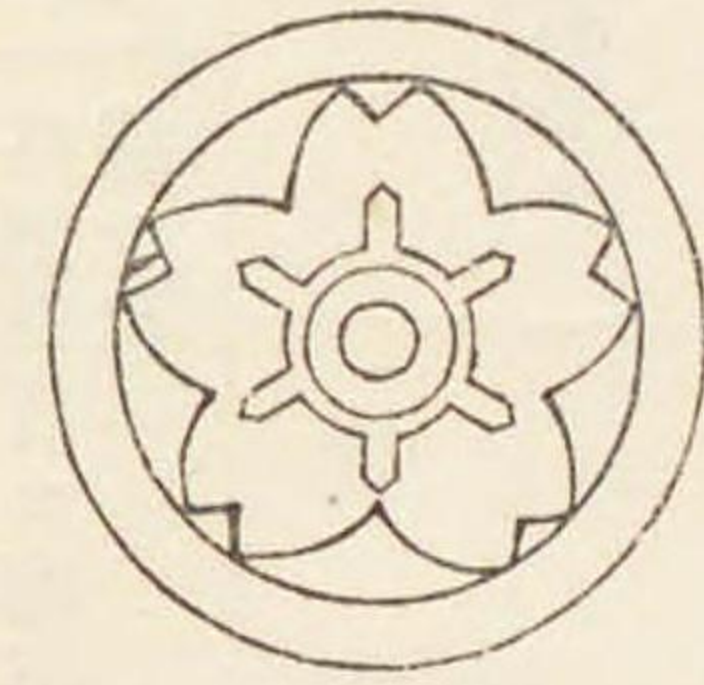
帽



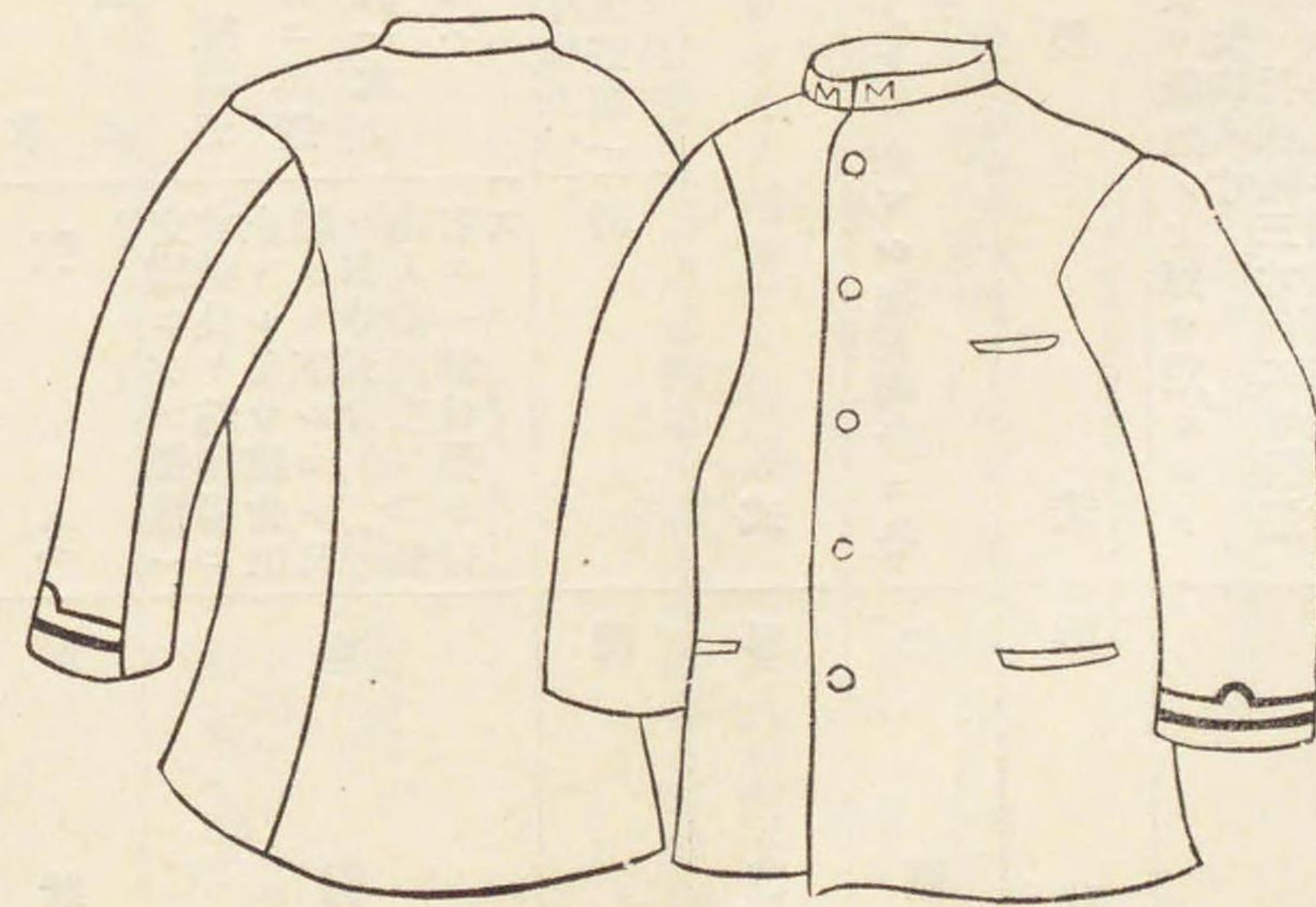
章襟



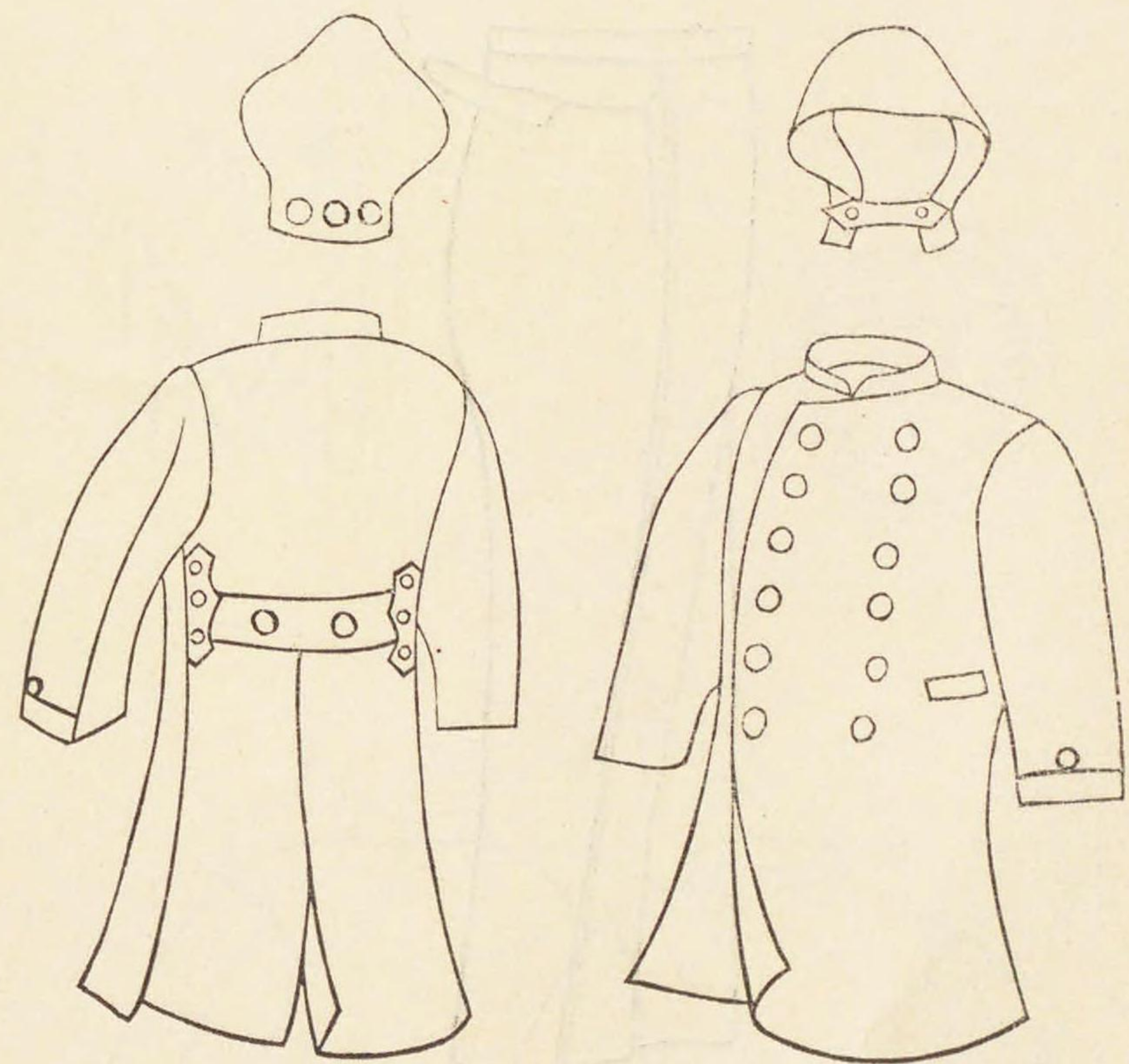
鈕



衣



外套



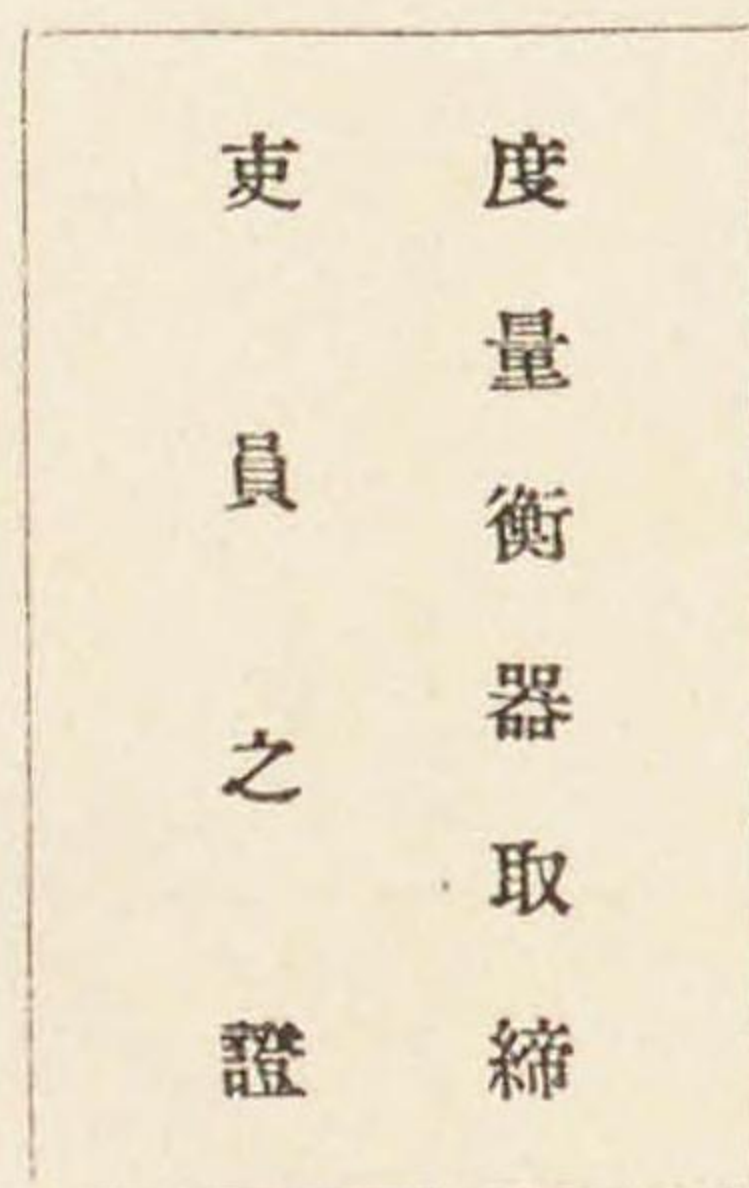
●度量衡取締吏員證票

明治三十九年六月二十二日
市長判決勸發第五十五號
本市度量衡取締吏員ノ證票ヲ左記ノ通相定メ出張ノ際携帶セシムルモノトス

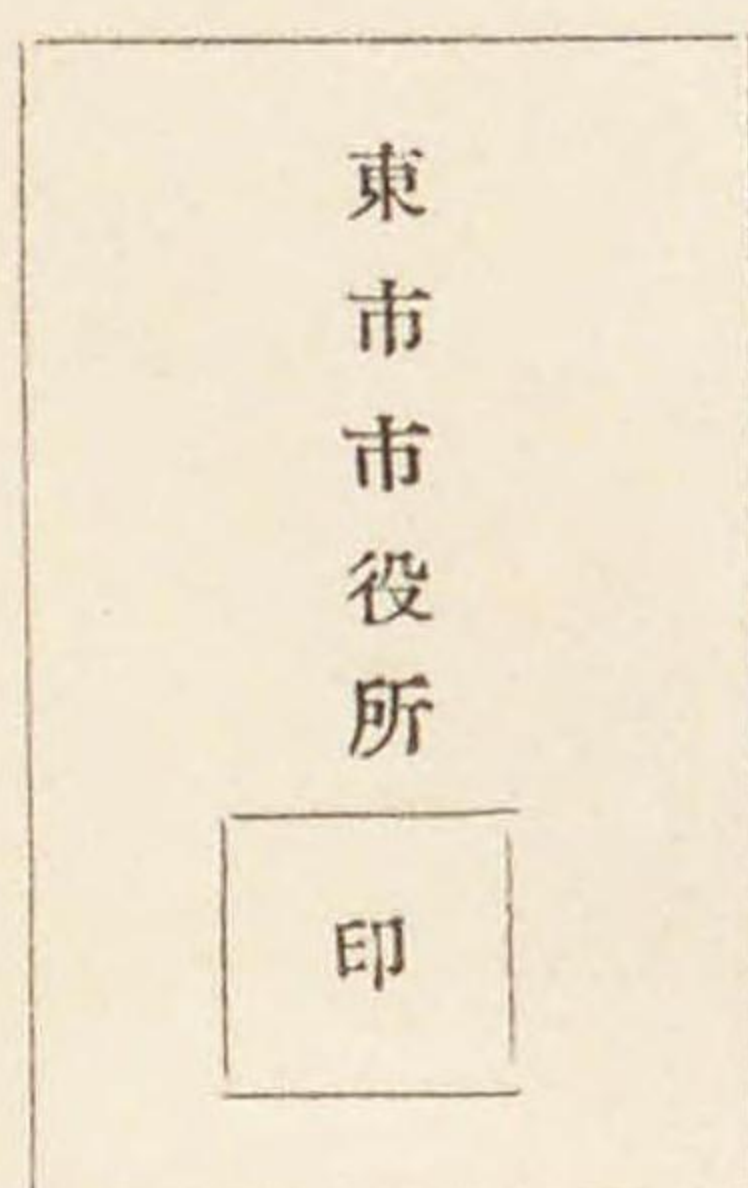
材料紙

三寸

二寸
度量衡器取締
吏員之證



裏



第六類
褒
賞

第六類 褒賞

●市名譽職員勤勞表彰規程

明治四十三年三月四日
市會議決第五十四號

- 第一條 名譽職參事會員又ハ市會議員ニシテ滿十二年以上其職ニ在リタル者ニハ記念品ヲ贈與スルコトヲ得
- 第二條 前條ニ該當スル者退職シタルトキハ其終身現任市會議員ト同様ノ待遇ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 名譽職參事會員ト市會議員トノ在職期間通シテ滿十二年以上ニ達シタル者ニモ亦前二條ヲ適用ス
- 第四條 名譽職參事會員市會議員ト爲リ又ハ市會議員名譽職參事會員ト爲リタル場合ニ於テハ其双方ニ在職スル間一方ノ在職期間ヲ算入セス
- 第五條 此規程ハ明治二十二年四月ニ遡リテ之ヲ適用ス

●人民行賞具申書經由方

明治三十二年三月二十五日(各區役所)
市訓令甲第十二號

區内人民ノ爲メ行賞ヲ其筋ニ具申ノ節ハ市役所ヲ經由スル儀ト心得ヘシ

●人民行賞具申書ニ添付ス

ル調書ニ通差出方

明治三十九年七月十九日(各區役所)
市訓令甲第二十五號

區内人民ニシテ金品寄附及奇特ノ行爲者有之其行賞方具申ノ場合ハ調書ニ通テ添付スヘシ但明治三十二年(十月)市訓令甲第三十八號ハ之ヲ廢止ス

●金品等寄附者へ賞品賞狀

傳達方

明治三十五年七月二十三日(各區長宛)
助役通牒總乙第六千七百九十二號二

金品其他ノ物件ヲ寄附シ其向ヨリ賞品賞狀ヲ下賜セラルル場合又ハ賞詞有之場合ニ於テ右傳達ノ爲メ區役所へ本人ヲ召喚スルノ慣例有之候爲メ行賞セララルル者往往右ニ據リ時間ヲ消費スル等尠カラサル迷惑ヲ生シ候旨有之趣ニ付自今ハ可成便宜上格別ノ時期ヲ除キ必ス寄附者ノ住所ニ送達方御取計有之候様致度依命此段及通牒候也

●市養育院寄附者ニ對スル

取調報告事項

明治三十二年六月九日(養育院宛)
助役通牒總發第二百五十號

養育院へ金員物品等寄附者有之トキハ左記ノ各項ヲ取調へ御報告ノ場合各人別ニ詳記相成度此段豫メ通牒ニ及候也

- 一 氏名住所屬籍身分但家族ナレハ其戸主ニ對スル等親
- 二 官職兼任アル者位階勳等
- 三 非役ノ者ハ其職業
- 四 「重罪」ノ刑ニ處セラレサルヤ否
- 五 寄附金額又ハ物件及其評價但定價アルモノト雖モ其實價ノ評定ヲ要ス
- 六 寄附年月日

第七類 土木

第七類 土木

●道路課出張所處務程規

明治四十二年一月十四日(道路課、道路課各出張市訓令 甲第一號(所橋梁課、河港課))

第一章 職員及職務權限

第一條 道路課出張所ニ左ノ職員ヲ置ク

主任

工事係員

事務係員

主任ハ技手ヲ以テ之ニ充テ課長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ整理シ所員ヲ指揮ス工事係員ハ技手、技手補及雇員ヲ以テ之ニ充テ工務ニ従事ス事務係員ハ事務員又ハ雇員ヲ以テ之ニ充テ庶務ニ従事ス但工事係員及事務係員ナシテ五ニ兼掌セシムルコトヲ得

第二條 主任事故アルトキハ次席者其ノ職務ヲ代理ス

第三條 道路課出張所ハ其管區内ニ屬スル左ノ事項ヲ處理スルモノトス

- 一 明治三十五年四月東京市訓令甲第八號道路及溝渠修築維持ニ關スル規程第五條維持ノ施工及監督
- 二 改築及大玉道路掘鑿跡復舊ノ施工及監督
- 三 第一號及第二號ノ外道路(木柵モ包含ス)及溝渠工事ノ監督
- 四 道路樹木ノ植付及培養工事ノ監督
- 五 道路溝渠修築維持ノ爲メニ必要ナル消火栓上ケ下ケノ施工

第二篇 類規 第七類 土木

及監督

六 電車鐵道軌道布設ニ關スル工事(道路溝渠ニ)ノ監督

七 道路及溝渠ノ巡檢

八 官廳ノ施設ニ係ル電話地下線及電柱建設ニ關スル實地調査及工事施行ノ注意

九 本市ノ負擔ニ屬スル道路溝渠使用願許可後ノ監督

十 明治三十九年四月東京府令第二十六號市長委任事項中第一項第二項ノ實地調査及許可後ノ監督

十一 道路及溝渠ニ關スル自費工事ノ監督

十二 明治三十五年四月市訓令甲第七號ニ依ル報告書ノ調査

十三 橋梁及護岸ノ一時應急手當

十四 其ノ他上司ノ命シタル事項

第二章 服務心得

第四條 所員ハ大祭祝日及市役所開廳日ヲ除クノ外ハ所務ニ従事スヘシ

第五條 所員(事務係員ヲ除ク)ハ日常管區内ヲ巡檢監督スヘシ

巡檢ノ際道路課、橋梁課及河港課主管ノ工作物(出張所ニ於テ施工ノ權限ナキモノ)ニ破損其ノ他ノ異狀ヲ認メタルトキハ直ニ事務課ニ報告スヘシ

第六條 所員ハ出張所近火其ノ他非常ノ事變アルトキハ退所後又

ハ休日ト雖モ直ニ出頭警戒防禦ニ努ムヘシ

第七條 所員身上ノ願届書ハ主任ノ檢印ヲ受クヘシ

第二篇 類規 第七類 土木

第八條 前各條ニ掲ケタルモノノ外ハ渾テ市役所處務規程第四章
服務心得ヲ遵守スヘシ

第三章 宿直心得

第九條 宿直ハ一人トシ退所時限ヨリ翌日出勤時限迄其ノ責任
ス

第十條 天災其ノ他非常事變ノ爲メ警戒防禦ノ必要ヲ生シタルト
キハ直チニ出張所主任、道路課長、技師長ニ報告シ非常番定備
工夫ヲ指揮シテ臨機敏速ノ取扱ヲ爲スヘシ

第十一條 市役所宿直、警察官其ノ他ヨリ應急手當ノ請求アリタ
ルトキハ急速處置ノ上翌日主務課長ニ報告スヘシ

第十二條 宿直ニ於テ取扱タル事項ハ渾テ宿直日誌ニ登記 主任
ノ閱覽ニ供スヘシ

第四章 文書取扱ニ關スル手續

第十三條 收受及發送ノ文書ハ凡テ件名簿ニ登錄シ文書取扱ノ願
末ヲ詳記スヘシ

第十四條 收受及發送ノ文書ハ符記番號ヲ標記スヘシ但番號ハ每
年一月ニ起リ十二月ニ止ム

第十五條 番號ノ標記ハ收受文書ハ收第何號發議文書ハ發第何號トシ其ノ
往復ヲ重ヌルモノハ其ノ二三ト記シ完結ニ至ル迄番號ヲ一
貫スヘシ

第十六條 收受文書ニハ渾テ左ノ受付印ヲ捺シ受付年月日ヲ記入
スヘシ

ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 出張所ニ左ノ帳簿ヲ備置ケモノトス

- 一 所員出勤簿
- 一 收受文書件名簿
- 一 發議文書件名簿
- 一 工事臺帳
- 一 豫算整理簿
- 一 材料出納簿
- 一 備品臺帳
- 一 消耗品出納簿
- 一 定備臨時工夫賃及損料支拂臺帳
- 一 定備工夫出面點檢簿
- 一 非常番定備工夫名簿
- 一 工事設計書綴
- 一 例規綴
- 一 往復綴
- 一 第三條第八號乃至第十二號（第十號、第十一號及第十二號）
ノ及工作物ヲ私有（ハ將來負擔スヘキ義務アルモ
トスルモノニ限ル）ニ關スル臺帳
- 一 日誌
- 一 宿直日誌
- 一 前項ノ外整理上必要アル簿冊ハ便宜調製スヘシ

第五章 工事施行及監督ニ關スル手續

第二篇 類規 第七類 土木

收第	年	月	日	受
	號	何		

第十六條 收受文書ノ處分ハ遅クモ三日ヲ超ユヘカラス但道路課
ヘ送付スヘキ文書ニシテ三日ヲ經過シタルモノハ其理由ヲ副申
スヘシ

第十七條 第三條第八號、第十號及第十二號ノ文書ヲ調査シタル
時ハ其ノ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第十八條 出張所ハ左記事項ノ外ハ外部ニ對シ往復及交渉ヲ爲ス
コトヲ得ス

- 一 成規定例アルモノ
- 一 請負人又ハ其ノ關係者ヲ召喚スルトキ
- 一 第三條第八號乃至第十一號ニ關シ出願者又ハ起業者ノ出願
ヲ求ムルトキ

第十九條 出張所ハ電話ヲ以テ事實ヲ悉ササルトキ又ハ特ニ面談ヲ
要スルトキニ限ルモノトス

第二十條 出張所ニ於テ發スル文書ハ渾テ主任ノ名ヲ以テスヘシ
但召喚書ヲ發スル場合ハ此限ニアラス

第二十一條 口頭申出ヲ爲シタルモノアルトキハ形式ヲ要セサル場
合ニ於テ取扱上差支ナキ限りハ文書ト同様ノ取扱ヲナスモノト
ス

第二十二條 其ノ申出ノ事項ニシテ出張所ノ權限ニ屬セサルトキハ便宜相當

第二十二條 工事ハ毎年配付ノ豫算ニ基キ施行スヘシ

第二十三條 道路及溝渠修築維持ニ關スル規程第五條ノ維持及本
規程第三條第二號改築及大玉道路掘鑿跡復舊並第十三號橋梁護
岸ノ一時應急手當ハ出張所ニ於テ直ニ施行シ其ノ他ノ工事ハ道
路課ノ決定通知ニ依リ施行スヘシ

第二十四條 前項ノ場合ニ於テ作業上必要ナル器具器械不足シ又ハ其ノ備付
ナキトキハ便宜出張所ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 第一項ノ一時應急手當ハ著手ト同時ニ電話其ノ他ノ方法ヲ以テ
迅速ニ主務課ニ報告シ尙翌日迄ニ工費概算書調製主務課ニ送付
スヘシ

第二十六條 定備工夫ノ雇入罷免及昇級ハ其ノ時時道路課長ニ具
申スヘシ但便宜道路課長ニ於テ其ノ具申ヲ俟タヌ直ニ執行スル
コトアルヘシ

第二十七條 臨時工夫、職工及荷馬車ハ出張所ニ於テ直ニ使用スルコトヲ得
但荷馬車供給者ハ（市參事會）ニ於テ決定シタルモノニ限ル

第二十八條 第二十五條 道路及溝渠ノ維持ニ要スル材料ハ使用數量ヲ豫定シ
豫メ購入ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 第二十六條 道路及溝渠維持ノ爲メ必要ナル水道消火栓ノ上ケ下
ケハ工夫ヲ使役シ直ニ施行スヘシ但施工上困難ナルカ又ハ水道
課ニ於テ施工スルチ利便ト認ムルトキハ此ノ限ニアラス
水道鉛管、阻水弁、框水栓、共用栓及消火栓ノ移轉變更及修理
等ヲ要スルトキハ直ニ水道課ニ請求スヘシ此場合ニ於テハ其個

所及理由ヲ具シ道路課ニ報告スヘシ

第二十七條 工事及物件職工人夫等供給ノ廢止、中止、變更、増減及解約ノ必要アリト認ムルトキハ理由ヲ具シ道路課ニ申出ツヘシ

第二十八條 工事及物件職工人夫等ノ供給著手下命ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ遅クモ一週間以内ニ出張所ニ於テ請負者ニ通告シ同時ニ其ノ旨道路課ニ報告スヘシ但著手期日ヲ契約セルモノハ此限ニアラス

第二十九條 監督吏員ノ氏名ハ其ノ時時道路課ニ報告スヘシ

第三十條 他ノ出張所管区内ニ關係アル工事ハ其ノ關係出張所ニ協議ノ上施行ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條 工事成工(維持ヲ除ク)及物件完納セシトキハ翌日其ノ旨道路課ニ報告スヘシ

第三十二條 工事施行ノ結果生シタル不用材料及使用殘品ハ一定ノ置場ニ保管ノ上直ニ道路課ニ報告スヘシ

第三十三條 第三條第六號及第八號乃至第十二號ノ事項ニ就テハ工事中ハ勿論落成後ト雖モ命令書又ハ條件ノ通具ノ義務ヲ履行セルヤ否ヲ注意シ若シ義務ヲ怠ルモノアルトキハ相當ノ注意ヲ加ヘ尙履行セサルトキハ其ノ旨道路課ニ報告スヘシ

第三十四條 工事成工(維持ヲ除ク)物件完納及職工人夫等ノ供給

チ了リタルトキハ五日以内ニ請負人チシテ精算書ヲ調製セシメ請負金下附ノ手續ヲ爲スヘシ但本條ノ期日ヲ經過シタルトキハ其ノ理由ヲ副申スヘシ

第三十五條 定備工夫、臨時工夫賃及之ニ關シタル損料等ハ其ノ使用セシ工事ノ費目別ニ支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十六條 左記第一號ノ事項ハ毎月三回第二號ノ事項ハ其ノ時時其ノ他ハ道路課長ノ指定スル期限内ニ調査報告スヘシ

- 一 材料ノ出納
- 二 天災其ノ他非常事變ニ於ケル被害ノ狀況
- 三 工事成績表
- 四 工事(維持ヲ除ク)及材料納付ノ狀況

附 則

第三十七條 本規程ニ依ル帳簿ノ雛形及報告書其ノ他ノ書式ハ道路課長之ヲ定ム

道路課巡視服務規程

明治三十五年四月一日(土木課) 市訓令甲第六號

第一條 巡視ハ六名トシ其受持區域左ノ如シ

- 第一區 日本橋區 京橋區
- 第二區 芝 區 麻布區 赤坂區

告スヘシ

第六條 工事施行方ニ關シ意見アルトキハ課長技師若シクハ土木課出張所長へ陳述スルコトヲ得

第七條 (明治三十六年十月九日(市參事會議) 第三千七百四十一號ニ基キ削除)

第八條 巡檢シタル土木工事ニ關スル諸般ノ狀況及第五條ノ場合ニ於テハ其實質ヲ巡回日誌ニ記載シ翌朝課長ニ提出スヘシ

第九條 巡檢事項ニ關シ事ノ秘密ニ涉ルモノアルトキハ直チニ課長ニ報告スヘシ

道路課出張所設置並取扱事項

明治三十三年二月十日(本規定ハ元土木部出張所トアリシモ水道部)

出張所ハ明治三十七年八月二十一日(市告示第五十九號)ヲ以テ廢止

本市道路課出張所設置シ左ノ事項ヲ取扱ハシム(明治三十八年三月三日市告示第十三號)以テ土木部出張所「土木課出張所」ニ改メ同四十年三月四日市訓令甲第十二號ヲ以テ市役所處務規程中改正ノ結果「土木課出張所」ハ「土木局出張所」ト改マリ同年十二月十六日市告示第八十九號ヲ以テ「土木局出張所」チ「道路課出張所」ト改メ

一 道路溝渠橋梁治水ノ小破修繕ニシテ急施ヲ要スル事項

出張所所在及管區左ノ如シ

一 破損箇所ヲ發見シタルトキ

一 其他工事施行上宜シキヲ得サルモノアルトキ

前項ノ場合ニ於テ出張所員現場ニ在ラサルトキ至急ヲ要スル事項ナルトキハ便宜相當ノ處置ヲ爲シ其旨土木課出張所長ニ通

- 第三區 麴町區 四谷區 牛込區
- 第四區 神田區 小石川區 本郷區
- 第五區 下谷區 淺草區
- 第六區 深川區 本所區

第二條 疾病事故ノ爲メ缺勤者アルトキ又ハ缺員ヲ生シタルトキハ土木課長ハ他區受持ノ巡視ヲシテ便宜兼掌セシムルコトヲ得

第三條 巡視ノ取扱事項左ノ如シ

一 土木課出張所ニ於テ施行スル工事を監督スルコト

一 購入材料及工事ノ成功檢査ニ隨時立會ヲ爲スコト

一 土木課出張所事務ヲ監督スルコト

第四條 巡視ハ大祭祝日及市役所開廳日ヲ除クノ外ハ常に受持區内ヲ巡檢シ土木工事ニ關スル諸般ノ狀況ニ注意スヘシ

第五條 受持區内巡檢ニ際シ左ノ事項ヲ發見シタルトキハ土木課出張所員ニ注意スヘシ

一 工事設計書、仕様書及注文書ニ違反ノ際ヲ發見シタルトキ

一 職工人夫ニ不都合ノ所爲アルコトヲ認メタルトキ

一 定備及臨時工夫ノ作業宜シキヲ得サルモノ又ハ怠慢ノモノアルトキ

所	在	管
麴町區鍛冶橋内	東京市道路課 鍛冶橋出張所	第一區 日本橋區一圓
芝區芝赤羽橋際	赤羽橋出張所	第二區 芝區一圓
麴町區市ヶ谷門内	市ヶ谷出張所	第三區 麴町區一圓
小石川區水道橋外	水道橋出張所	第四區 小石川區一圓
淺草區三味線堀	三味線堀出張所	第五區 淺草區一圓
深川區安宅町	安宅町出張所	第六區 深川區一圓

右ノ内赤羽、水道橋、安宅町三出張所ハ本月十日ヨリ開始ス
道路課鍛冶橋出張所 (明治三十三年八月二十七日開始) 六日市告示第八十八號
同 市ヶ谷出張所 (明治三十三年六月二日開始) 日市告示第五十八號
同 三味線堀出張所 (明治三十三年五月一日開始) 日市告示第四十四號

●定備工夫設置並材料購入方

明治三十年七月二十六日
市會議決第五十三號

本郷區	四	人	二十二
下谷區	四	人	三十二
淺草區	四	人	三十六
麴町區	四	人	二十六
牛込區	四	人	二十
四谷區	三	人	二十四
本所區	五	人	三十二
深川區	五	人	二十四
計	六十五	人	四百四十四
宮城外廓	六	人	二十三

道路及溝渠修築維持ニ關スル規程第二十一條第二項ノ場合ニ於テ臨時備入ルル工夫ハ一區一日平均十五人以下トス但宮城外廓地ハ平均二十人マテ備入ルルコトヲ得 (明治三十八年四月一日テ宮城外廓地ノ欄並本項中但書追加同四十年十一月二十日市訓令甲第三十四號ヲ以テ本項中「十五人」及「二十人」ノ上ニ「平均」ノ二字) 追加)

第三條 定備工夫ハ一區ヲ數區域ニ分チテ擔當區域ヲ定メ豫テ配置チナスモノトス但一擔當區域ニ工手ヲ配置ス
前項ノ區域及員數ハ土木課長ノ承認ヲ經テ土木課出張所長之ヲ定

本市土木事業中道路修繕工事ニ於テ小破修繕及應急工事等ヲ直接施行スルカ爲メ特ニ定備工夫ヲ設置シ及隨意契約ヲ以テ之ニ要スル材料ヲ購入スルコトヲ得

●定備工夫使役規程

明治三十五年四月一日
市訓令甲第九號(土木課)

第一章 總則

第一條 定備工夫ハ道路及溝渠修築維持ニ關スル規程中維持ニ屬スル工事ニ使役スルモノトス
第二條 定備工夫ノ定員左ノ如シ

區名	工員	工數	夫
京橋區	六	人	四十八
日本橋區	五	人	四十
麻布區	三	人	二十二
赤坂區	三	人	十八
芝區	六	人	三十二
小石川區	四	人	二十
神田區	五	人	四十八

△但變更ノトキ亦同シ

第四條 定備工夫ノ賃金ハ左ノ等級ニ依リ支給ス

等級	名稱	工手	工夫
一	等	金八拾錢	金六拾五錢
二	等	金七拾錢	金六拾錢
三	等	金六拾錢	金五拾五錢
四	等	金五拾五錢	金五拾錢
五	等	金五拾錢	金四拾六錢
六	等	金四拾參錢	金四拾錢
七	等	金四拾錢	金四拾錢

工夫ニシテ一等給ヲ受ケ技能卓越セル者ハ特別給トシテ工手ハ日給壹圓工夫ハ日給七拾五錢迄ニ増給スルコトアルヘシ (明治三十四年十一月二十日市訓令甲第三十四號ヲ以テ) 本項ヲ追加シ從前ノ第二項ヲ第三項ニ繰下ケ) 第二條第二項工夫ノ賃金ハ一日金五拾錢道路及溝渠修築維持ニ關スル規程第二十一條第三項諸職工ノ賃金ハ一日金壹圓貳拾五錢迄トス (明治四十年十一月二十日市訓令甲第三十四號ヲ以テ) 六月二日市訓令甲第二十七號ヲ以テ本項中「四拾五錢」ト改メ同四十二年六月二日市訓令甲第二十七號ヲ以テ「壹圓貳拾五錢」ト改正) 第五條 道路及溝渠修築維持ニ關スル規程第二十一條第二項、第三項ノ臨時工夫ニ關シテハ第八條第一項、第三項第十一條第十

